

# 御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)

建築意匠(柔剣道場)				機械設備	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
ー	表紙・図面リスト	J16	柔剣道場 立面図・断面図	J28	機械設備特記仕様書
J01	特記仕様書-1	J17	柔剣道場 矩計図1 (参考)	J29	凡例
J02	特記仕様書-2	J18	柔剣道場 矩計図2 (参考)	J30	器具表・機器表
J03	特記仕様書-3	J19	柔剣道場 階段詳細図 (参考)	J31	案内図・配置図
J04	特記仕様書-4	J20	柔剣道場 屋外階段詳細図 (参考)	J32	換気設備平面図
J05	特記仕様書-5	J21	柔剣道場 渡り廊下詳細図 (参考)	J33	給排水衛生設備詳細図
J06	特記仕様書-6	J22	柔剣道場 便所詳細図 (参考)		
J07	案内図・配置図・正門	J23	柔剣道場 展開図1 (参考)		
J08	求積図・面積表	J24	柔剣道場 展開図2 (参考)		
J09	内部仕上表(参考)	J25	柔剣道場 各階天井伏図 (参考)		
J10	内部仕上表(参考-改修後)	J26	柔剣道場 各階建具キープラン・建具表1 (参考)		
J11	柔剣道場 平面図 (参考 - 改修前)	J27	柔剣道場 建具表2 (参考)		
J12	柔剣道場 平面図 (改修後)				
J13	1階平面詳細図 (改修前・後)				
J14	2階平面詳細図・屋根伏図(改修後)				
J15	柔剣道場 立面図・断面図 (参考)				

表紙共34枚







4章-1 外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

4章-2 外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

1. 施工数量調査

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 [1. 5. 2]  
調査内容  
(1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
(2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。  
(3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。  
(4) 張り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。  
調査報告書の部数 ※2部

・ 既調合モルタル  

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
70. 0以上	1. 80程度	標準時	温冷繰返し後	0. 20以下	4. 0以上

  
・ パテ状エポキシ樹脂  

初期硬化性 (N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ (標準) (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	硬化収縮率 (%)
標準2. 0以上	標準6. 0以上	50. 0以上	30. 0以上	3. 0以下

  
(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。  
(3) 常温常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。  
(4) 試験方法は、JIS A 6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) に準ずる。  
  
・ 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024  

比重	押出し性 (秒)	スランプ (mm)	加熱減量 (%)	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)	引張接着性
表示値 ±0. 10	60以下	3. 0以下	5. 0以下	常温物性1. 0以上 低温性 1. 0以上 加熱劣化1. 0以上	常温物性30. 0以上 低温性 30. 0以上 加熱劣化30. 0以上	最大引張応力 1. 0N/mm 以上 破断時の伸び 10. 0%以上

  
(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。  
(3) 常温常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。  
  
・ タイル部分張替え工法用接着剤 JIS A 5557  
適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。  
樹脂の種類 変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系  
接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 凍結融解 熱劣化  
強度 (N/mm<sup>2</sup>) 0. 60以上 0. 40以上 0. 40以上 0. 40以上 0. 40以上  
凝集破壊率 (%) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上  
皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化  
引張強さ (N/mm<sup>2</sup>) 0. 60以上 0. 60以上 0. 60以上 0. 40以上 0. 40以上  
伸び (%) 35以上 35以上 35以上 25以上 25以上  
貯蔵安定性 質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。  
(一液形のみ)  
混練終結確認容易性 混練終結時の色が明瞭であること。  
(二液形のみ)  
耐熱性 JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。  
  
ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。  
(1) 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) タイル、下地材等を侵すものでないこと。  
(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。  
(4) 常温常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。  
  
・ エポキシ樹脂モルタル JIS A 6024  

接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
1. 0以上	20. 0以上	10. 0以上

  
(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。  
(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。  
(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。  
(5) 常温常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。  
  
・ ポリマーセメントモルタル  
種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等  

曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> )
6. 0以上	20. 0以上	標準時	湿潤時	低温時	
		1. 0以上	0. 8以上	0. 5以上	

  
(1) 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。  
(2) 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。  
(3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。  
  
・ ポリマーセメントスラリー  

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> )
3以上	3以下	0. 5以上	5. 0以上	15%以下	5. 0以上

  
保水係数 0. 35～0. 55  
粘調係数 0. 50～1. 00  
  
・ 吸水調整材 [表4. 2. 2]  

全固形分 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	界面破壊率 (%)
表示値±1. 0以内	30分間で1以下	1. 0以上	50以下

  
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4章-3 外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

4章-4 外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去

2. ひび割れ部改修工事

3. 欠損部改修工事

4. 浮き部改修工事

・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 [4. 5. 2]  
撤去範囲 ※下地モルタルまで (コンクリート表面まで)  
・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ  
  
改修箇所 ※既存タイル張り面  
・ 既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・ モルタル面)  
  
※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5]  

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0未満	※200～300	※130	・
・ 手動式エポキシ樹脂	0. 2以上～0. 3未満	※50～100	※40	・
注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200	※70	・
・ 機械式エポキシ樹脂	0. 5以上～1. 0未満	※150～250	※130	・
注入工法	・	・	・	・

  
注入材料 [4. 2. 2]  
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)  
  
検査 (コア抜き) ※行わない [4. 3. 4]  
・ 行う (抜取り部の補修方法 : )  
  
・ Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]  

充填材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂	・	・
・ シール工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 6] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	・	・

  
※充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7]  
・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

・ 行う (※全面 ・ 図示の範囲)  
  
・ 既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)  
  
※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 5]  

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0未満	※200～300	※130	・
・ 手動式エポキシ樹脂	0. 2以上～0. 3未満	※50～100	※40	・
注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200	※70	・
・ 機械式エポキシ樹脂	0. 5以上～1. 0未満	※150～250	※130	・
注入工法	・	・	・	・

  
注入材料 [4. 2. 2]  
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)  
  
検査 (コア抜き) ※行わない [4. 3. 4]  
・ 行う (抜取り部の補修方法 : )  
  
・ Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 6]  

充填材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂	・	・
・ シール工法 (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 7] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	・	・

  
・ 既存塗り仕上材の撤去及び補修 [4. 4. 2] [4. 6. 3]  
(※シール工法の範囲 ・ )  
  
既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 9. 3] [4. 4. 8. 9]  

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
・ 充填工法	ポリマーセメントモルタル	・
・ モルタル塗替え工法	改修標仕4. 2. 2 (7) による 既製目地材 ・ 適用する (形状 ※図示 ・ )	塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示

  
  
[4. 1. 4] [4. 4. 4] [4. 4. 10～15] [表4. 4. 3. 4]  

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		充填量 又は注入量 (箇所/mL)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	・	・	※25 ・
・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー 注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	・	・	※25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー 注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

  
充填工法 [4. 4. 8]  
  
モルタル塗替工法 [4. 4. 9]  
  
アンカーピン [4. 2. 2]  
材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの  
注入口付アンカーピン [4. 2. 2]  
材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径外径6mm

5. タイル張り

6. 目地改修工事

・ タイル部分張替え工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7]  
※ポリマーセメントモルタル  
・ タイル部分張替え工法用接着剤 (・ 変成シリコーン樹脂系 ・ ウレタン樹脂系)  
・ タイル張替え工法 [4. 1. 4] [4. 5. 8]  
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 ※改修標仕表4. 5. 1による ・ 図示  
  
アンカーピン [4. 2. 2]  
位置 ※改修標仕表4. 5. 1による ・ 図示  
材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの  
  
注入口付アンカーピン [4. 2. 2]  
材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径外径6mm  
  
タイルの種類 [4. 2. 2] [4. 5. 7. 8]  

施工箇所	形状寸法		釉薬 施釉無釉	吸水率 I II	耐凍害性 ありなし	役物 ありなし	色 標準特注	再生材の 適用G	備考
	(mm)								
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

  
標準的な曲がり (小口、標準、二丁、びょうぶ) の役物は一体成形とする。  
タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う  
  
壁タイル張りの工法 [4. 5. 7. 8] [表4. 5. 2. 3]  
外装タイル ※密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り [表4. 5. 4]  
外装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り [表4. 5. 4]  
タイルの試験張り ※行わない ・ 行う  
  
・ 目地ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 16]  
既調合モルタル ・ 使用する  
・ 伸縮調整目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 16]  
シーリング用材料 [3. 7. 2] [表3. 7. 1]  
種類 ※改修標仕表3. 7. 1による

設計年月

52-037

縮 尺  
A1 :  
A3 : 表記の50%

物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)

図面名称 特記仕様書-2

区分 建築意匠

No.  
J02



第5章 建具改修工事	1. 改修工法	<div><div>[5. 1. 3]</div><table><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr><tr><td>・鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr><tr><td></td><td>・内部</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>※建具表による・図示</td></tr></table></div>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による・図示	・鋼製建具	・外部	・	※建具表による・図示		・内部	・	※建具表による・図示	・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による・図示	・ステンレス製建具	・	・	※建具表による・図示	・樹脂製建具	・	・	※建具表による・図示	10. 木製建具 (建築工事標準仕様書)	かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (16. 7. 2) ふすまの上張り (表16. 7. 3) ※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材(合板)及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (16. 7. 2)	第6章 内装改修工事	①改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 [6. 1. 3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6. 1. 3] ※壁面より側側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 [6. 1. 3] ※既存のまま ・図示の範囲	8. 接着剤 (内装改修工事全般)	<div><div>[6. 5. 2][6. 5. 4][6. 8. 2][6. 9. 3][6. 11. 5. 6][6. 13. 2][6. 14. 2][6. 16. 3]</div><div>壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂(以下「ユリア樹脂等」という)又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。</div></div>																																
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																	
	・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による・図示																																																																	
	・鋼製建具	・外部	・	※建具表による・図示																																																																	
		・内部	・	※建具表による・図示																																																																	
	・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による・図示																																																																	
	・ステンレス製建具	・	・	※建具表による・図示																																																																	
	・樹脂製建具	・	・	※建具表による・図示																																																																	
	2. 防火戸	(a)防火戸の指定は、特記による。 [5. 1. 4] (b)防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合は、特記による。 なお、防煙シャッターの場合は、煙感知器と連動するものとする。 [5. 1. 5]	⑪ 建具用金物	鍵 [5. 7. 4] マスターキー ※製作する ・製作しない 鍵箱 [5. 7. 4] 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ○オペレーター故障部の改修 11ヶ所 [5. 8. 3]	②既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤共) ・下地モルタル共(※図示の範囲 ・除去範囲すべて) [6. 2. 2] 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 [6. 2. 2] 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6. 2. 2]	⑨軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6. 6. 2][表6. 6. 1] 屋外(・19形 ※25形) 屋内(※19形 ・25形) 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない [6. 6. 4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない [6. 6. 4] 屋外の軒天井、ピロティ天井等 [6. 6. 3. 4] 野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示 耐風圧性を考慮した補強 ※図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 [6. 6. 4] ・行う(補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)																																																													
	3. 見本の製作等	特殊な建具の仮組 仮組の実施は、特記による。 [5. 1. 5]	12. 自動ドア開閉装置	<table><tr><th colspan="2">ドアの種類</th><th colspan="2">センサーの種類</th></tr><tr><td>※スライディングドア</td><td>・マツトスイッチ</td><td>※光線(反射)スイッチ</td><td></td></tr><tr><td>種類</td><td>・SSLD-1 ・SSLD-2</td><td>・熱線スイッチ</td><td>・音波スイッチ</td></tr><tr><td></td><td>・DSDL-1 ・DSDL-2</td><td>・光電スイッチ</td><td>・電波スイッチ</td></tr><tr><td>・スイングドア</td><td>・タッチスイッチ</td><td>・タッチスイッチ</td><td>・押しボタンスイッチ</td></tr><tr><td>種類</td><td>・SWD-1 ・SWD-2</td><td>・ペダルスイッチ</td><td>・多機能便所スイッチ</td></tr></table> ・凍結防止措置(適用箇所は建具表による) [5. 8. 3]	ドアの種類		センサーの種類		※スライディングドア	・マツトスイッチ	※光線(反射)スイッチ		種類	・SSLD-1 ・SSLD-2	・熱線スイッチ	・音波スイッチ		・DSDL-1 ・DSDL-2	・光電スイッチ	・電波スイッチ	・スイングドア	・タッチスイッチ	・タッチスイッチ	・押しボタンスイッチ	種類	・SWD-1 ・SWD-2	・ペダルスイッチ	・多機能便所スイッチ	3. 既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2][4. 4. 9] ※モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない) ・図示	⑩軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様6. 7. 1による ・図示 [6. 7. 3][表6. 7. 1] スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [表6. 7. 1]																																					
ドアの種類		センサーの種類																																																																			
※スライディングドア	・マツトスイッチ	※光線(反射)スイッチ																																																																			
種類	・SSLD-1 ・SSLD-2	・熱線スイッチ	・音波スイッチ																																																																		
	・DSDL-1 ・DSDL-2	・光電スイッチ	・電波スイッチ																																																																		
・スイングドア	・タッチスイッチ	・タッチスイッチ	・押しボタンスイッチ																																																																		
種類	・SWD-1 ・SWD-2	・ペダルスイッチ	・多機能便所スイッチ																																																																		
4. その他	(a)開閉操作が複雑な建具については、操作方法を表示する。 [5. 1. 7] (b)開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の適用は、特記による。	13. 自閉式上吊り引戸装置	材料 ※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの [5. 9. 2] ・製造所標準仕様による 性能 ※ 改修標準仕5. 9. 3による [5. 9. 3][表5. 9. 1] ・製造所標準仕様による	4. 木材㉔	表面仕上げる程度 ・A種 ※B種 ・C種 [6. 5. 1][表6. 5. 1] 現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種 [6. 5. 2][表6. 5. 3] 保存処理木材 ・使用する(使用箇所： ) [6. 5. 2] 構造材及び下地材の品質の基準 ※改修標準仕6. 5. 2(1)イ(a)による [6. 5. 2] 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 [6. 5. 2][表6. 5. 4] 代用樹脂を使用しない箇所 ( ) [6. 5. 2][表6. 5. 4]	⑪ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 [6. 8. 2] 帯電防止 ・帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1. 2以上～3. 2未満 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 <sup>7</sup> ～1×10 <sup>10</sup> Ω程度																																																														
5. アルミニウム製建具	性能及び構造 [5. 2. 2][表5. 2. 1] 表5. 2. 1 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み(mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・A種</td><td>S-4</td><td>※A-3</td><td>※W-4</td><td>※70</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S-5</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>S-6</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>特記による。</td><td></td></tr></table> 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級( ) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級( ) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( ) 形状及び仕上げ [5. 2. 4][表5. 2. 2] ・枠、かまち等に用いるアルミニウム板の厚さは、1. 5mm以上とする。 ・構造 (1)枠見込み70mmの建具に用いる引違い及び片引きの障子は、ガラスのはめ込みにグレイジングチャンネルが使用できる構造とする。 (2)外部に面する引違い窓及び片引き窓は、容易に網戸が取り付けられる構造とする。 ・結露水の処理方法は、特記による。 表5. 2. 2 表面処理の種別 <table><tr><th colspan="2">JIS</th><th>種 別</th><th>表面処理</th><th>規格番号</th><th>規 格 名 称</th><th>皮膜又は複合皮膜の種類</th></tr><tr><td rowspan="4">・AB-1種 無着色陽極酸化皮膜</td><td rowspan="4">JIS H 8601</td><td rowspan="4">・AB-2種 着色陽極酸化皮膜</td><td rowspan="4">・AC-1種 無着色陽極酸化皮膜</td><td rowspan="4">・AC-2種 着色陽極酸化皮膜</td><td rowspan="4">アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜</td><td>AA15</td></tr><tr><td>AA6</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・BA-1種 無着色陽極酸化塗装</td><td rowspan="3">JIS H 8602</td><td rowspan="2">・BA-2種 着色陽極酸化塗装複</td><td rowspan="2">・C種 化成皮膜の上に塗装</td><td rowspan="2">JIS H 4001</td><td rowspan="2">アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条</td><td>A2(過酷な環境の屋外)</td></tr><tr><td>—</td></tr></table> (注)常温乾燥形の塗装の場合は、特記による。 網戸 [5. 2. 3] 防虫網の材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) 形式 ※外部可動式 ・固定式	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示	・B種	S-5	・	・			・C種	S-6	A-4	W-5	特記による。		JIS		種 別	表面処理	規格番号	規 格 名 称	皮膜又は複合皮膜の種類	・AB-1種 無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	・AB-2種 着色陽極酸化皮膜	・AC-1種 無着色陽極酸化皮膜	・AC-2種 着色陽極酸化皮膜	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA15	AA6			・BA-1種 無着色陽極酸化塗装	JIS H 8602	・BA-2種 着色陽極酸化塗装複	・C種 化成皮膜の上に塗装	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条	A2(過酷な環境の屋外)	—	14. 重量シャッター	<table><tr><th colspan="2">シャッターの種類</th><th>性 能</th></tr><tr><td>・一般重量シャッター</td><td>耐風圧性能( )N/㎡</td><td></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧性能( )N/㎡</td><td></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・屋内用防煙シャッター</td><td></td><td></td></tr></table> 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5. 10. 2][表5. 10. 1] 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5. 10. 2] 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5. 10. 2]	シャッターの種類		性 能	・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡		・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡		・屋内用防火シャッター			・屋内用防煙シャッター			5. 集成材等㉔	集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6. 5. 2]
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示																																																																
・B種	S-5	・	・																																																																		
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による。																																																																	
JIS		種 別	表面処理	規格番号	規 格 名 称	皮膜又は複合皮膜の種類																																																															
・AB-1種 無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	・AB-2種 着色陽極酸化皮膜	・AC-1種 無着色陽極酸化皮膜	・AC-2種 着色陽極酸化皮膜	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA15																																																															
						AA6																																																															
・BA-1種 無着色陽極酸化塗装	JIS H 8602	・BA-2種 着色陽極酸化塗装複	・C種 化成皮膜の上に塗装	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条	A2(過酷な環境の屋外)																																																															
						—																																																															
シャッターの種類		性 能																																																																			
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/㎡																																																																				
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/㎡																																																																				
・屋内用防火シャッター																																																																					
・屋内用防煙シャッター																																																																					
6. 樹脂製建具	性能及び構造 [5. 3. 2][表5. 3. 1] ・建具の性能及び構造は、ドアセットにあってはJIS A 4702(ドアセット)、サッシにあってはJIS A 4706(サッシ)による。 ・樹脂製建具の性能値等 (1)耐風圧性、気密性及び水密性の等級は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具の場合は表5. 3. 1により、種別は特記による。 表5. 3. 1 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 <table><tr><th>性能項目</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠の見込み寸法(mm)</th></tr><tr><td>・A種</td><td>S-4</td><td rowspan="3">A-4</td><td>W-4</td><td rowspan="3">特記による</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S-5</td><td>W-5</td></tr><tr><td>・C種</td><td>S-6</td><td></td></tr></table> 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級は、特記による。	性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-4	W-4	特記による	・B種	S-5	W-5	・C種	S-6		15. 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5. 11. 2][表5. 11. 1] スラット 材質 ※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅板)又は [5. 11. 3] JIS G 3322(塗装溶融亜鉛-55%アルミニウム合金めっき鋼板及び銅板) ・銅板 形状 ※インターロックング形 ・オーバーラッピング形 [5. 11. 4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1. 0mm) [表5. 11. 2] 耐風圧性能( )N/㎡	6. 床張り用合板及びその他の合板㉔	合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6. 5. 2]																																																
性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																	
・A種	S-4	A-4	W-4	特記による																																																																	
・B種	S-5		W-5																																																																		
・C種	S-6																																																																				
7. 鋼製建具	性能及び構造 [5. 4. 2][表5. 4. 1] ・簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級は表5. 4. 1により、適用は特記による。 ・外部に面する鋼製建具の耐風圧性は表5. 2. 1により、適用は特記による。 表5. 4. 1 鋼製建具の性能等級 <table><tr><th colspan="2">性能項目</th><th>気密性</th><th>水密性</th></tr><tr><td>種別</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・A種</td><td>S-4</td><td rowspan="3">A-4</td><td>W-4</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S-5</td><td>W-5</td></tr><tr><td>・C種</td><td>S-6</td><td></td></tr></table> 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級は、特記による。	性能項目		気密性	水密性	種別				・A種	S-4	A-4	W-4	・B種	S-5	W-5	・C種	S-6		16. オーバーヘッドドア	<table><tr><th colspan="2">セクション材料</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ</td><td>※バランス式</td><td>・スタンダード形</td><td>・スタンダード形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td></tr><tr><td>・アルミニウムタイプ</td><td>・チェーン式</td><td>・ローヘッド形</td><td>・ローヘッド形</td><td>・ステンレス鋼板</td></tr><tr><td>・ファイバーグラスタイプ</td><td>・電動式</td><td>・ハイリフト形</td><td>・ハイリフト形</td><td>(SUS304)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・パーテカル形</td><td></td><td></td></tr></table> 耐風圧性能( )N/㎡	セクション材料		開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ハイリフト形	(SUS304)			・パーテカル形			7. 防腐、防蟻処理	防腐処理 ※行う(※改修標準仕6. 5. 5(1)による ・図示 ) [6. 5. 5] 防蟻防虫処理 ・行う(※図示 ・ ) [6. 5. 5] 防腐、防蟻防虫処理剤の種類及び品質 [6. 5. 5] 表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。																					
性能項目		気密性	水密性																																																																		
種別																																																																					
・A種	S-4	A-4	W-4																																																																		
・B種	S-5		W-5																																																																		
・C種	S-6																																																																				
セクション材料		開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質																																																																	
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																	
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板																																																																	
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ハイリフト形	(SUS304)																																																																	
		・パーテカル形																																																																			
8. 鋼製軽量建具	・簡易気密型ドアセットの気密性の等級はA-3とし、適用は特記による。 [5. 5. 2] ・鋼板の厚さは特記による。 [5. 5. 4] [表5. 5. 1] 表5. 5. 1 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ(単位：mm) <table><tr><th>区分</th><th>使用箇所</th><th>厚さ</th></tr><tr><td rowspan="3">・枠類</td><td>一般部分</td><td>1. 6</td></tr><tr><td>くつずり</td><td>1. 5(注)</td></tr><tr><td>表面板</td><td>0. 6以上</td></tr><tr><td rowspan="4">・戸</td><td>力骨、中骨</td><td>1. 6</td></tr><tr><td>召合せ</td><td>0. 6以上</td></tr><tr><td>縦小口包み板</td><td>0. 6以上</td></tr><tr><td>押縁</td><td>0. 6以上</td></tr><tr><td rowspan="2">・その他</td><td>額縁、添え枠</td><td>1. 6</td></tr><tr><td>補強板の類</td><td>2. 3以上</td></tr></table> (注)くつずりの材料は、5. 5. 3(3)による。	区分	使用箇所	厚さ	・枠類	一般部分	1. 6	くつずり	1. 5(注)	表面板	0. 6以上	・戸	力骨、中骨	1. 6	召合せ	0. 6以上	縦小口包み板	0. 6以上	押縁	0. 6以上	・その他	額縁、添え枠	1. 6	補強板の類	2. 3以上	17. ガラス	ガラス留め材 [5. 13. 2][表5. 13. 1] <table><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr><tr><td>アルミニウム、樹脂製</td><td>※シーリング材 ・ガasket(FIX部はシーリング材)</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材</td></tr></table> 防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5. 13. 3] 改修標準仕5. 12. 3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。	建具の種類	材 種	アルミニウム、樹脂製	※シーリング材 ・ガasket(FIX部はシーリング材)	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材																																		
区分	使用箇所	厚さ																																																																			
・枠類	一般部分	1. 6																																																																			
	くつずり	1. 5(注)																																																																			
	表面板	0. 6以上																																																																			
・戸	力骨、中骨	1. 6																																																																			
	召合せ	0. 6以上																																																																			
	縦小口包み板	0. 6以上																																																																			
	押縁	0. 6以上																																																																			
・その他	額縁、添え枠	1. 6																																																																			
	補強板の類	2. 3以上																																																																			
建具の種類	材 種																																																																				
アルミニウム、樹脂製	※シーリング材 ・ガasket(FIX部はシーリング材)																																																																				
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																																																																				
ステンレス製	※シーリング材																																																																				
9. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5. 6. 2][5. 6. 3] 外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による [5. 6. 4] [表5. 6. 1] 表面仕上げ ※HL ・鏡面 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) 表5. 6. 1 ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さ(単位：mm) <table><tr><th>使用箇所</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>一般部分</td><td>1. 5<sup>(注)</sup></td></tr><tr><td>くつずり</td><td>1. 5</td></tr><tr><td>裏板</td><td>1. 6以上</td></tr><tr><td>補強板の類</td><td>2. 3以上</td></tr></table> (注)特定防火設備で片面フラッシュ戸の場合は、実厚で1. 5mm以上とする。	使用箇所	厚さ	一般部分	1. 5 <sup>(注)</sup>	くつずり	1. 5	裏板	1. 6以上	補強板の類	2. 3以上																																																										
使用箇所	厚さ																																																																				
一般部分	1. 5 <sup>(注)</sup>																																																																				
くつずり	1. 5																																																																				
裏板	1. 6以上																																																																				
補強板の類	2. 3以上																																																																				

設計年月	縮 尺 A1： A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分
			建築意匠
52-037		図面名称 特記仕様書-3	No. J03







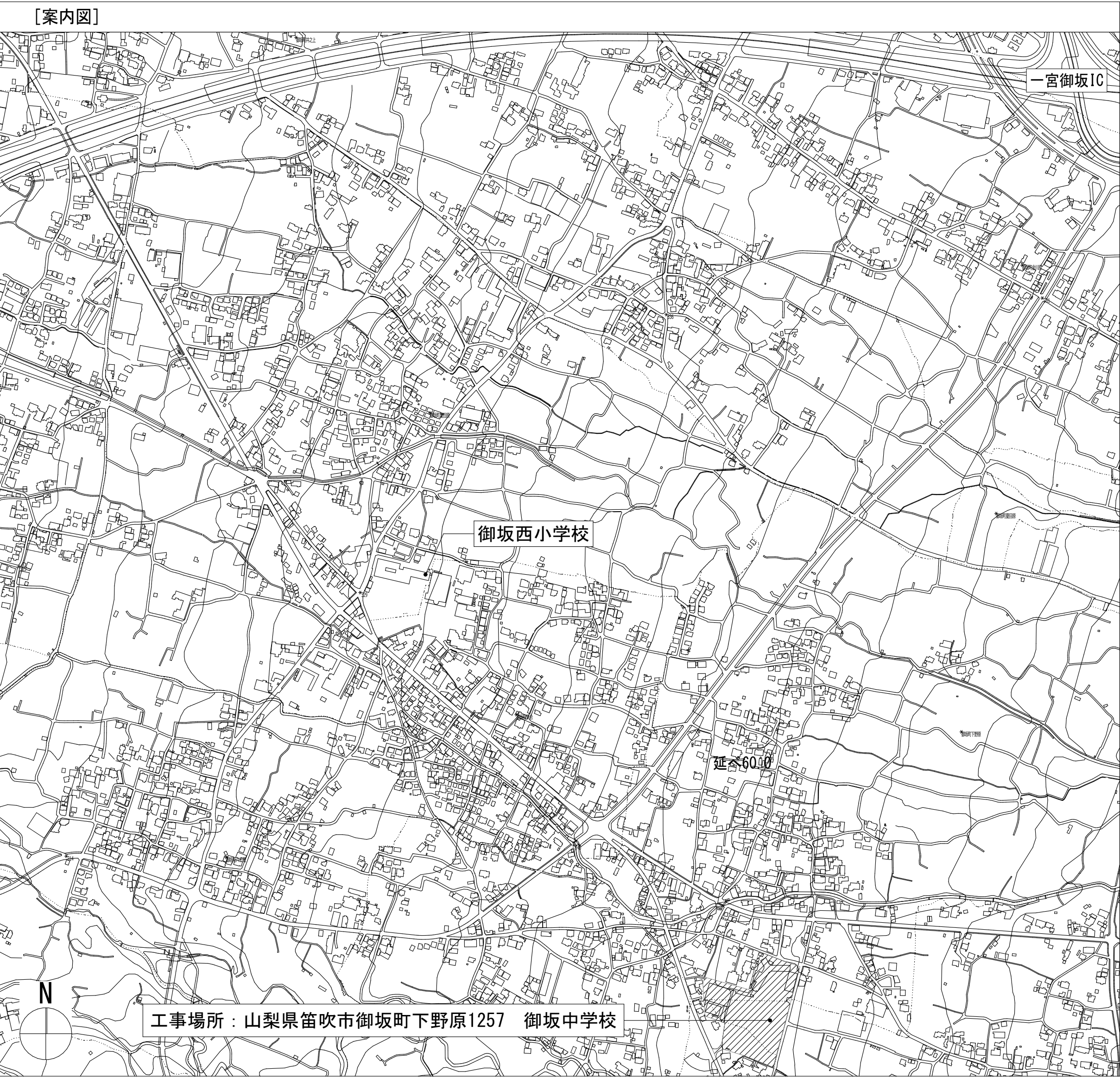




8章-5 鉄骨工事	13. 耐火被覆	<table><tr><td>種別等</td><td colspan="2">[8. 18. 2～9]</td></tr><tr><td>種 別</td><td colspan="2">所要性能及び適用箇所</td></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td colspan="2">・乾式吹付けロックウール</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">・半乾式吹付けロックウール</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">・湿式吹付けロックウール</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">・</td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="3">耐火被覆面への錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用箇所：)</td></tr></table>	種別等	[8. 18. 2～9]		種 別	所要性能及び適用箇所		・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式吹付けロックウール			・		・耐火板張り			・耐火材巻付け			・ラス張りモルタル塗り			・耐火塗料			耐火被覆面への錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用箇所：)			1.スリットの施工	既存撤去部の配管等の探査 ※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる スリットの幅及び深さ ※図示	2. 外断熱改修工事																										
	種別等	[8. 18. 2～9]																																																														
種 別	所要性能及び適用箇所																																																															
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																															
	・半乾式吹付けロックウール																																																															
	・湿式吹付けロックウール																																																															
	・																																																															
・耐火板張り																																																																
・耐火材巻付け																																																																
・ラス張りモルタル塗り																																																																
・耐火塗料																																																																
耐火被覆面への錆止め塗装 ・行わない ・行う(適用箇所：)																																																																
8章-6 グラウト工事	1. モルタル及びグラウト材	<table><tr><td>構造体用モルタル ※[8. 2. 11]による</td><td>[8. 2. 11]</td></tr><tr><td>柱底均しモルタル ※無収縮モルタル</td><td>[8. 2. 12]</td></tr><tr><td>グラウト材 ※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる)</td><td>[8. 2. 12]</td></tr><tr><td colspan="2">無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による 無収縮モルタルの材料及び調合</td></tr><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。</td></tr><tr><td>配合比</td><td>(各重量比) (セメント+混和材)：砂＝1：1</td></tr><tr><td colspan="2">無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8. 2. 10]</td></tr><tr><td>コンシステンシー</td><td>Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒</td></tr><tr><td>ブリーディング</td><td>練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下</td></tr><tr><td>凝結時間</td><td>凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内</td></tr><tr><td>無収縮性</td><td>材齢 7日 収縮しないこと</td></tr><tr><td>圧縮強度</td><td>材齢 3日 25. 0 N/mm<sup>2</sup>以上 材齢 28日 45. 0 N/mm<sup>2</sup>以上</td></tr><tr><td>付着強度</td><td>材齢 28日 3. 0 N/mm<sup>2</sup>以上</td></tr><tr><td>塩化物量</td><td>0. 30kg/m<sup>2</sup>以上</td></tr><tr><td>試験方法</td><td>(1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。</td></tr><tr><td colspan="2">無収縮グラウト材の材料(プレミックス及び現場調合形) 混和材 セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法(現場調合形においては標準使用量・配合値) コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと 圧縮強度 材齢 3日 20. 0 N/mm<sup>2</sup>以上 材齢 28日 40. 0 N/mm<sup>2</sup>以上 付着強度 材齢 28日 2. 5 N/mm<sup>2</sup>以上 塩化物量 0. 30kg/m<sup>2</sup>以上 試験方法 (1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。</td></tr></table>	構造体用モルタル ※[8. 2. 11]による	[8. 2. 11]	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル	[8. 2. 12]	グラウト材 ※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる)	[8. 2. 12]	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による 無収縮モルタルの材料及び調合		混和材	セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。	配合比	(各重量比) (セメント+混和材)：砂＝1：1	無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8. 2. 10]		コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒	ブリーディング	練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下	凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内	無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと	圧縮強度	材齢 3日 25. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 45. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上	付着強度	材齢 28日 3. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上	塩化物量	0. 30kg/m <sup>2</sup> 以上	試験方法	(1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。	無収縮グラウト材の材料(プレミックス及び現場調合形) 混和材 セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法(現場調合形においては標準使用量・配合値) コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと 圧縮強度 材齢 3日 20. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 40. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 付着強度 材齢 28日 2. 5 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0. 30kg/m <sup>2</sup> 以上 試験方法 (1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。		①アスベスト含有建材の 処理工事	分析によるアスベスト含有の調査 [9. 1. 1] ・行う(採取箇所 ※図示) ①一部建材については笛吹市事前調査済 調査方法 材料名 調査方法(1材料当たりの試料数) ※定性分析(※3 ・) ・定量分析(・3 ・) ※定性分析(※3 ・) ・定量分析(・3 ・) ※定性分析(※3 ・) ・定量分析(・3 ・)  分析方法 ※JIS A 1481(建材製品中のアスベスト含有率測定方法)による  分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式 ・(社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」  アスベスト粉じん濃度測定 [9. 1. 1] ・行う(測定箇所 ※図示) 測定時期、場所及び測定点数 適用 測定 測定時期 測定場所 測定点数 (各処理作業室ごと) 備 考 名称 ・ 測定1 処理作業室内 各( )点 ・ 測定2 処理作業前 施工区画周辺 計2点 又は敷地境界 ・ 測定3 処理作業室内 各( )点 セキュリティゾーン ・ 測定4 処理作業中 入口 各1点 負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合) 空気の流れ を確認 ・ 測定5 施工区画周辺 各1点 又は敷地境界 除じん装置 の性能確認 ・ 測定6 施工区画周辺 4方向各1点 又は敷地境界 ・ 測定7 処理作業後 処理作業室内 各( )点 (隔離シート 施工区画周辺 4方向各1点 撤去前) 又は敷地境界 (1)施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置場等を含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1M以内の範囲をいう。 (2)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督職員と協議する。  測定方法 JIS K 3850-1(空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法)による。 種類 ※位相差顕微鏡法 試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合(10本/L以上)に行う位相差・分散顕微鏡法用に保存しておく。 ・位相差、分散顕微鏡法 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 <table><tr><td></td><td>測定3 (作業環境)</td><td>測定1, 4, 5, 7 (室内環境)</td><td>測定2, 6, 8 (大気環境)</td></tr><tr><td>メンブレンフィルターの 直径(mm)</td><td>25</td><td>25</td><td>47</td></tr><tr><td>試料の吸引流量 (L/分)</td><td>1</td><td>5</td><td>10</td></tr><tr><td>試料の吸引時間 (分)</td><td>5</td><td>120</td><td>240</td></tr><tr><td>計数視野数</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>定量限界 (本/L)</td><td>50</td><td>0. 5</td><td>0. 3</td></tr></table> 測定記録項目 (1)除去するアスベスト含有建材の種類 (2)測定点の位置の図面 (3)測定日時、天候、気流 (4)試料採取条件 (5)標本作製方法 (6)使用顕微鏡の種類(開口数を含む) (7)計数条件(HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む) (8)繊維数濃度(位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスベスト繊維数濃度) (9)定量限界 (10)その他  アスベスト含有吹付け材の除去(レベル1) ・行う [9. 1. 3] 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標仕9. 1. 3(2) (7) (a)～(b)による 除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理(二重袋梱包) ・セメント固化 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う ・行わない  アスベスト含有保温材等の除去(レベル2) ・行う [9. 1. 4] 除去対象範囲 ※図示  アスベスト含有成形板の除去(レベル3) ・行う [9. 1. 5]		測定3 (作業環境)	測定1, 4, 5, 7 (室内環境)	測定2, 6, 8 (大気環境)	メンブレンフィルターの 直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (L/分)	1	5	10	試料の吸引時間 (分)	5	120	240	計数視野数	50	50	50	定量限界 (本/L)	50	0. 5	0. 3
	構造体用モルタル ※[8. 2. 11]による	[8. 2. 11]																																																														
柱底均しモルタル ※無収縮モルタル	[8. 2. 12]																																																															
グラウト材 ※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる)	[8. 2. 12]																																																															
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による 無収縮モルタルの材料及び調合																																																																
混和材	セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																															
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																															
砂	(社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。																																																															
配合比	(各重量比) (セメント+混和材)：砂＝1：1																																																															
無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8. 2. 10]																																																																
コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒																																																															
ブリーディング	練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下																																																															
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内																																																															
無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと																																																															
圧縮強度	材齢 3日 25. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 45. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上																																																															
付着強度	材齢 28日 3. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上																																																															
塩化物量	0. 30kg/m <sup>2</sup> 以上																																																															
試験方法	(1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。																																																															
無収縮グラウト材の材料(プレミックス及び現場調合形) 混和材 セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法(現場調合形においては標準使用量・配合値) コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2. 0%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 最終時間 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと 圧縮強度 材齢 3日 20. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 40. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上 付着強度 材齢 28日 2. 5 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0. 30kg/m <sup>2</sup> 以上 試験方法 (1)日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。 (2)塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9. 6塩化物含有量の試験方法による。																																																																
	測定3 (作業環境)	測定1, 4, 5, 7 (室内環境)	測定2, 6, 8 (大気環境)																																																													
メンブレンフィルターの 直径(mm)	25	25	47																																																													
試料の吸引流量 (L/分)	1	5	10																																																													
試料の吸引時間 (分)	5	120	240																																																													
計数視野数	50	50	50																																																													
定量限界 (本/L)	50	0. 5	0. 3																																																													
8章-7 連続繊維補強工事	1. 連続繊維補強工法	連続繊維補強工法 [8. 24. 4] ・「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」(財)日本建築防災協会発行)の第4章[補強工事の施工]による工法又は同等の性能を有する工法 ・(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法	2. 連続繊維シート	連続繊維の材料 [8. 2. 13] ・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ガラス繊維 連続繊維の材質 [8. 2. 13] 引張強度(含浸硬化後) ・( )N/mm <sup>2</sup> ヤング係数(含浸硬化後) ・( )N/mm <sup>2</sup> 繊維目付け量 ・( )g/m <sup>2</sup> シート厚さ ・( )mm シート張り方向 ※図示 定着方法 ※図示 含浸接着樹脂 ・低臭型 プライマー ・低臭型 断面修復材 下地調整剤 下地処理 [8. 24. 6] 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※図示 下地処理の程度 ※図示 柱の隅角部の面取り 箇所 ※図示 大きさ ※図示 下地調整 ※行う [8. 24. 6] ひび割れ部改修 ・行う [8. 24. 4] 種類及び部位 ※図示 引張強度試験 ・行う [8. 24. 6] 試験数量 ※図示 付着強度試験 ・行う [8. 24. 6] 試験数量 ※図示																																																												

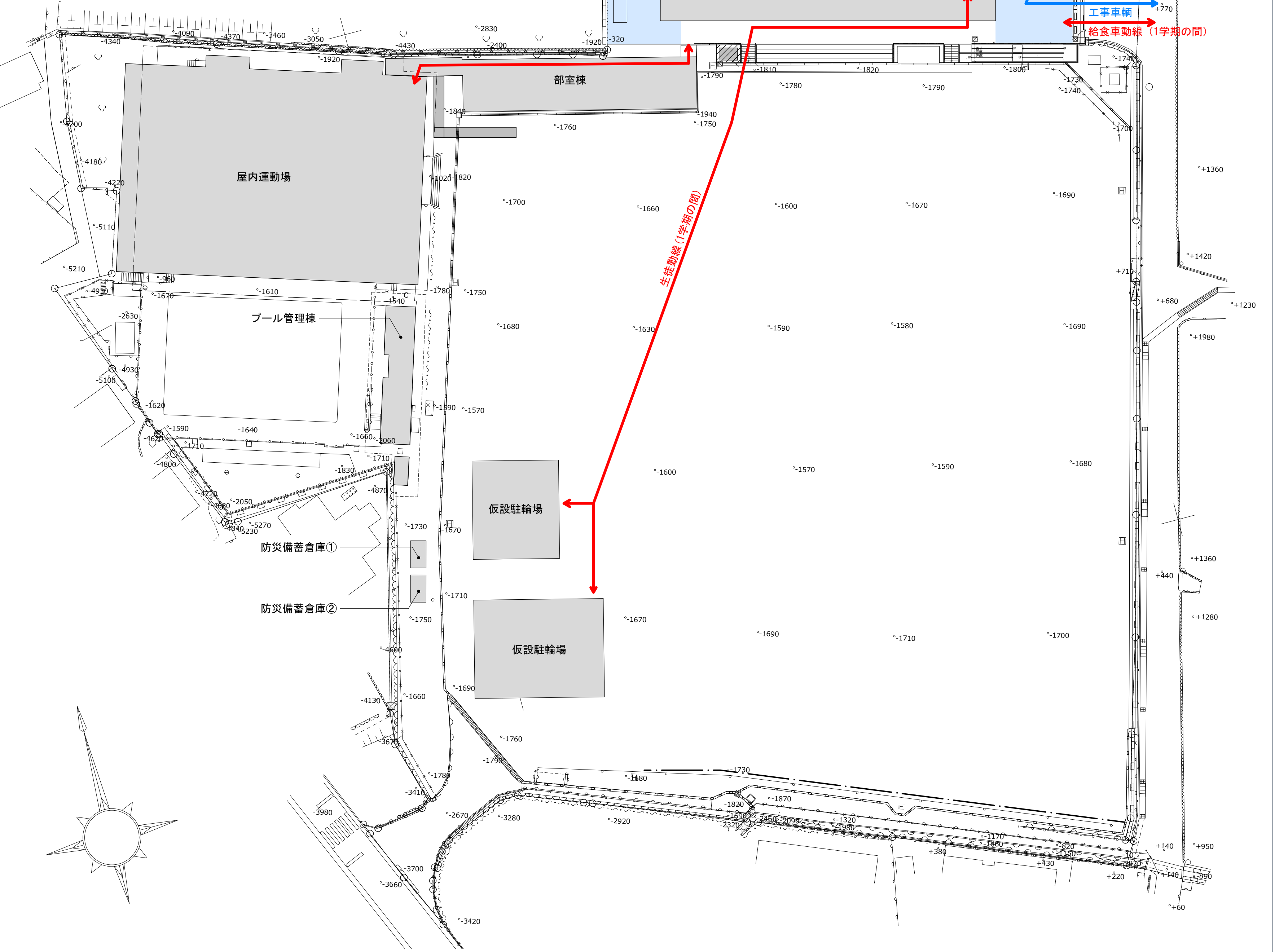
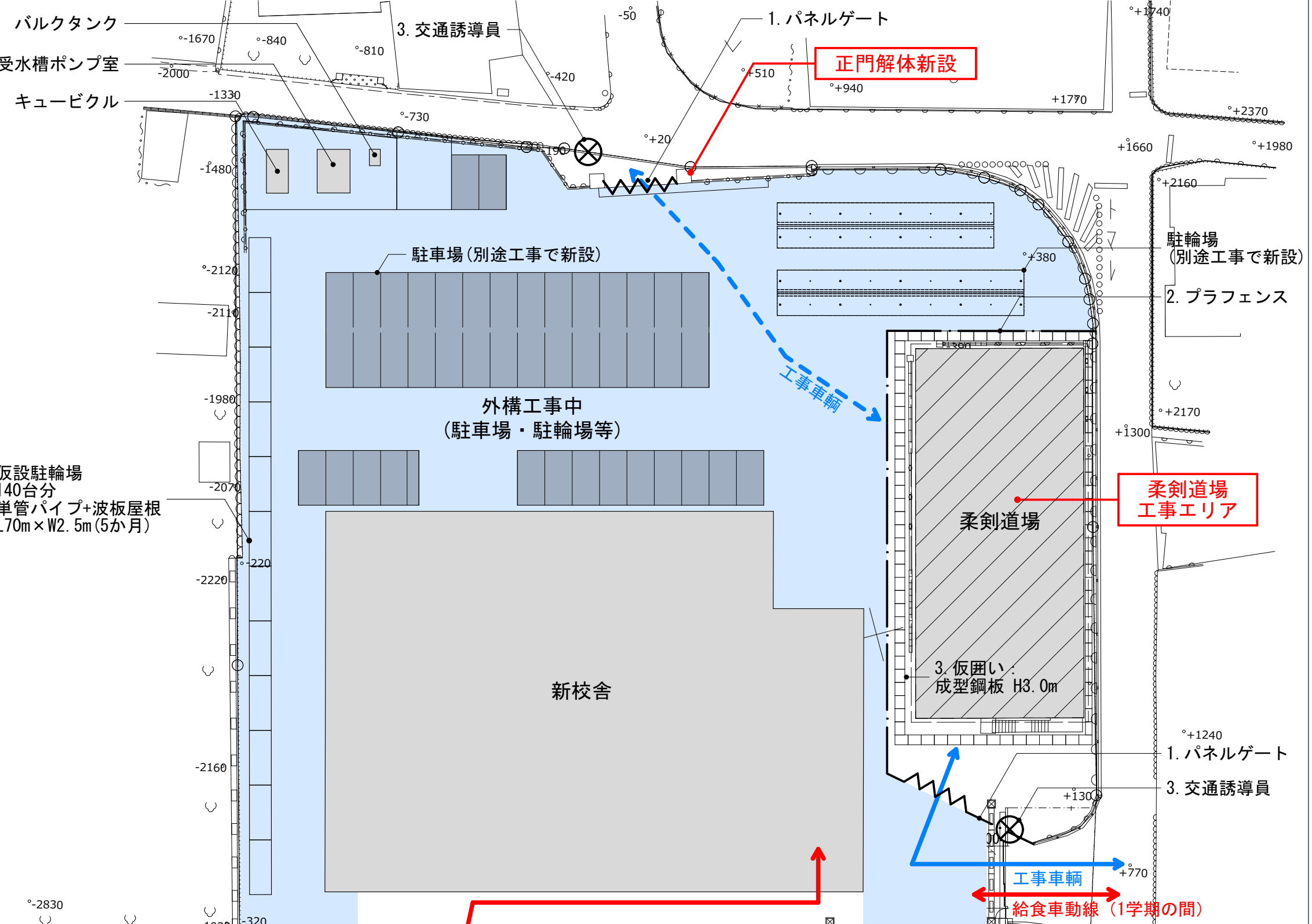
 設計年月 52-037 | 縮 尺 A1： A3：表記の50% | 物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体） 図面名称 特記仕様書-6 | 区分 建築意匠 No. J06 |



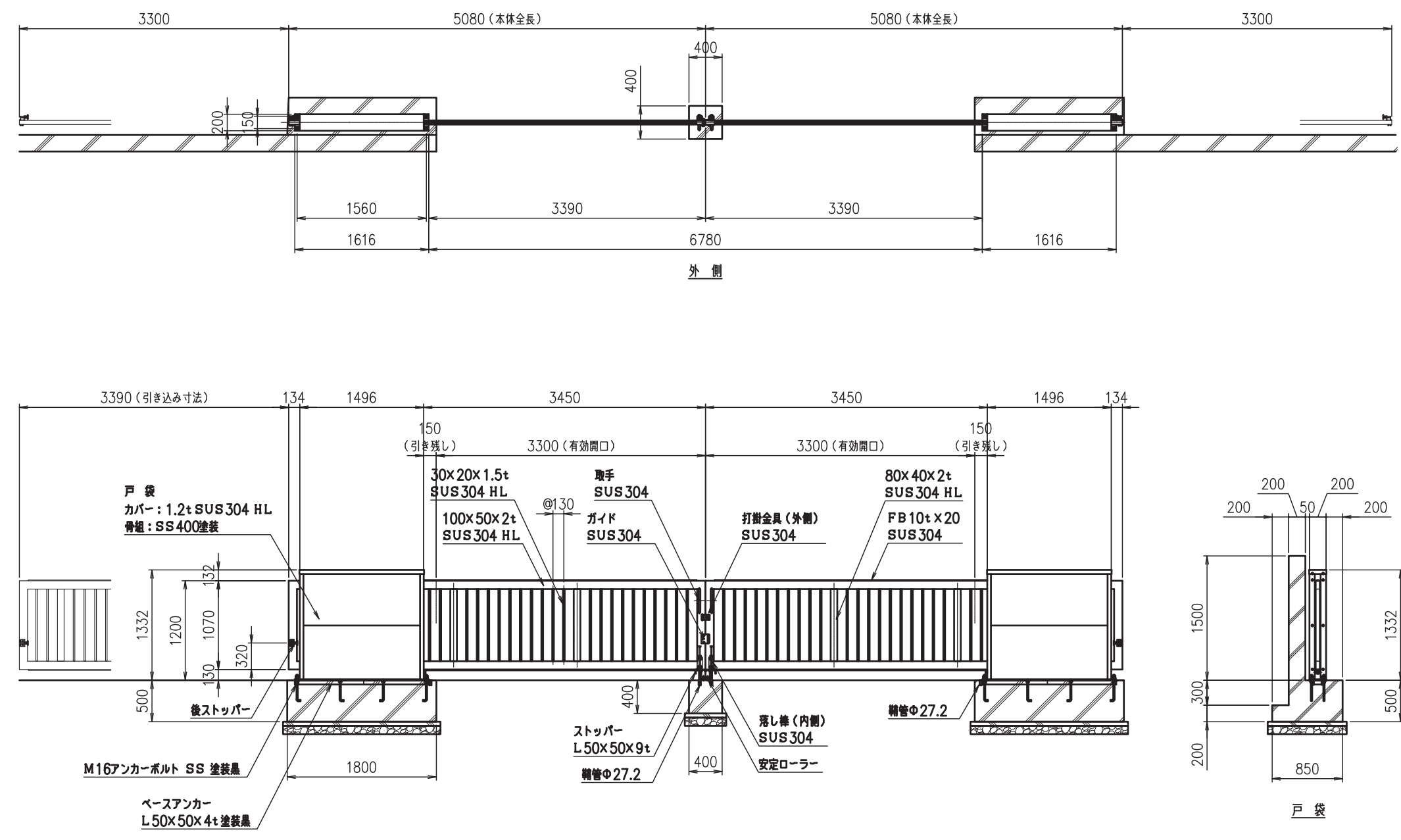


■仮設計画

記号	仕様	数量
	1. 門扉：A型バリケード W7200×H4500	2 (ヶ所)
	2. プラフェンス H1,200	65 (m)
	3. 交通誘導員	延べ100 (人)
	本工程対象建物を示す	
	別途外構工事ヤードを示す	
	生徒動線、給食車両動線を示す	
	工事車輛動線を示す	
	仮設駐輪場	

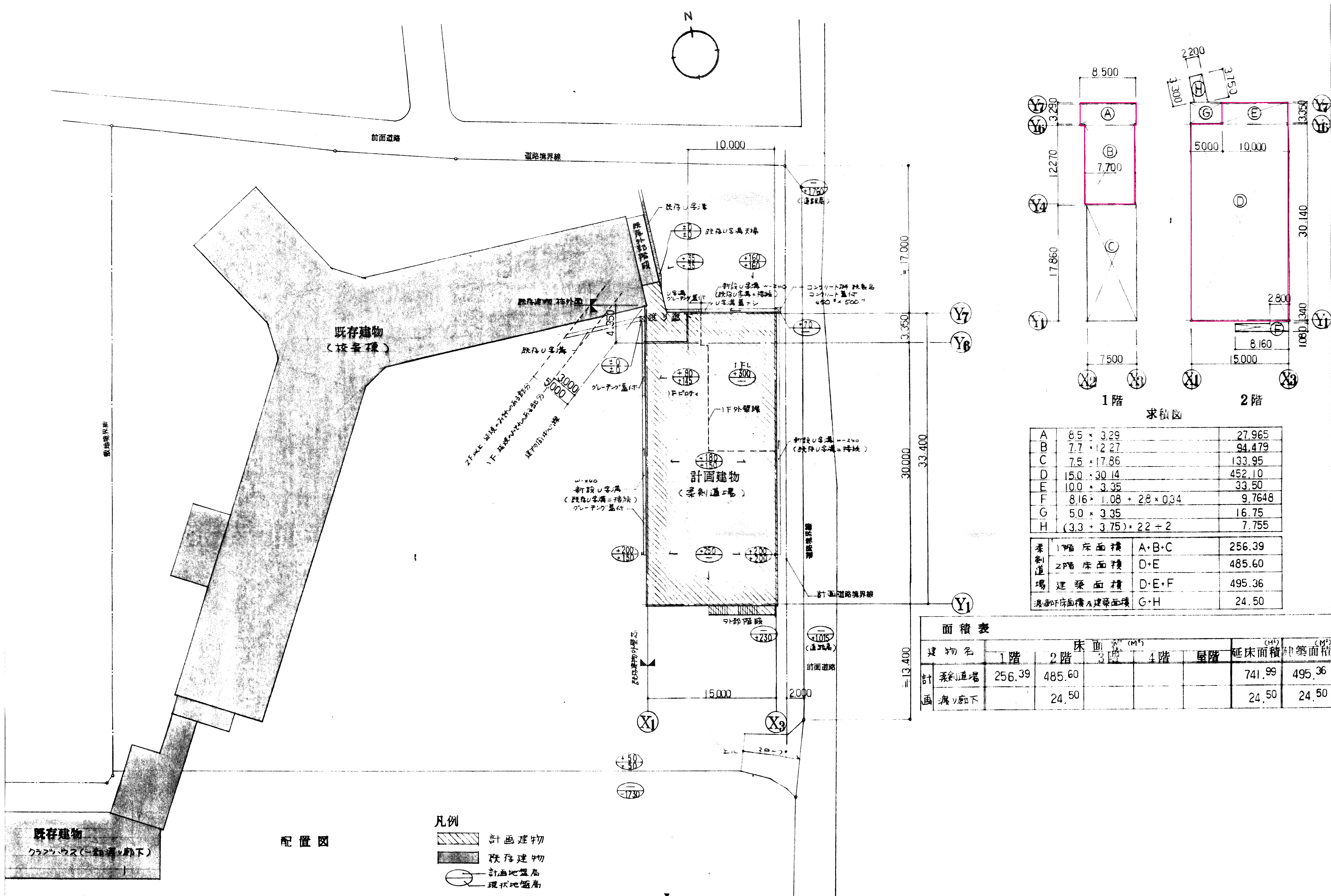


■正門詳細図



設計年月	縮尺	物件名称	区分
		御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	建築意匠
52-037	A1：1:400 A3：表記の50%	図面名称	No.
		案内図・配置図・正門	J07







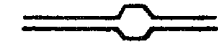



外部仕上表

屋根	木セメント板 ②25 IL-21×20 <sup>kg</sup> /巻 塩ビ鋼板 ②0.4 横置き (カギキタイフ) 傾斜き中區 300	根廻り	コンクリート打設し
軒 棟	塩ビ鋼板 ②0.6 加工 オーバーフP-パイプ 塩ビ鋼板 ②0.4 加工 ④40	玄関下	床 100角磁器タイル 傾斜き中區 ②0.4 傾斜き中區 ②0.4
壁 棟	硬質塩ビパイプ ④100 厚肉 VP 漆 下屋部分 ④80 厚肉 VP 漆	海リロー	床 豆粒利コンクリート ②60 の上 防水用タイル金釘
外 壁	アスファルトフェルト下地 硬質木片セメント板 ②12 目止×板 ③01 長白巾 450 アクリル吹付タイル 柱型 ALU板 ②50 フライー処理の上 アクリル吹付タイル 一部ビロティ部分 壁タイル金釘 (22T地) アクリル吹付タイル	ビロティ	床 コンクリート金釘 エキスパンション目地切 アスファルトコンパウンド Z <sup>o</sup>
軒天 軒鼻	アスファルトフェルト下地 (最音防) 硬質木片セメント板 ②12 目止×板 横目地タイフ アクリル吹付タイル	外部階段	床&段床 CHE-45 OP ヲヤウ [-250×90×9×13 OP 紋部 OP

内部仕上表

室 名	床	巾 木	腰	壁	天 井	天井高	備 考	室 記
1階 玄関	磁器100角タイル G-1 傾斜き中區 (本ミガキ) 完成石	御影石 (本ミガキ) H=100	H=	硬質木片セメント板 ②12 目止×板 横目地タイフ (内部用吹付タイル)	化粧PB ②9 30×30 ②100 OSV	2.600	足フキマット、ステルス付マット敷	
玄関ホール	コンクリート金釘押エ 長尺塩ビシート ②2	ソフト巾木 H=100	H=	合 上	合 上	2.500		
更衣室 (男) (女)	合 上	合 上 H=	H=	タイル金釘 (LB面) 目地切 ②900 木片セメント板 ②12 目止×板 (壁鉄下地等分) 内部用吹付タイル	化粧PB ②9	2.200		○ 壁紙
便所 (男) (女)	磁器丸モザイクタイル 傾斜き TB	H=	H=	100角磁器タイル	傾斜板 目止×板 AEP ②6	2.250		
洗面所 (男) (女)	コンクリート金釘押エ 長尺塩ビシート ②2	ソフト巾木 H=100	H=	タイル金釘 内部用吹付タイル	合 上	2.200		○ 壁紙
廊下	合 上	合 上 H=	H=	合 上	化粧PB ②9	2.200	ステルス流し	
2階		H=	H=					
階段	段音防タイル金釘 (×0.3×2) ホールの部分板 ②12+5.5 長尺塩ビシート ②2	ソフト巾木 ササガ板 OP H=100	H=	硬質木片セメント板 ②12 目止×板 横目地タイフ 内部用吹付タイル	化粧PB ②9 30×30 (さお線) ②600 OSV	2100 5 2800		○ 木製
廊下	30×30 フロア 岩本フロア ②16 (ササガ)	米松板 ②25 OSV H=100	米松板 ②12×450×2450 米松板 ②12×450×1810 化粧目地米松加工 OSV H=	化粧目地米松加工 OSV 米松有孔板 ②6×450×1800 内部ガラス板 ②25 光テ (密度 24 <sup>kg</sup> /m <sup>3</sup> )	ガラス板 (不透明塩化ビニールシート) ②25 密度 48 <sup>kg</sup> /m <sup>3</sup> ポン上× ②450 光テ 30×30		床下換気パシカル 鉄製品 120×500 (1台)	○ 木製
浴室	乗道用ゴムクッション付 30×30 フロア (スパーエ工法) ビニール表 タタミ敷 ②55	巾木 米松 ②25 OSV タタミ岩本 米松集成板 OSV H=	合 上 H=	合 上	合 上			
倉庫	合板 ②12+5.5 塩ビタイル ②2	ソフト巾木 H=100	H=	30×30 板 ②5.5 OP	化粧PB ②9	2.100 5 2800		○ 木製
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					
		H=	H=					

略 号

OP	油性調合ペイント	LP	ラテックスペイント		鉄筋コンクリート造
VP	塩化ビニールペイント	CL	クリヤラッカー		補強コンクリートブロック造
WP	水性ペイント	人研	人造石研出仕上		木造
AEP	アクリル系合成樹脂エマルジョンペイント				鉄骨



※赤字追記以外の部分は全て既存のままとする

プロティ床：樹脂系塗床材コーティング工法エポキシ系  
+駐輪場ライン引(総延長150m)

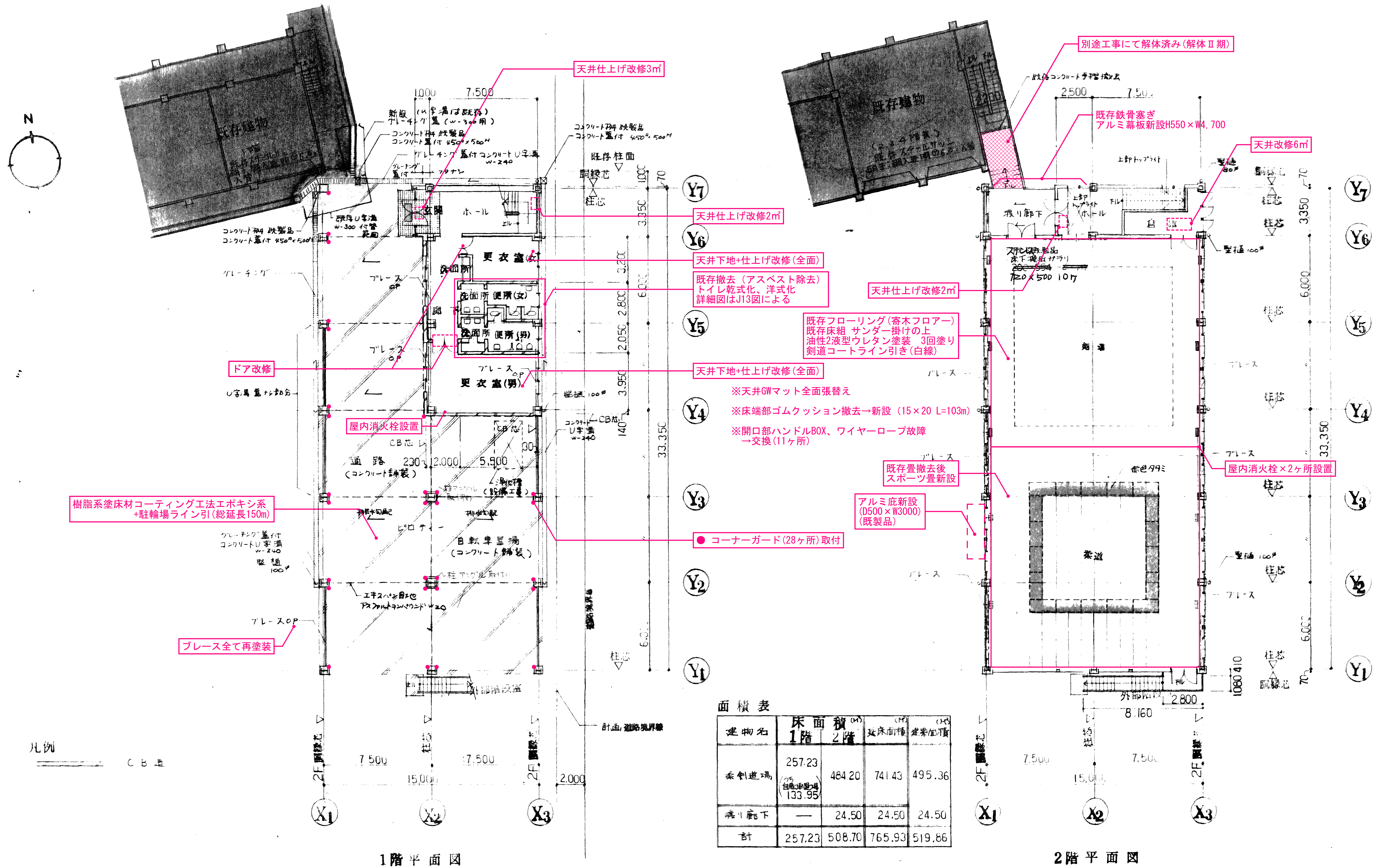
既存塗膜除去高圧水洗(劣化部除去)+可とう形改修塗材E(アクリル)  
ALC欠損部補修(1.0㎡×5ヶ所)、全て廻りシーリング撤去・打替え

撤去→ガラスクロス額縁貼りガラスウール32k t25新設

- ※1 床ビニルシート、ビニル巾木は全てクリーニング(水拭き、ワックスかけ)を見込む
- ※2 アルミサッシは全てクリーニングを見込む
- ※3 内装壁破損ヶ所(1,810mm×450mm×5ヶ所)はすべて壁補修を見込む
- ※4 柔剣道場フローリング周囲ゴムクッション撤去新設

設計年月	縮 尺	物件名称	御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分	建築意匠
52-037	A1： A3：表記の50%	図面名称	内部仕上表（参考-改修後）	No.	J10

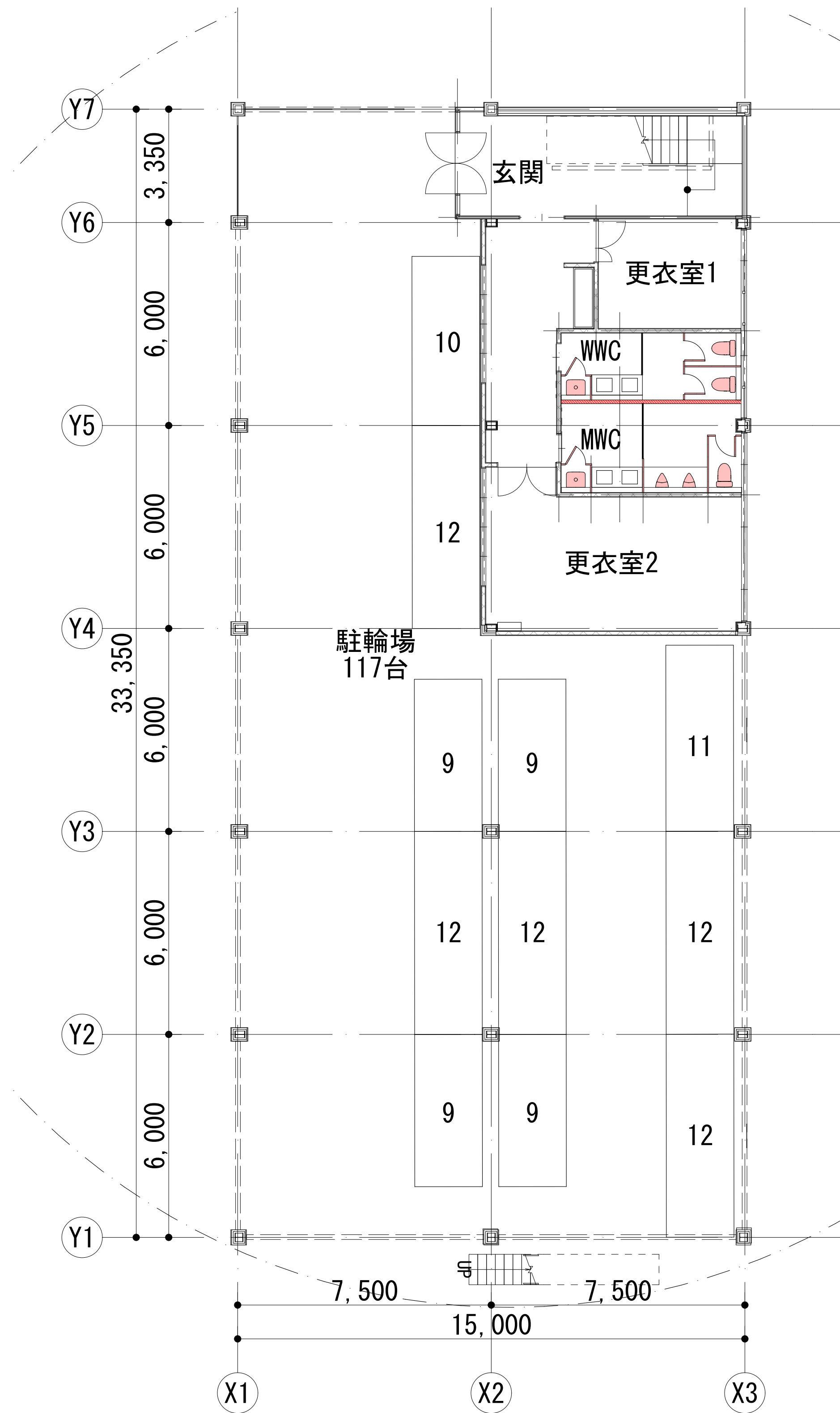




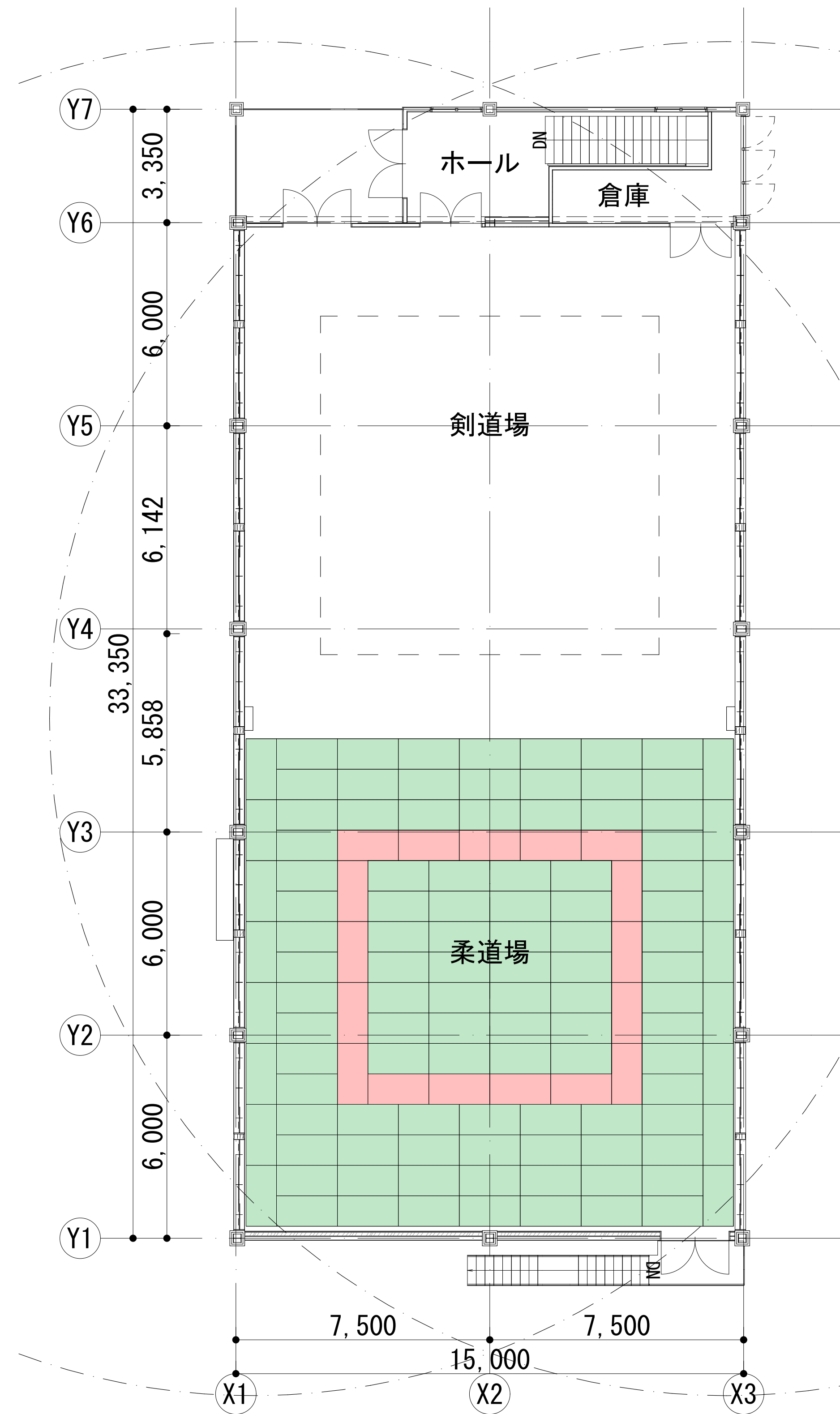
採光面積・換気面積・開口面積算定表(表中の有効開口面積は次頁の有効開口面積 建具表参照)																																						
階	室名	居室	平均天井高さ(mm)	床面積A(m <sup>2</sup> )	法第28条1項の採光計算														法第28条2項の換気計算										令128条3-2の窓その他開口部を有しない居室等の開口計算									
					令111条1項の窓その他開口部を有しない居室等の開口計算														法第28条2項の換気計算										令128条3-2の窓その他開口部を有しない居室等の開口計算									
					必要採光面積	建具記号 ※特記無きAW	面積	×	数		小計	有効開口面積合計	×	採光補正係数	計	判定	必要換気面積(A/20)	建具記号 ※特記無きAW	面積	×	数		小計	有効開口面積合計	判定	必要開口面積(A/50)	建具記号 ※特記無きAW	面積	×	数		小計	有効開口面積合計	判定				
1	柔剣道場	居室	4,850	452.10	5	90.420	AW4	2.268	×	10	=	22.680	22.680	×	3	110.971	OK	22.605	AW4	2.268	×	20	=	45.360	45.360	OK	9.042	AW4	2.268	×	20	=	45.360	45.360	OK			
							AW4	2.268	×	10	=	22.680	22.680	×	1																							
							AW6	1.330	×	3	=	3.990	3.990	×	1																							
							AW10	3.882	×	2	=	7.765	7.765	×	1																							
							AW11	0.797	×	8	=	6.372	6.372	×	1																							
							AW12	0.531	×	4	=	2.124	2.124	×	1																							

※採光補正係数について (d/H) × 10-1  
・最もHの大きな1階の窓中心高さにおいて H=3.65      ・dは東側開口部が隣地境界線との距離で1.6mが最小となり、いずれもd>4となる (1.6/3.65) × 10-1 = 3.94 → よって 補正係数=3








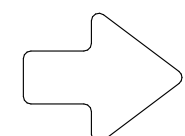
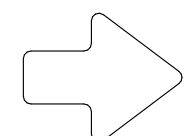
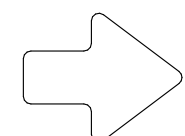
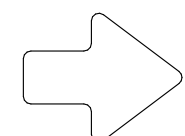
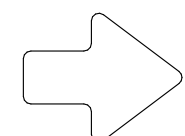
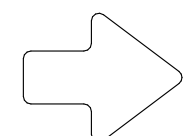
1階平面図 1:100



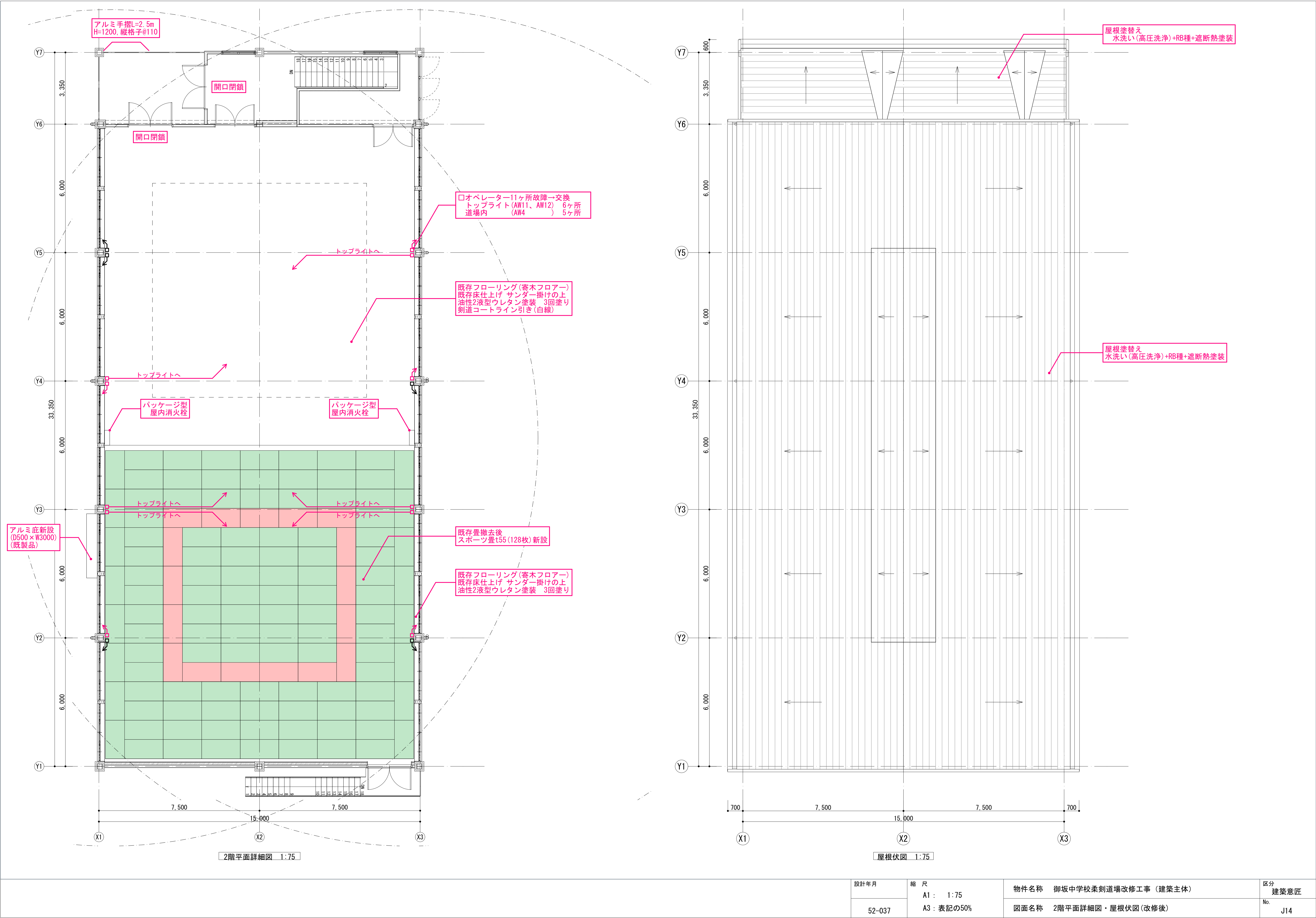
2階平面図 1:100

設計年月	縮 尺	物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分 建築意匠
52-037	A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	図面名称 柔剣道場 平面図（改修後）	No. J12



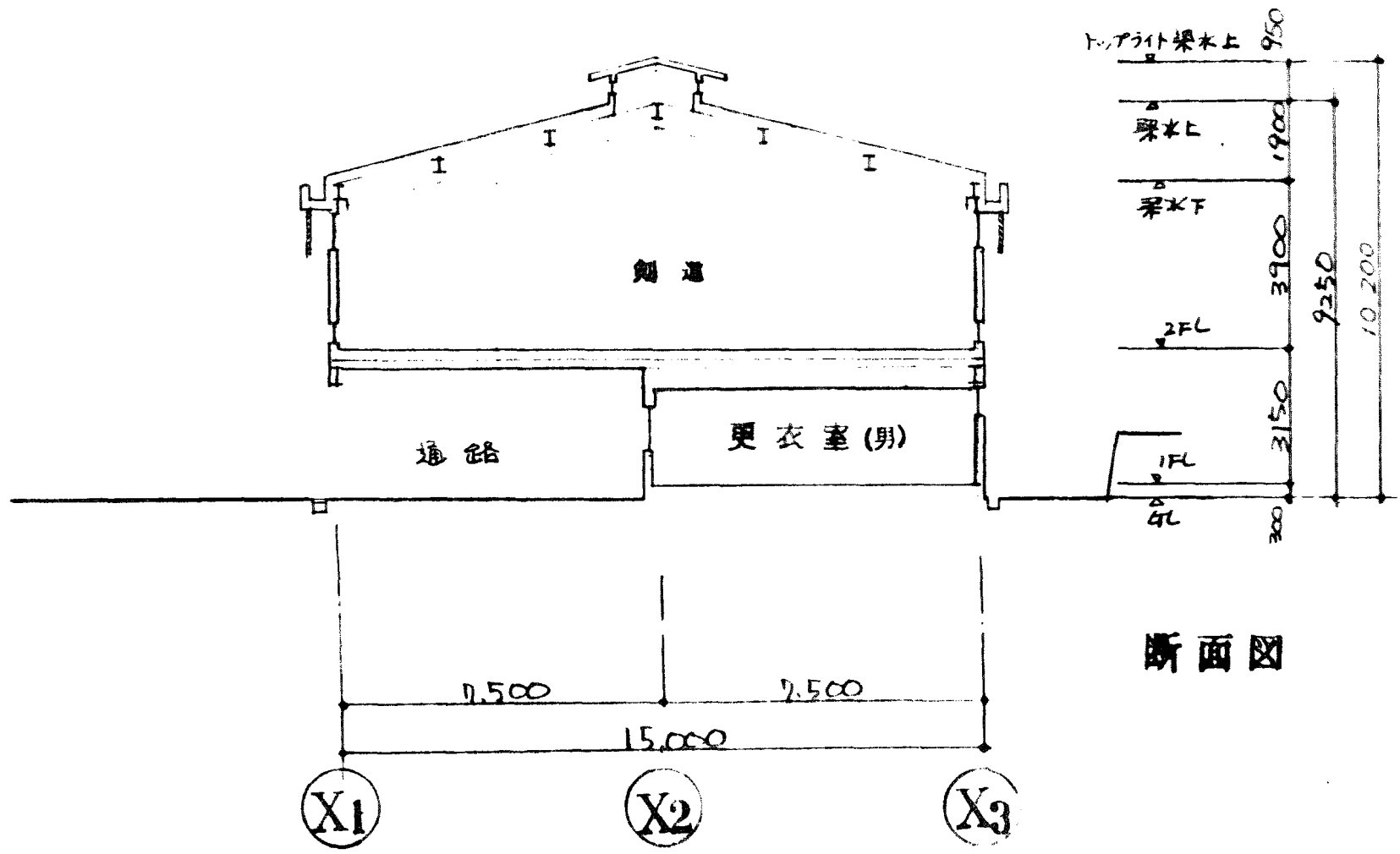
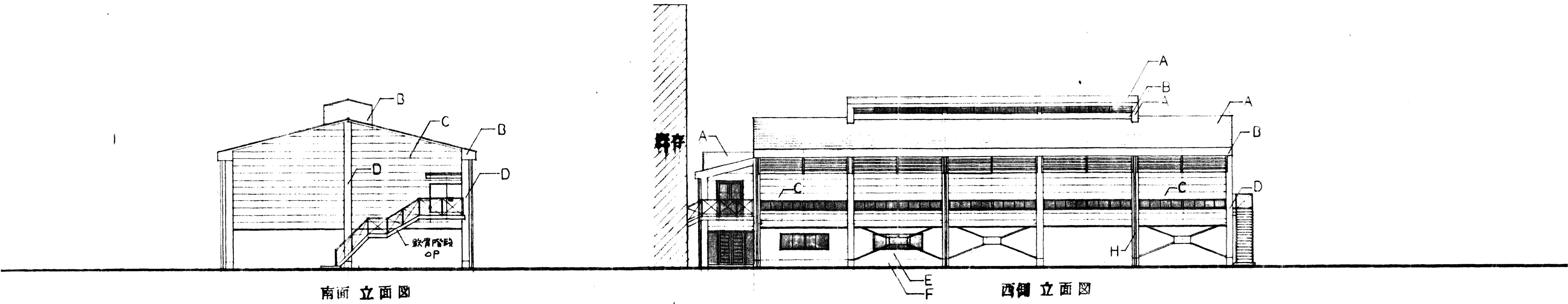
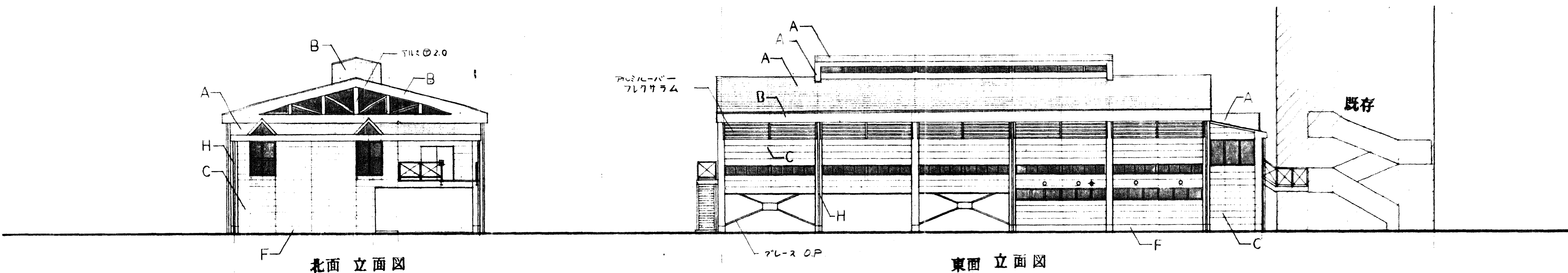






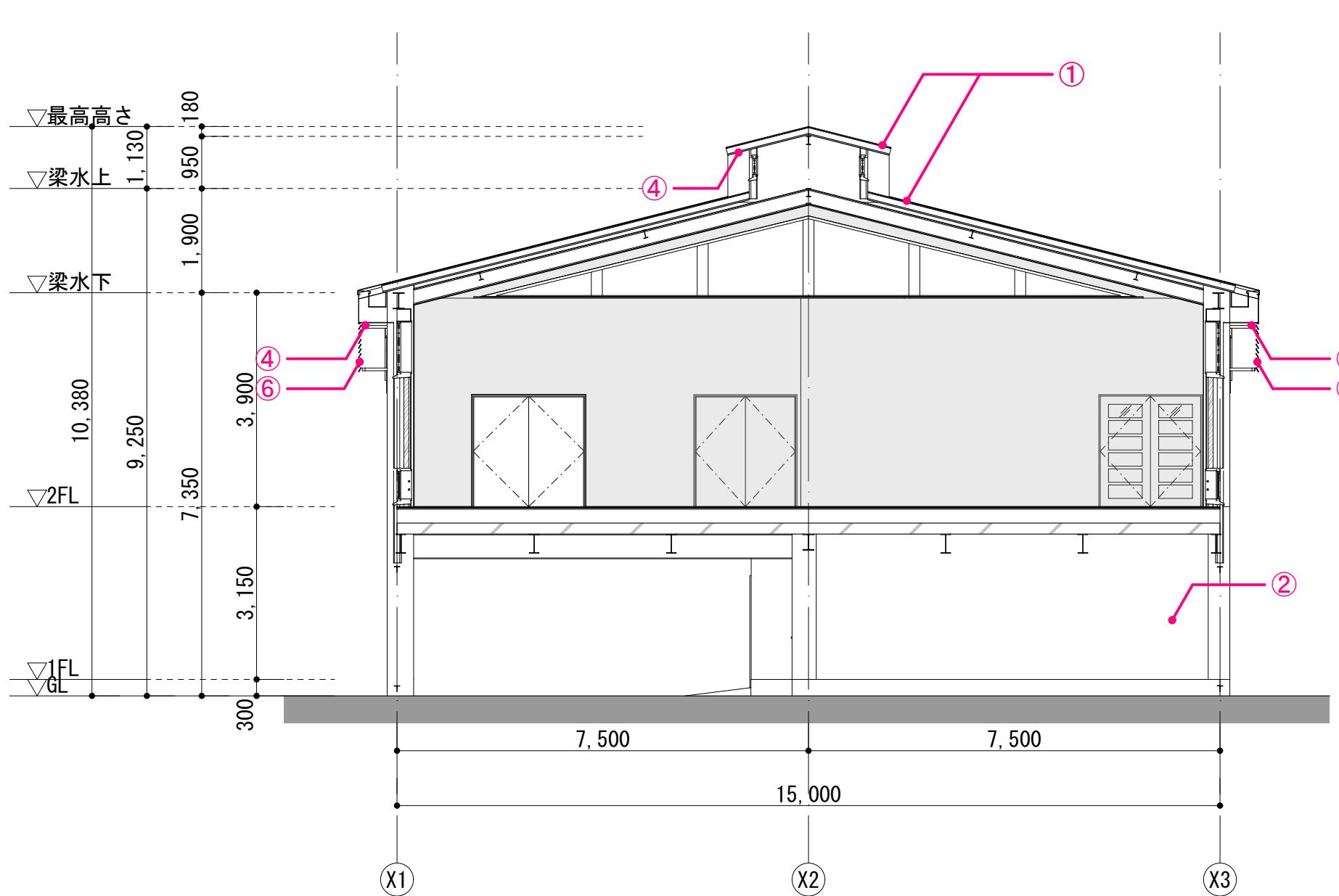
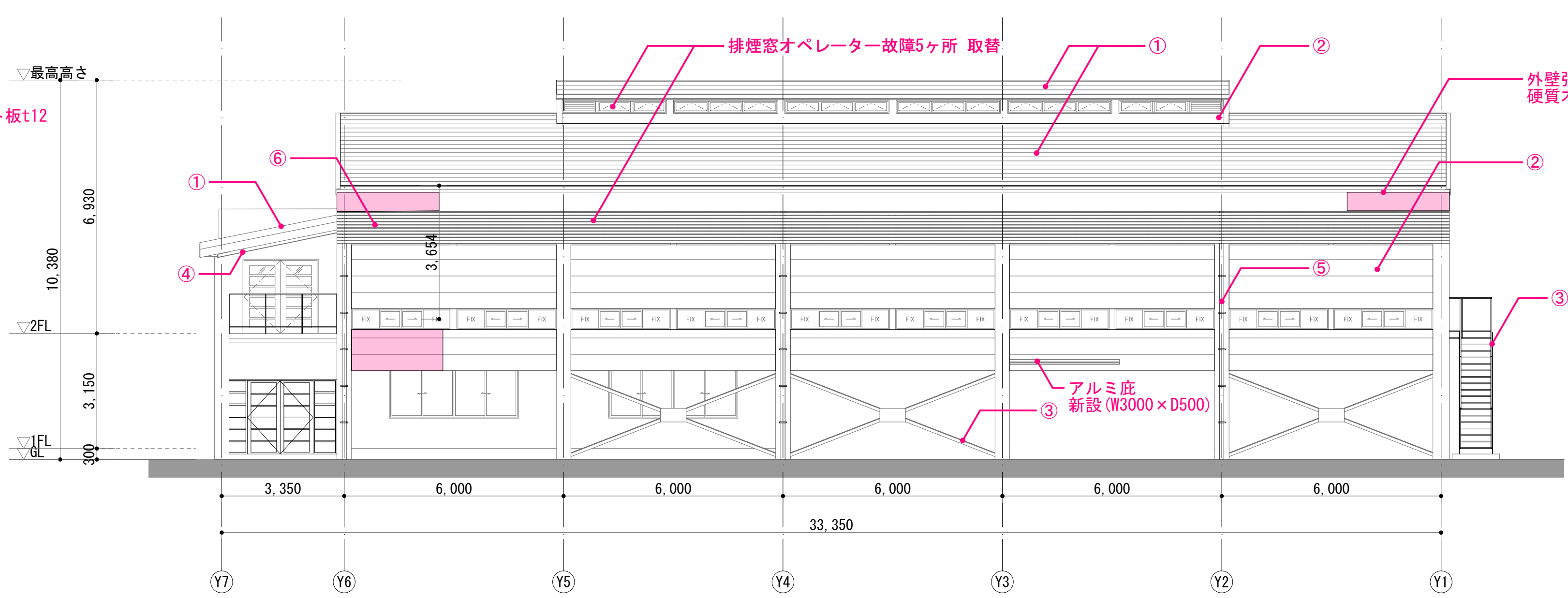
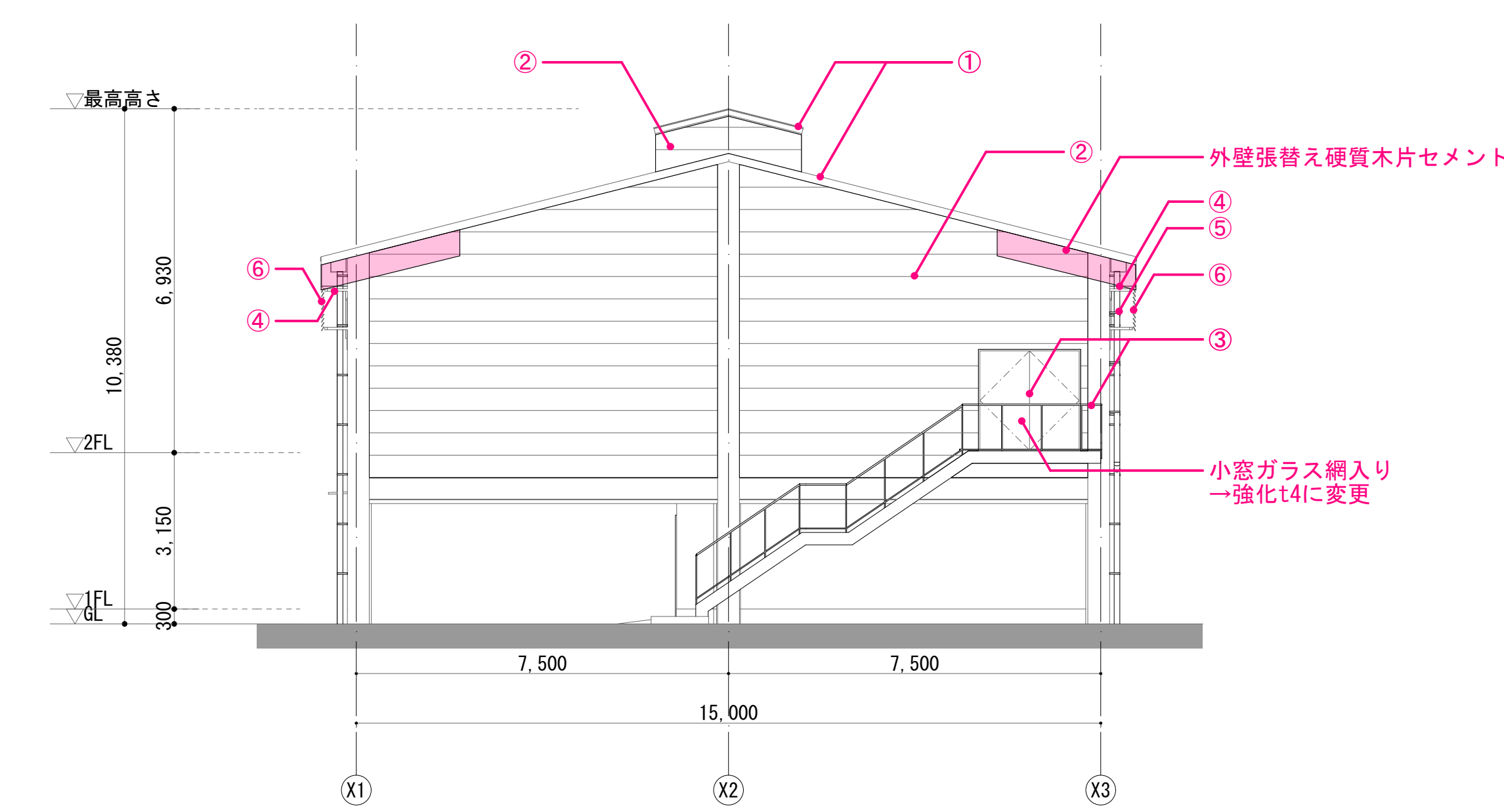
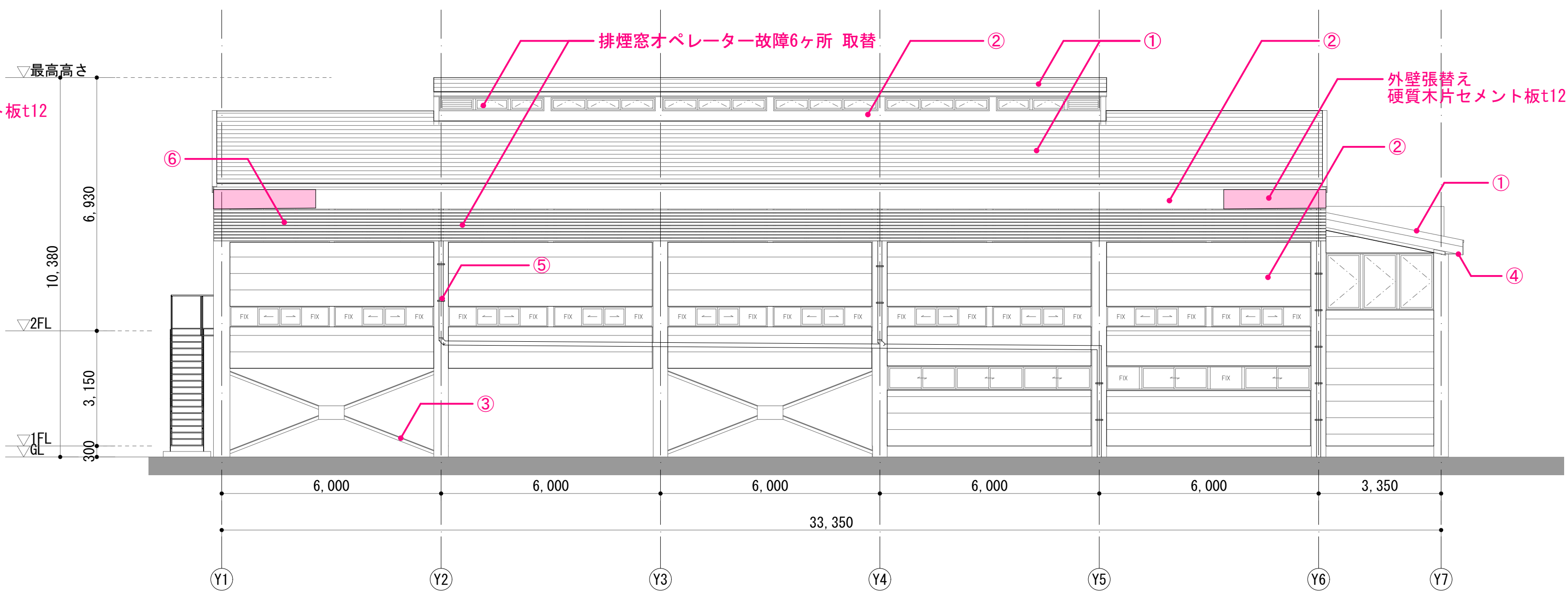
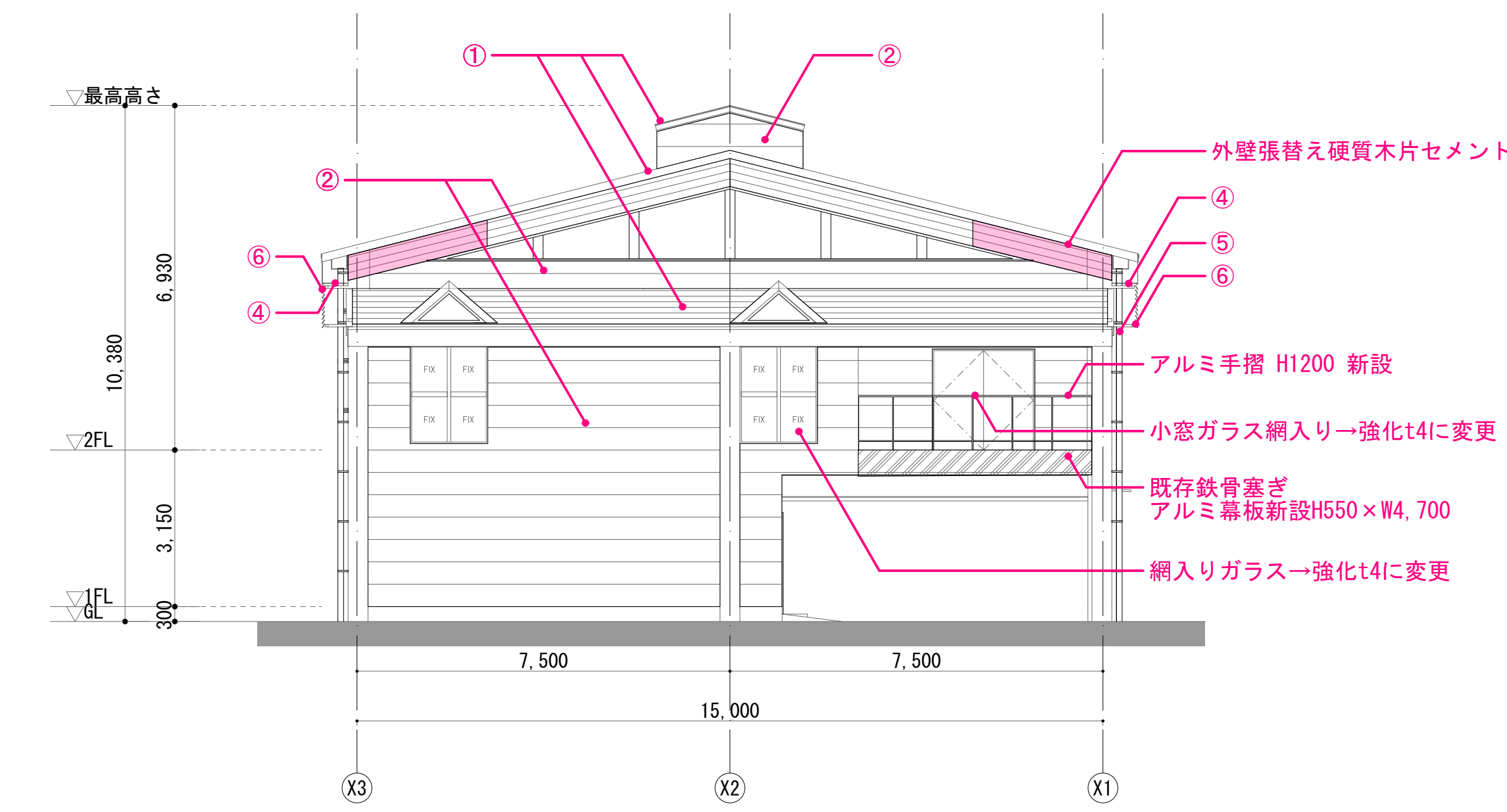
設計年月	縮尺	物件名称	御坂中学校柔剣道場改修工事(建築主体)	区分
		図面名称	2階平面詳細図・屋根伏図(改修後)	建築意匠
52-037	A1: 1:75 A3: 表記の50%			No. J14





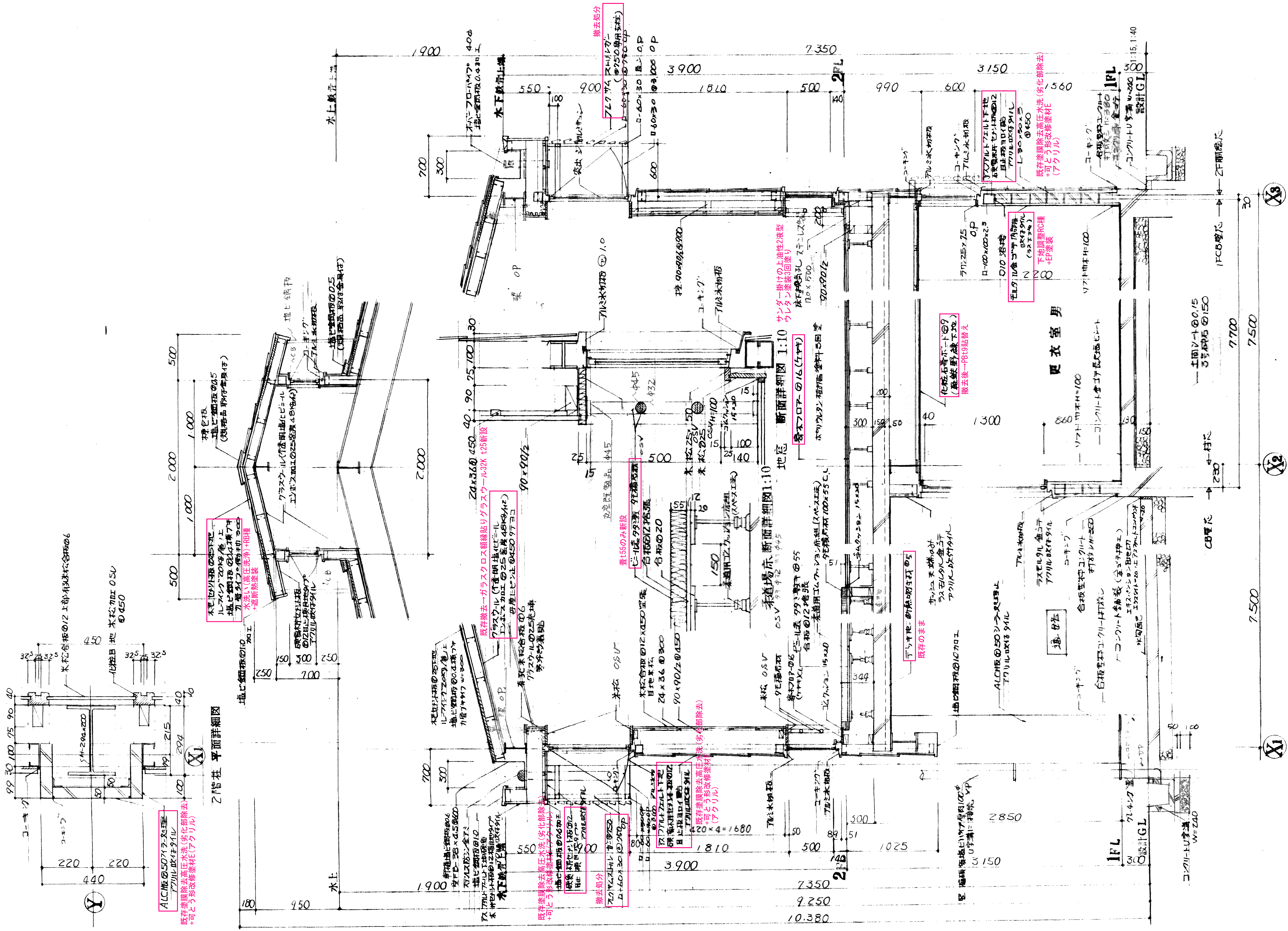
- 外部仕上凡例
- A 塩ビ樹脂板 40x40 横張 (カチンタイプ 100x300)
  - B 硬質木片 12x12 板 2 目止×板 横張 塩ビ樹脂板 40x40 横張 (カチンタイプ 100x300)
  - C 硬質木片 12x12 板 12 目止×板 30x30 目止 450x450 アクリル吹付タイル
  - D ALK 50x50 フィラー処理 2 目止×板 横張 塩ビ樹脂板 40x40 横張 (カチンタイプ 100x300)
  - E ラスチック樹脂板 40x40 横張 アクリル吹付タイル
  - F 合板型枠コンクリート打設 (2F・3F アクリル吹付タイル)
  - G 塩ビ樹脂板 40x40 横張
  - H 堅種 硬質塩ビ管 (厚肉) 100φ V.P. (下層部 80φ)
  - I 渡り廊下屋根 長尺カラーフェルト 40x60
- 天井扇 (設備工事) 開口 150φ (穴アケ 開口補強建築工事)
- ◇ 通気管 (設備工事) 開口 130φ (穴アケ 開口補強建築工事)





立面図凡例			
①	屋根塗替え 水洗い(高圧洗浄)+RB種+遮断熱塗装	④	軒天 既存塗膜除去高圧水洗(劣化部除去)+可とう形改修塗材E(アクリル)
②	外壁塗替え 既存塗膜除去高圧水洗(劣化部除去)+可とう形改修塗材E(アクリル) ALC欠損部補修(1.0㎡×5ヶ所)、全て廻りシーリング撤去・打替え	⑤	壁樋 水洗い(高圧洗浄)+DP塗装3級(B種)
③	屋外階段、ブレース、鉄扉 RB種+DP塗装3級(B種)	⑥	アルミルーバー(フレクスラム) 全て撤去
<div></div> 外壁張替え硬質木片セメント板t12			
屋内消火栓 2F床面積 485.60/30=16.186㎡ < 2F窓：4+4+4+(1.395×3)+0.65=16.835 (OK) 1F床面積 122.44/30= 4.081㎡ < 1F窓：3.6+(2.21×2)=8.02㎡ (OK)			

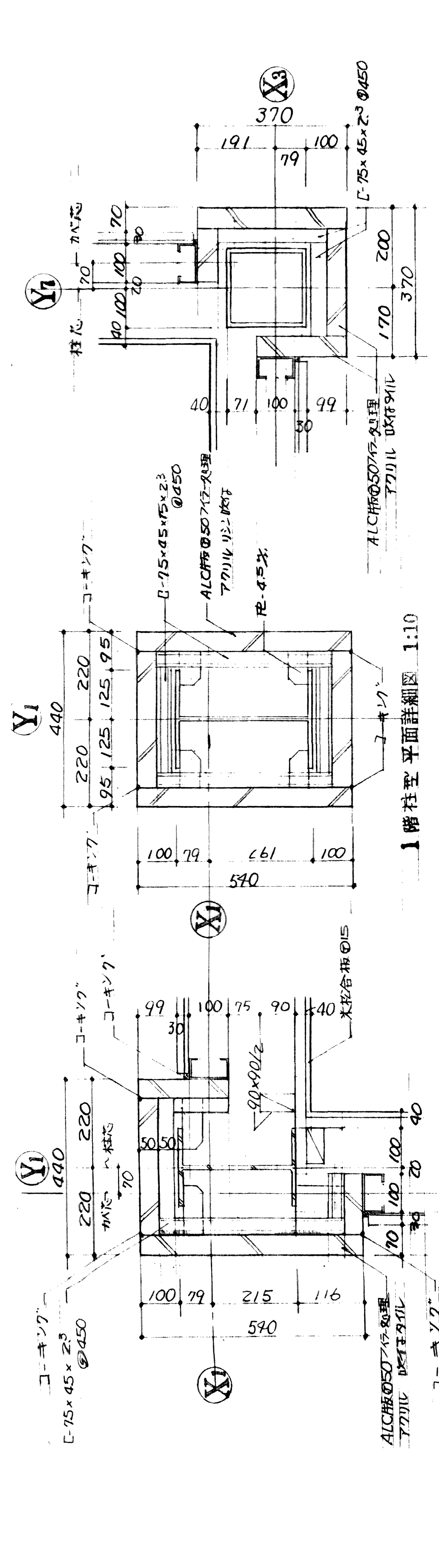




断面詳細図

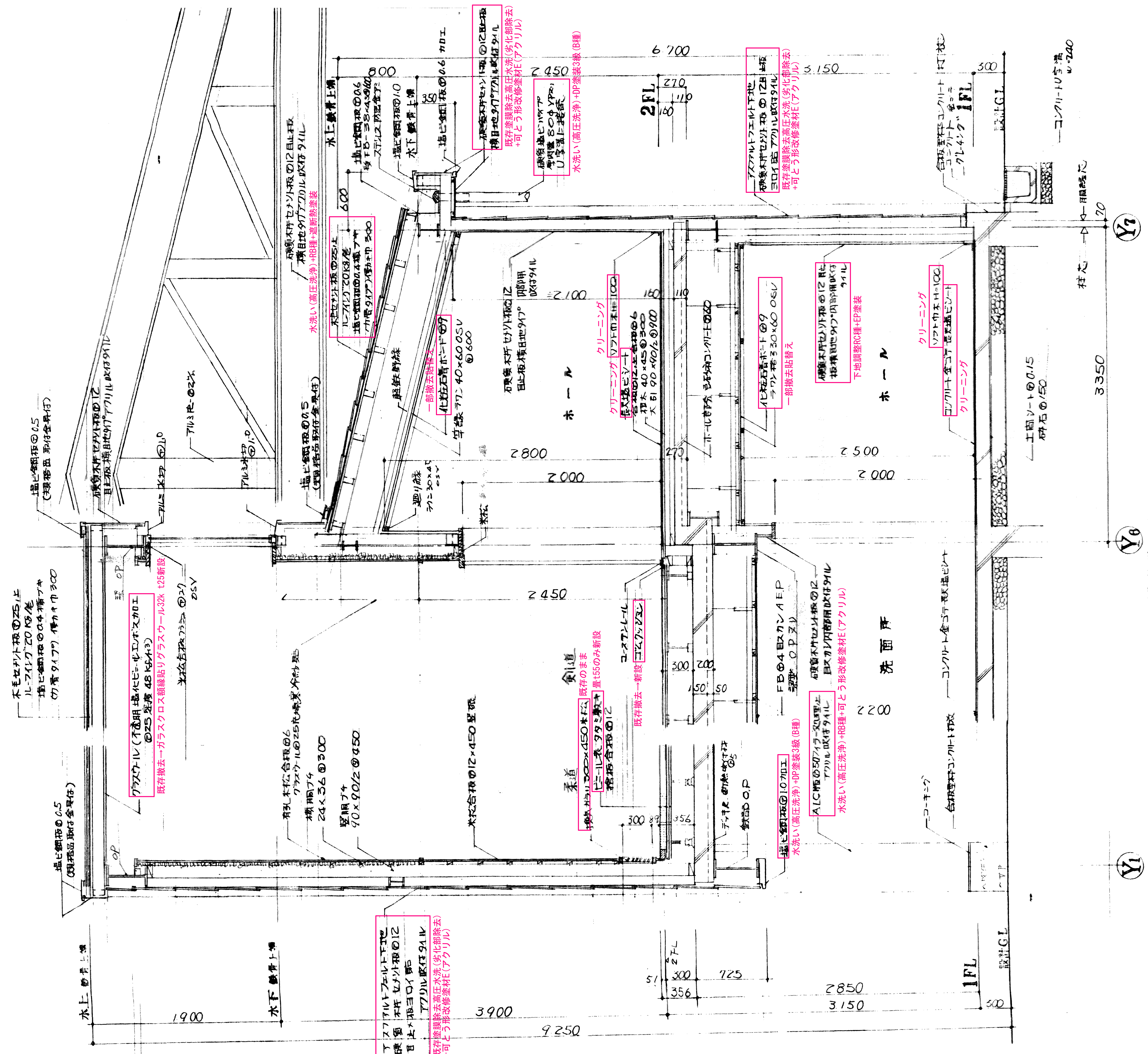
設計年月	縮尺	物件名称	御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）
		図面名称	柔剣道場 矩計図1（参考）
52-037	A1: A3：表記の50%		
			区分 建築意匠
			No. J17





1階柱型平面詳細図 1:10

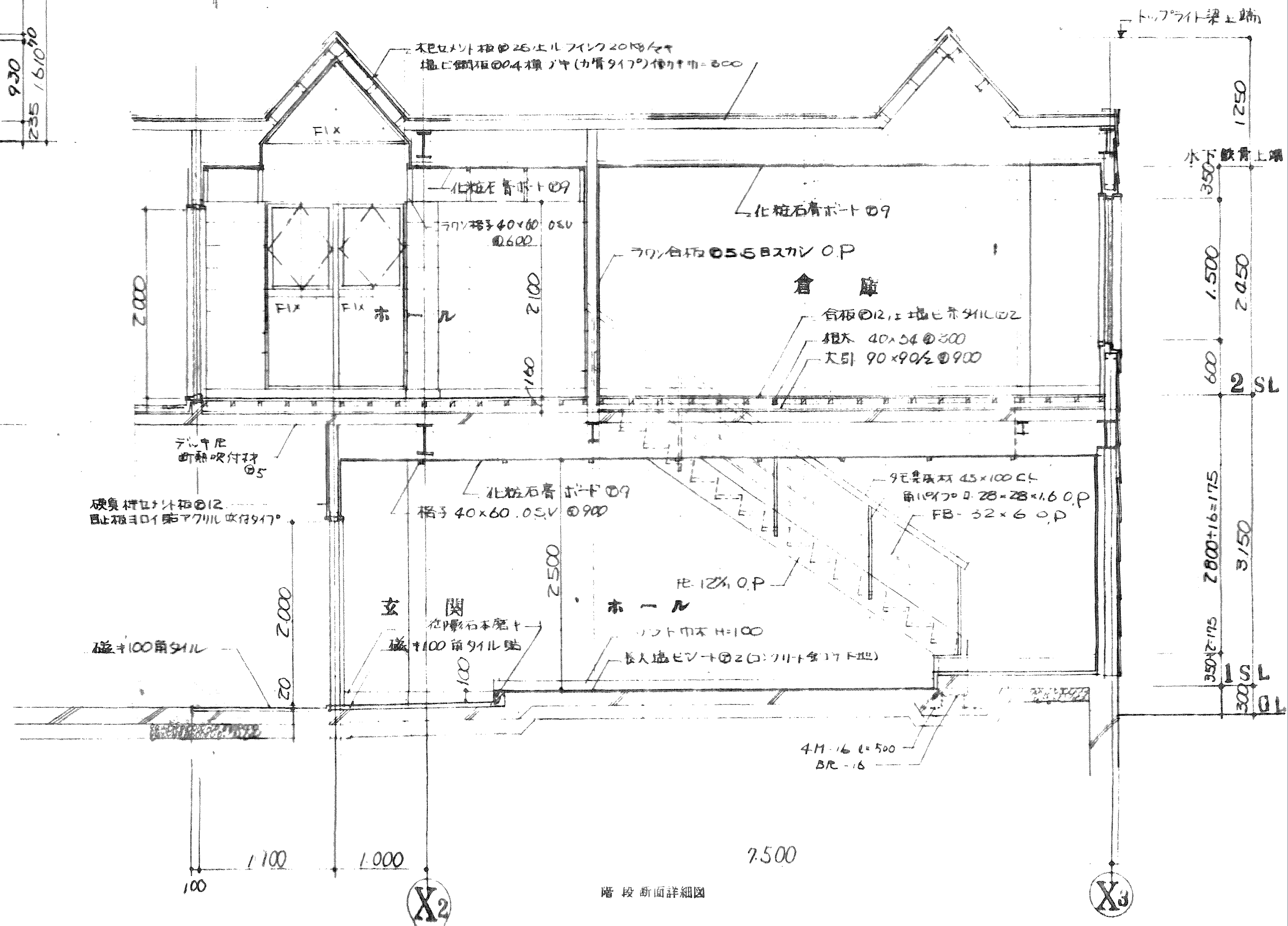
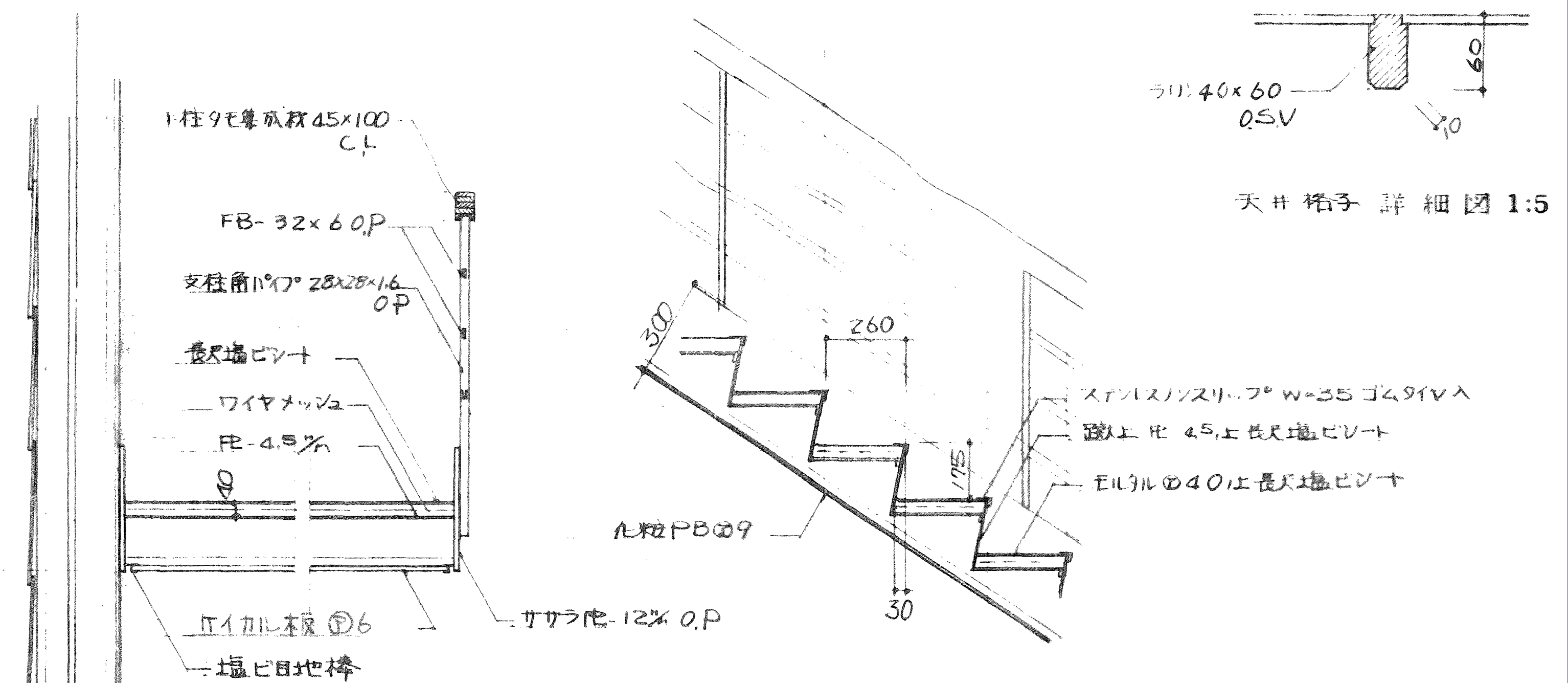
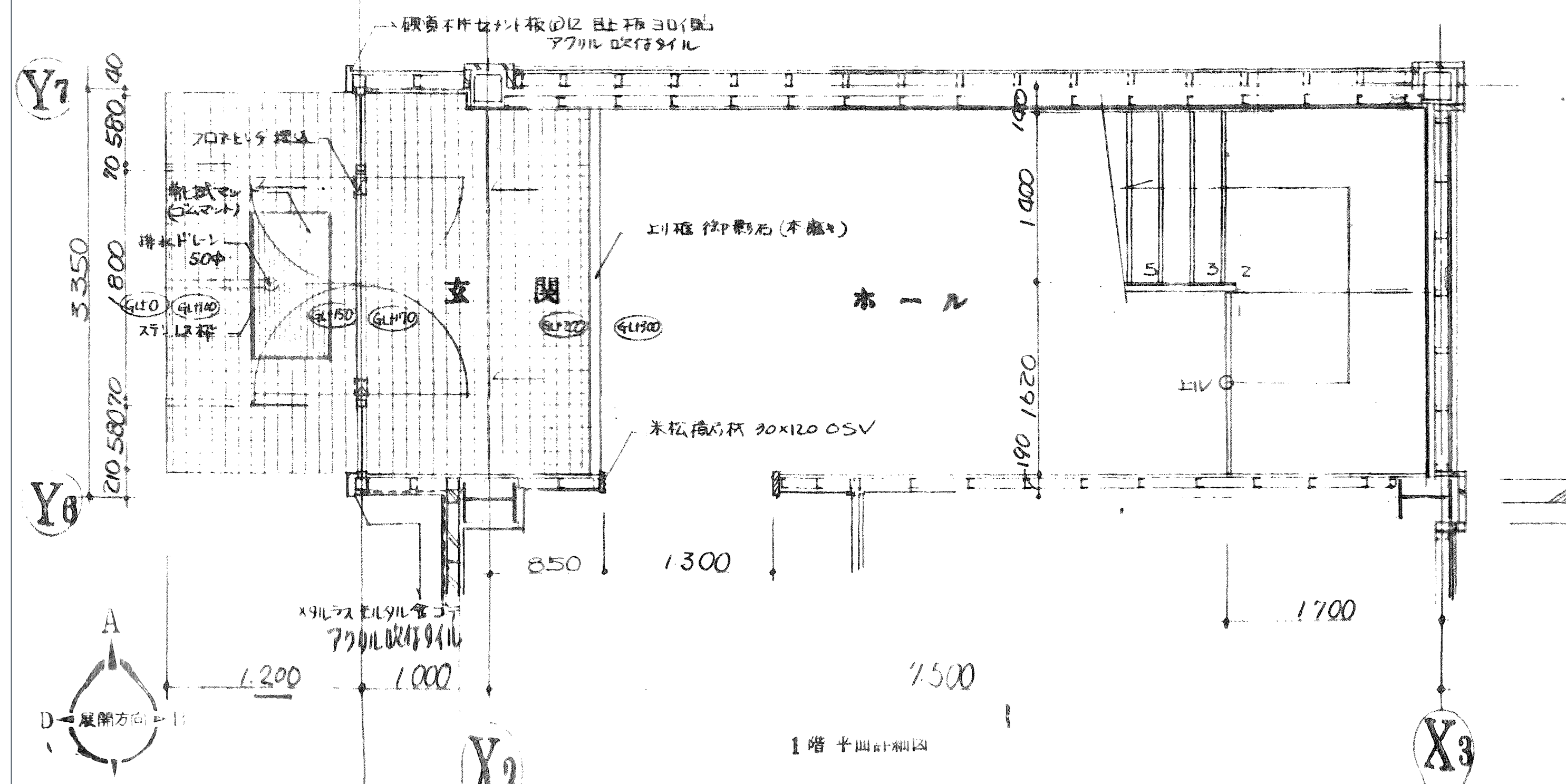
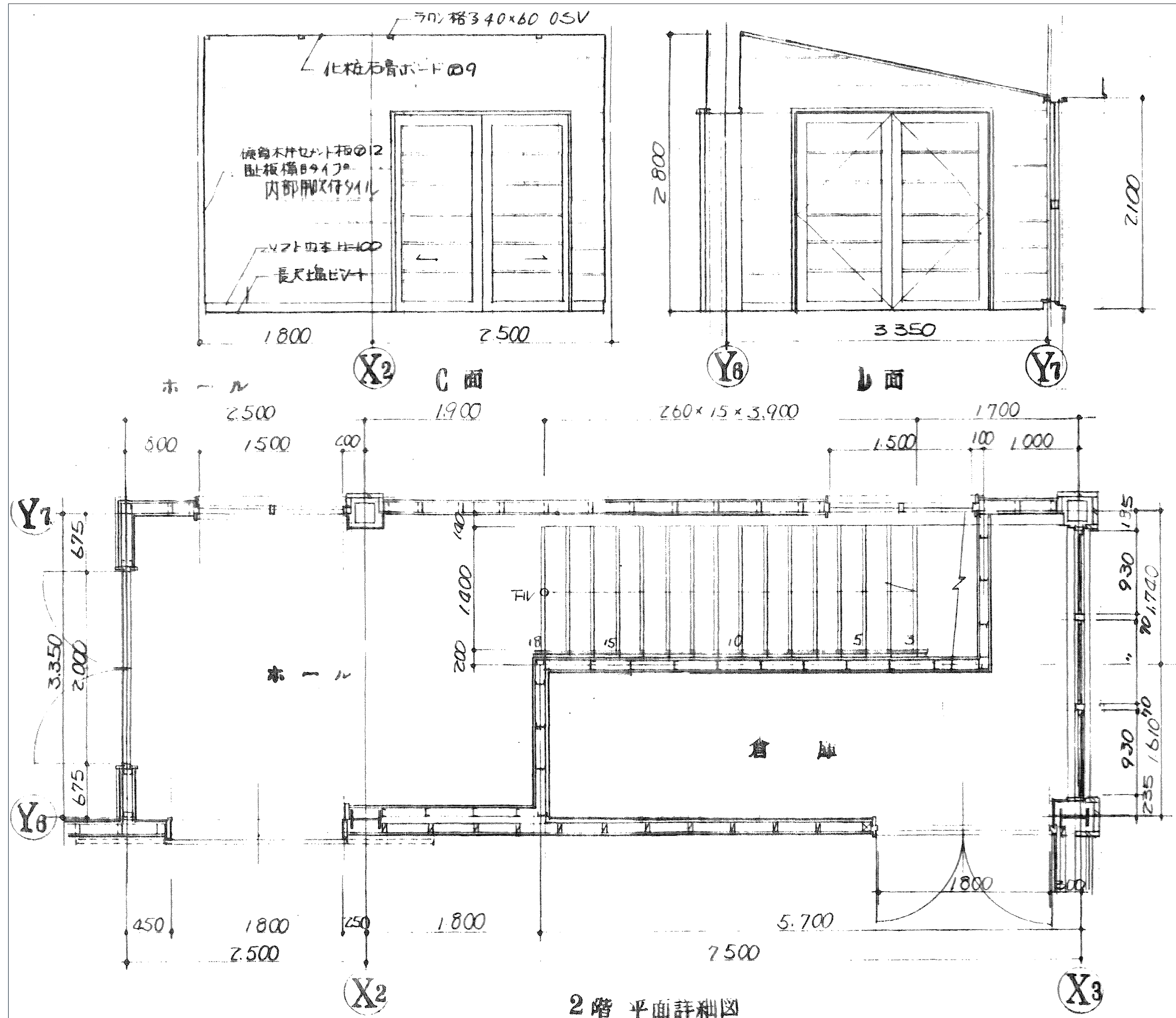
2階柱型平面詳細図 1:10



2階柱型平面詳細図 1:10

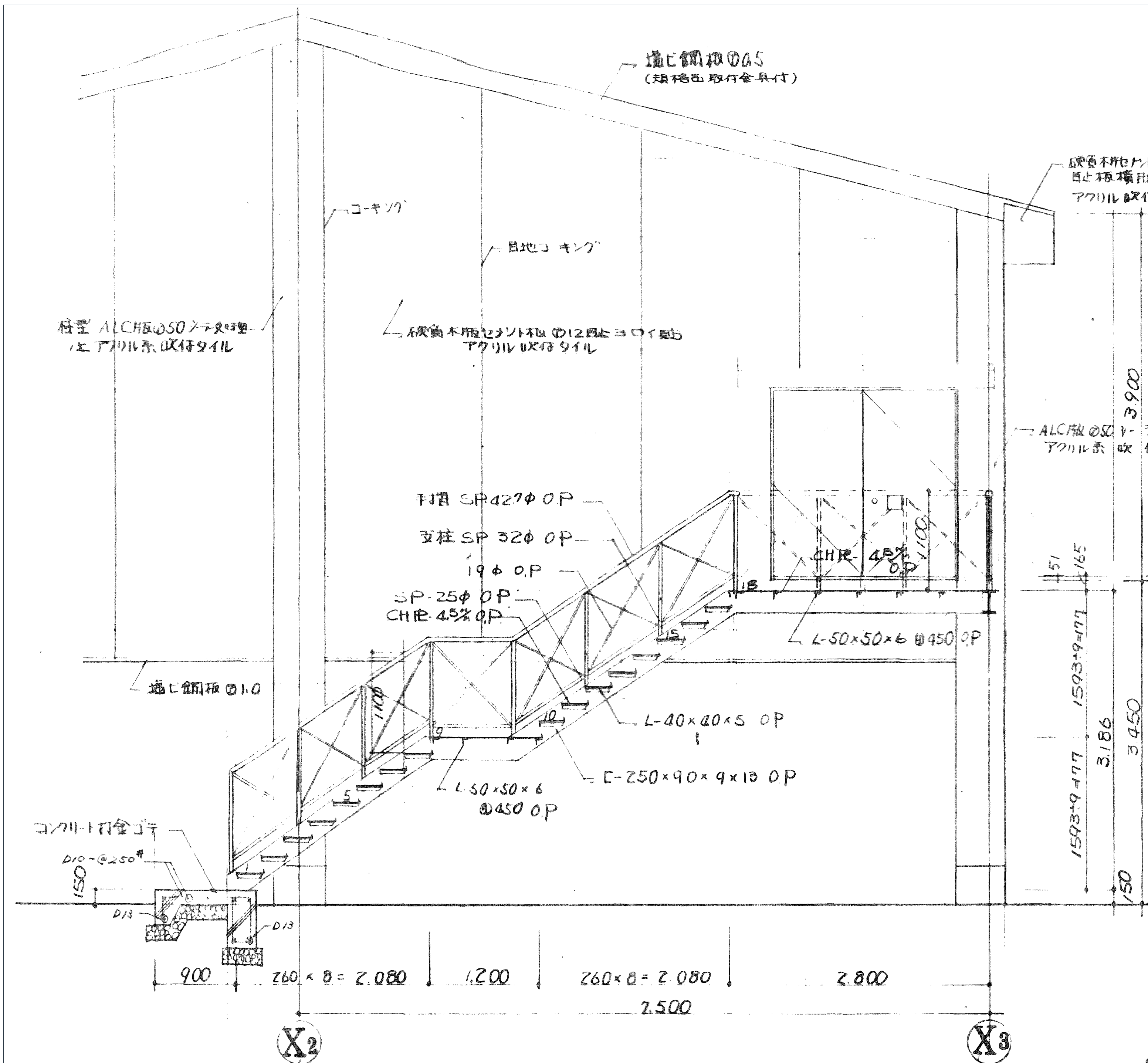
設計年月	縮尺	物件名称	区分
52-037	A1: 1:15, 1:40 A3: 表記の50%	御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)	建築意匠
		図面名称	No.
		柔剣道場 矩計図2 (参考)	J18



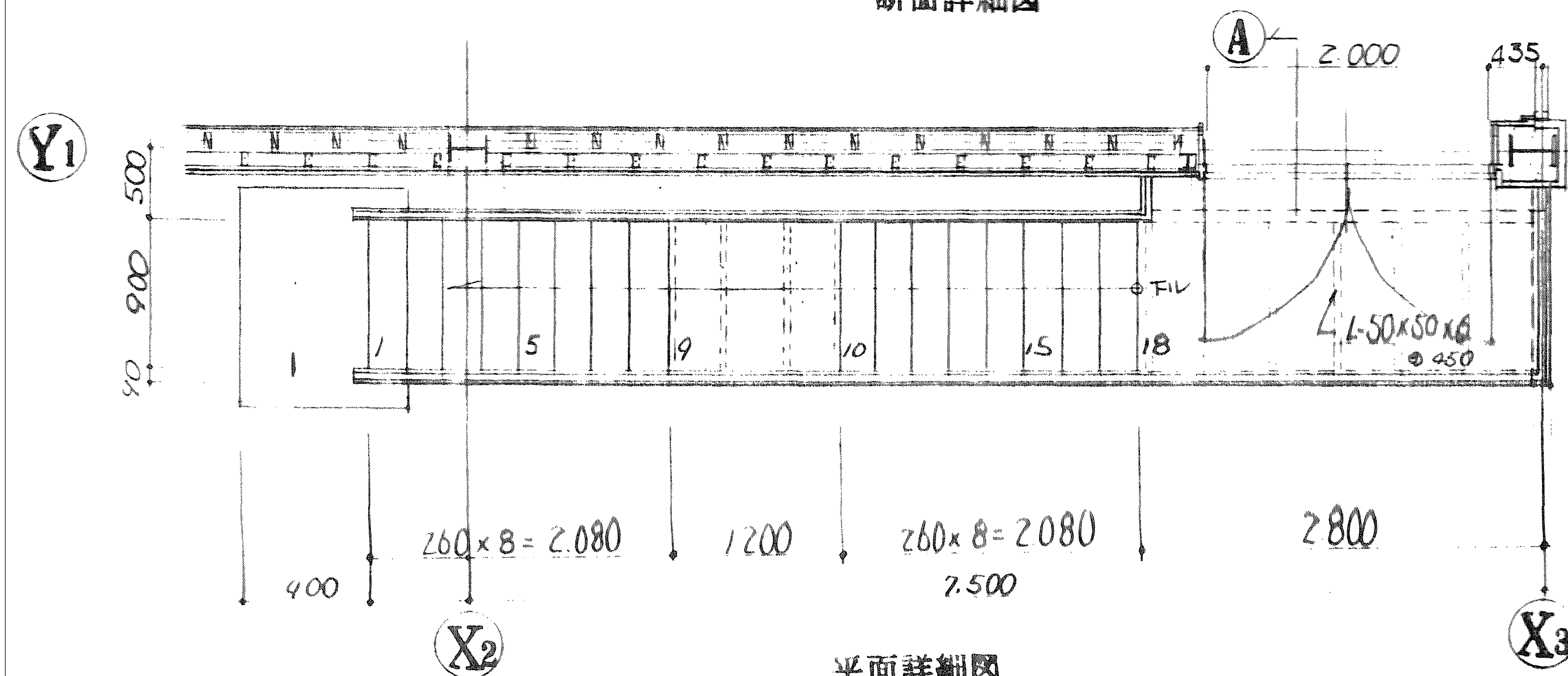


設計年月	縮 尺	物件名称	御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分
	A1：1：30			建築意匠
52-037	A3：表記の50%	図面名称	柔剣道場 階段詳細図（参考）	No.
				J19

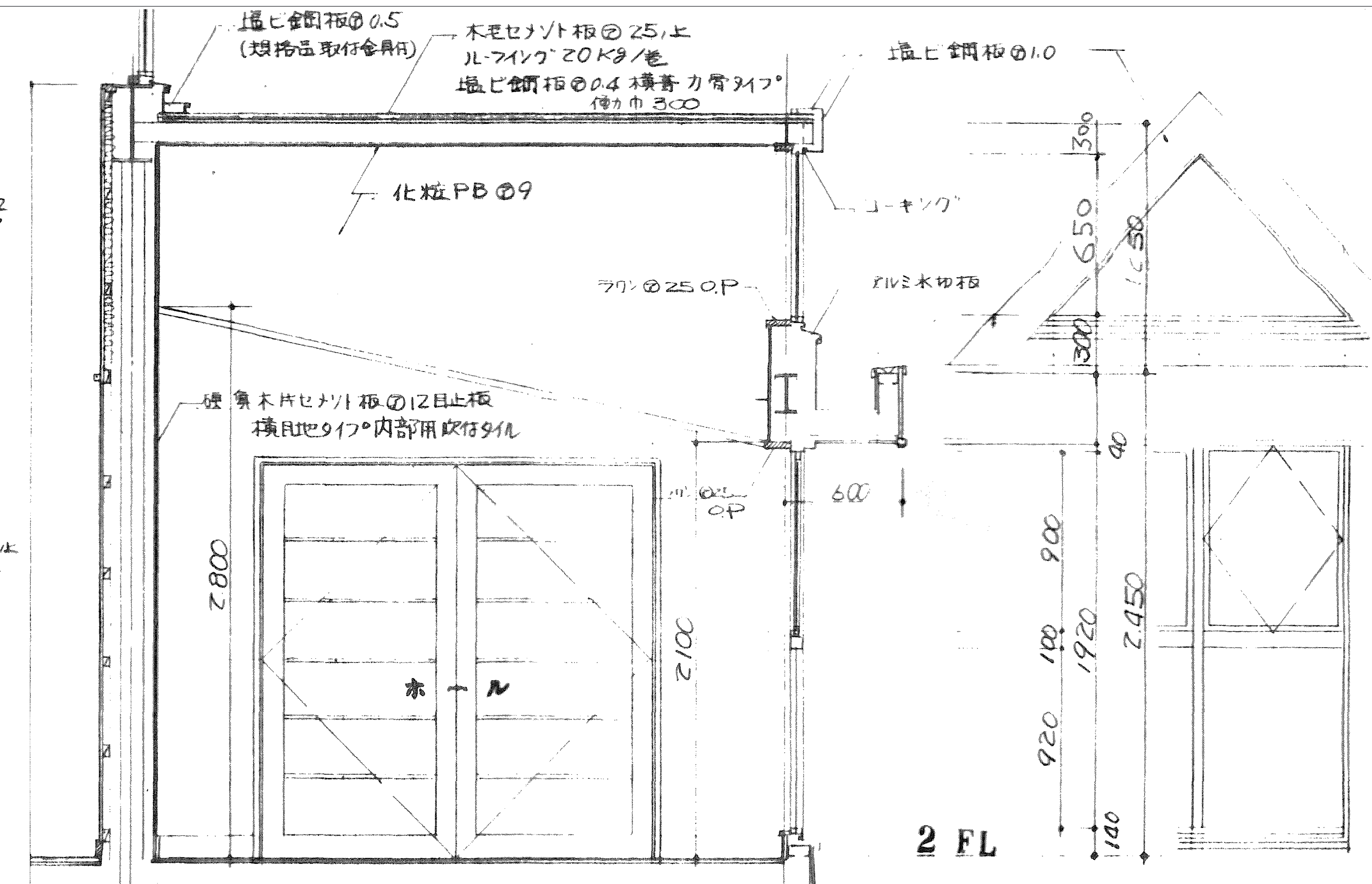




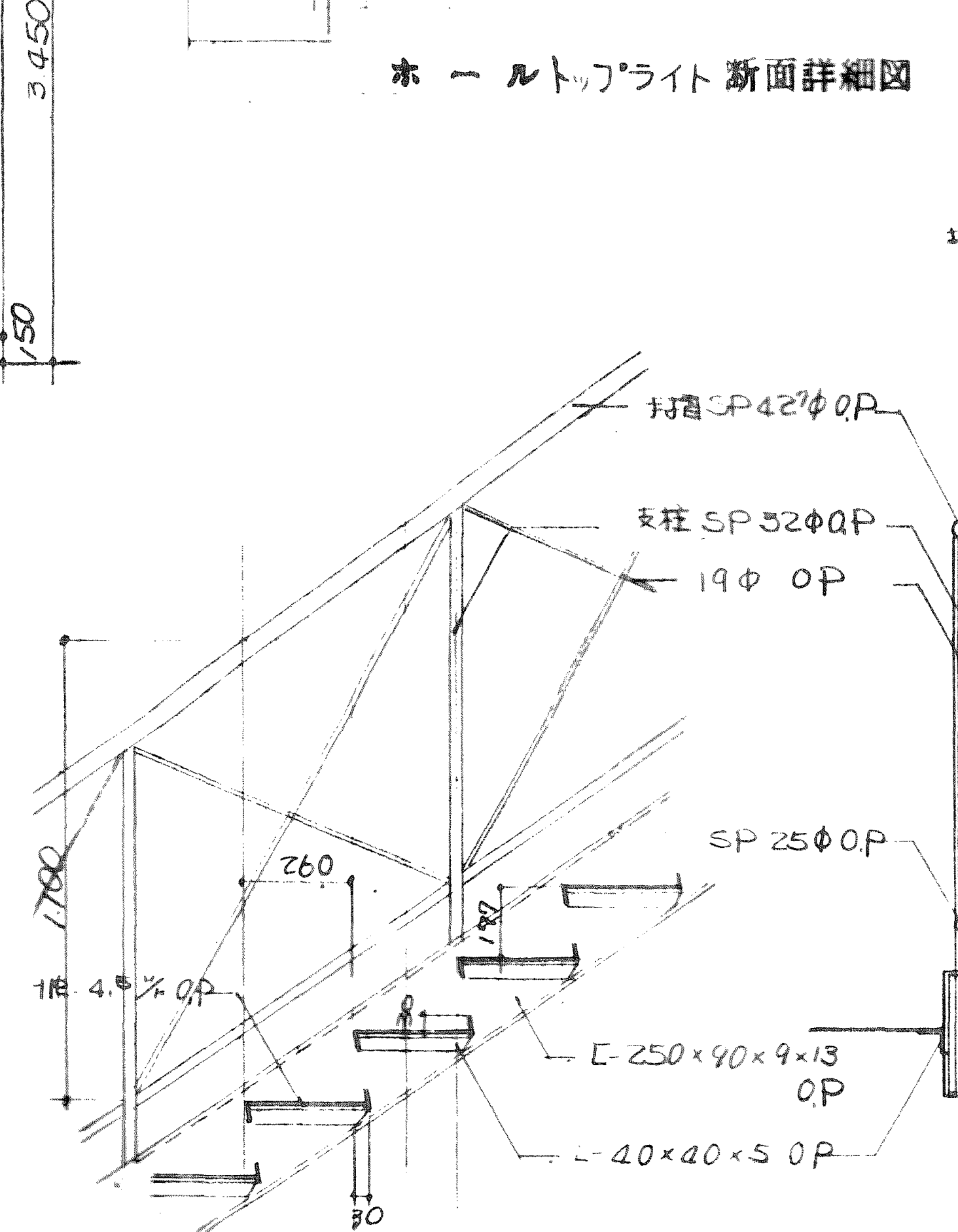
断面詳細図



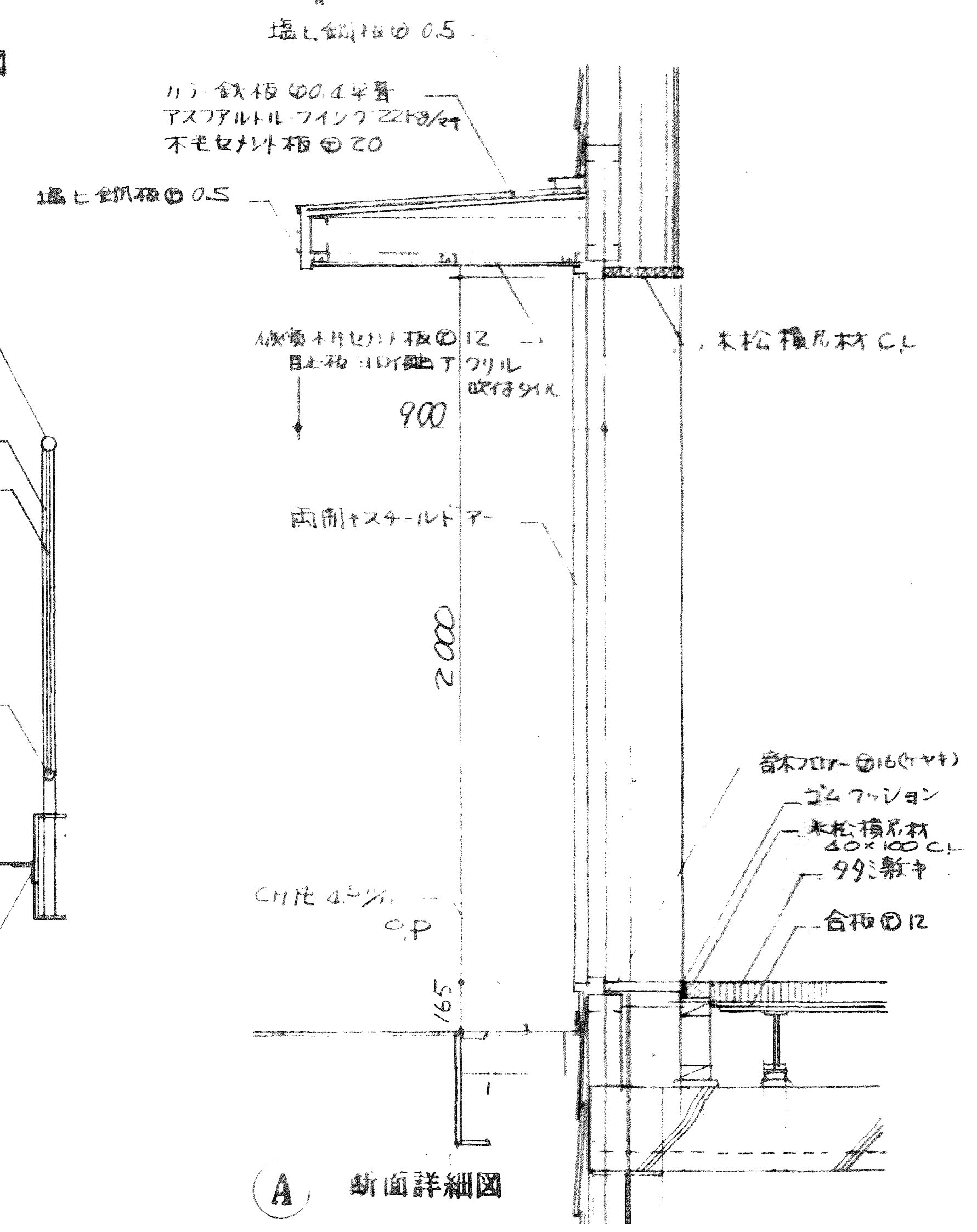
平面詳細図



ホールト-ライト断面詳細図



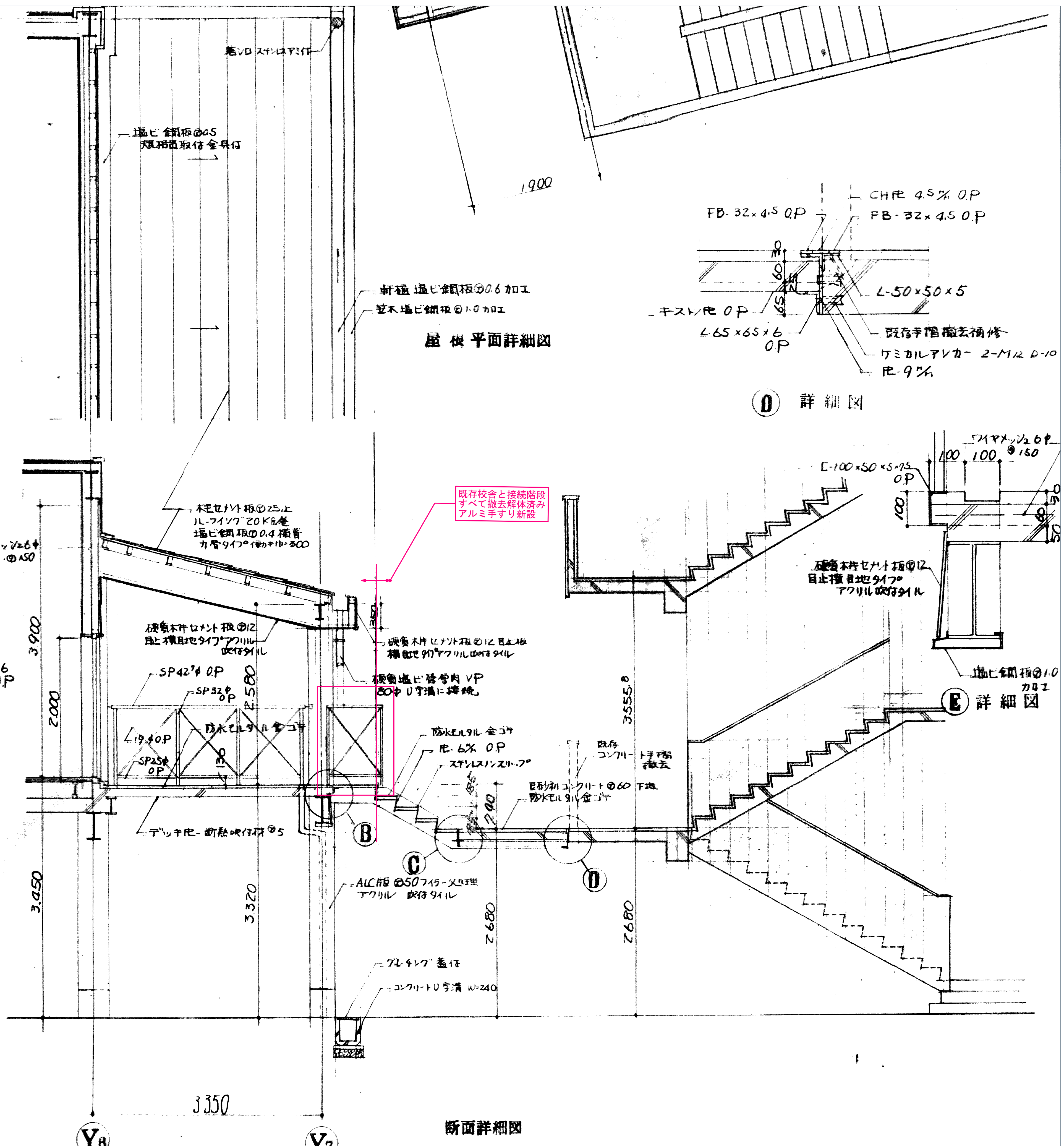
階段手すり詳細図



断面詳細図

設計年月	縮 尺	物件名称	区分
52-037	A1: 1:30 A3: 表記の50%	御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)	建築意匠
		図面名称 柔剣道場 屋外階段詳細図 (参考)	No.
			J20

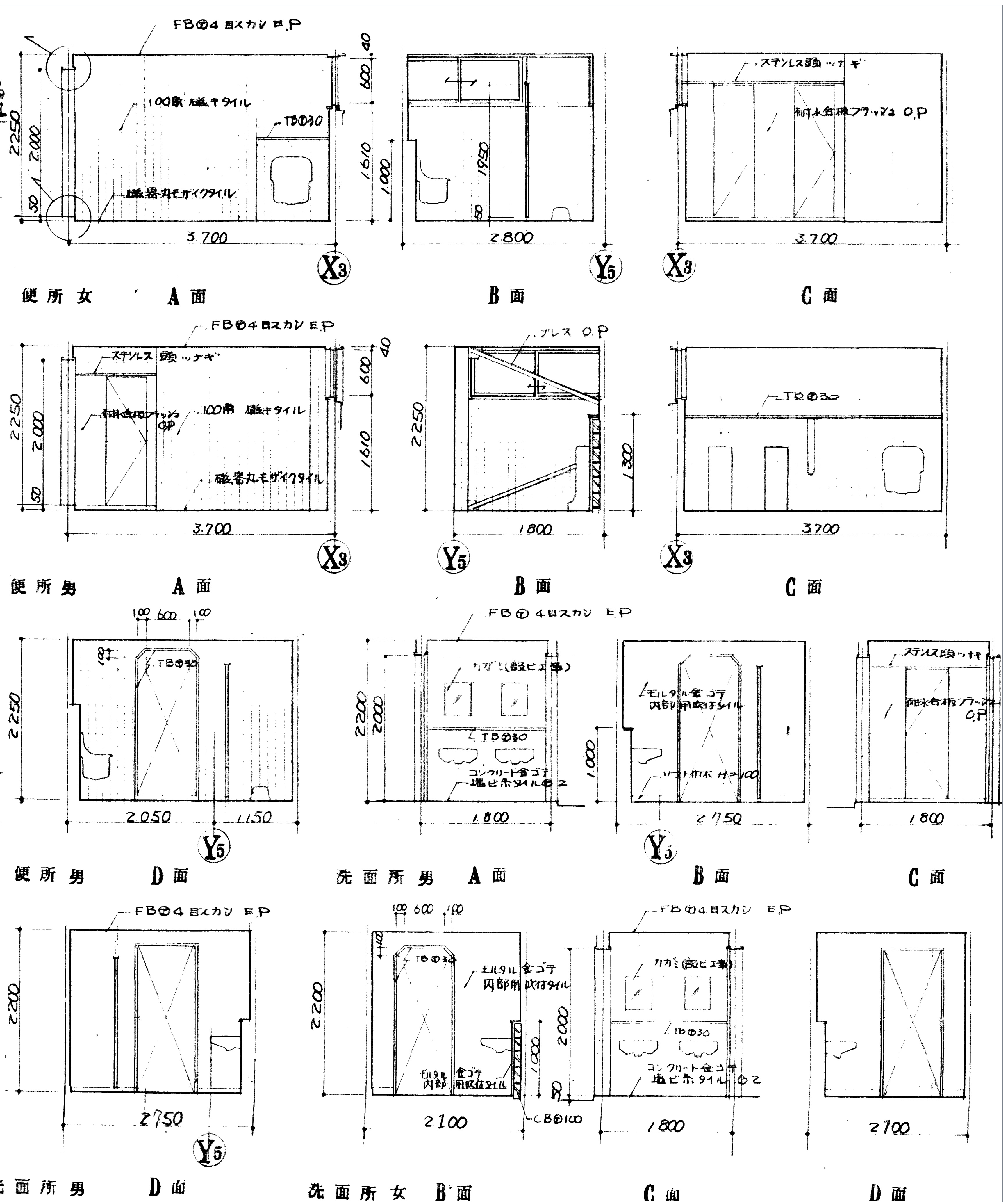
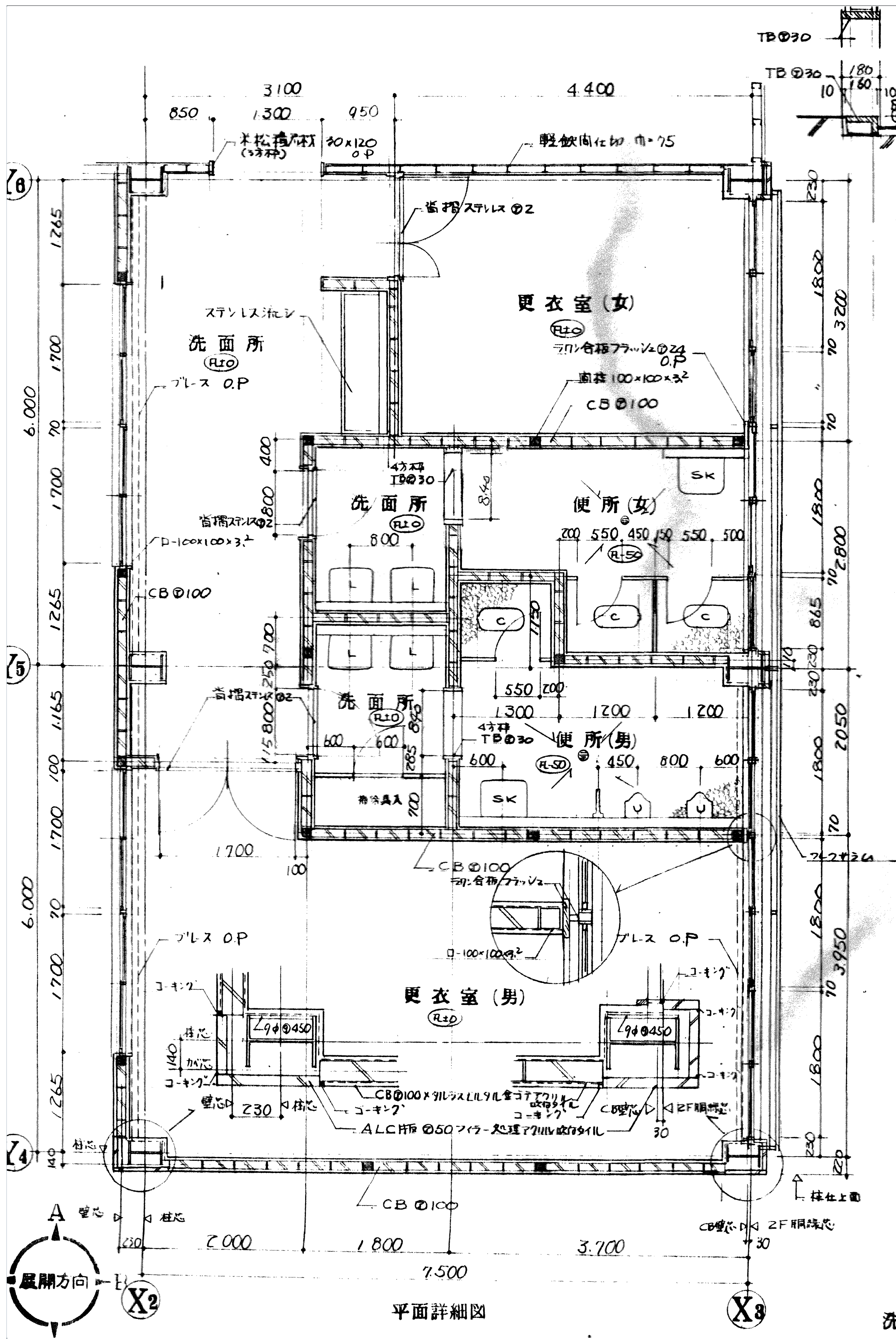




断面詳細図

設計年月	縮 尺 A1 : 1:30	物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分 建築意匠
52-037	A3 : 表記の50%	図面名称 柔剣道場 渡り廊下詳細図（参考）	No. J21





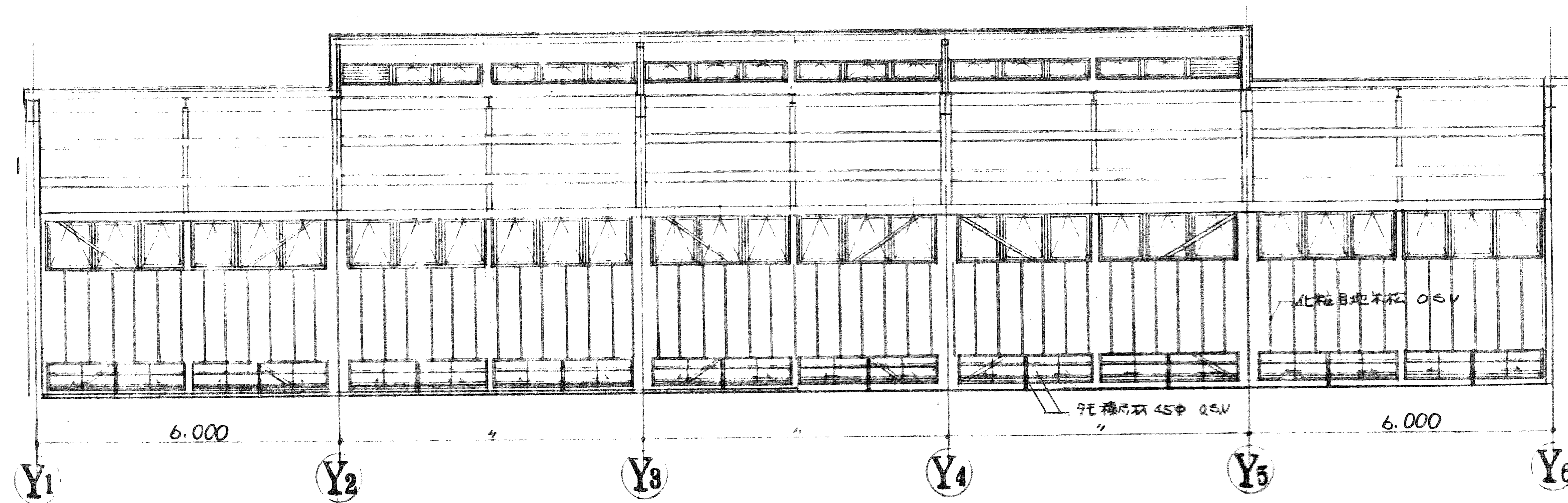
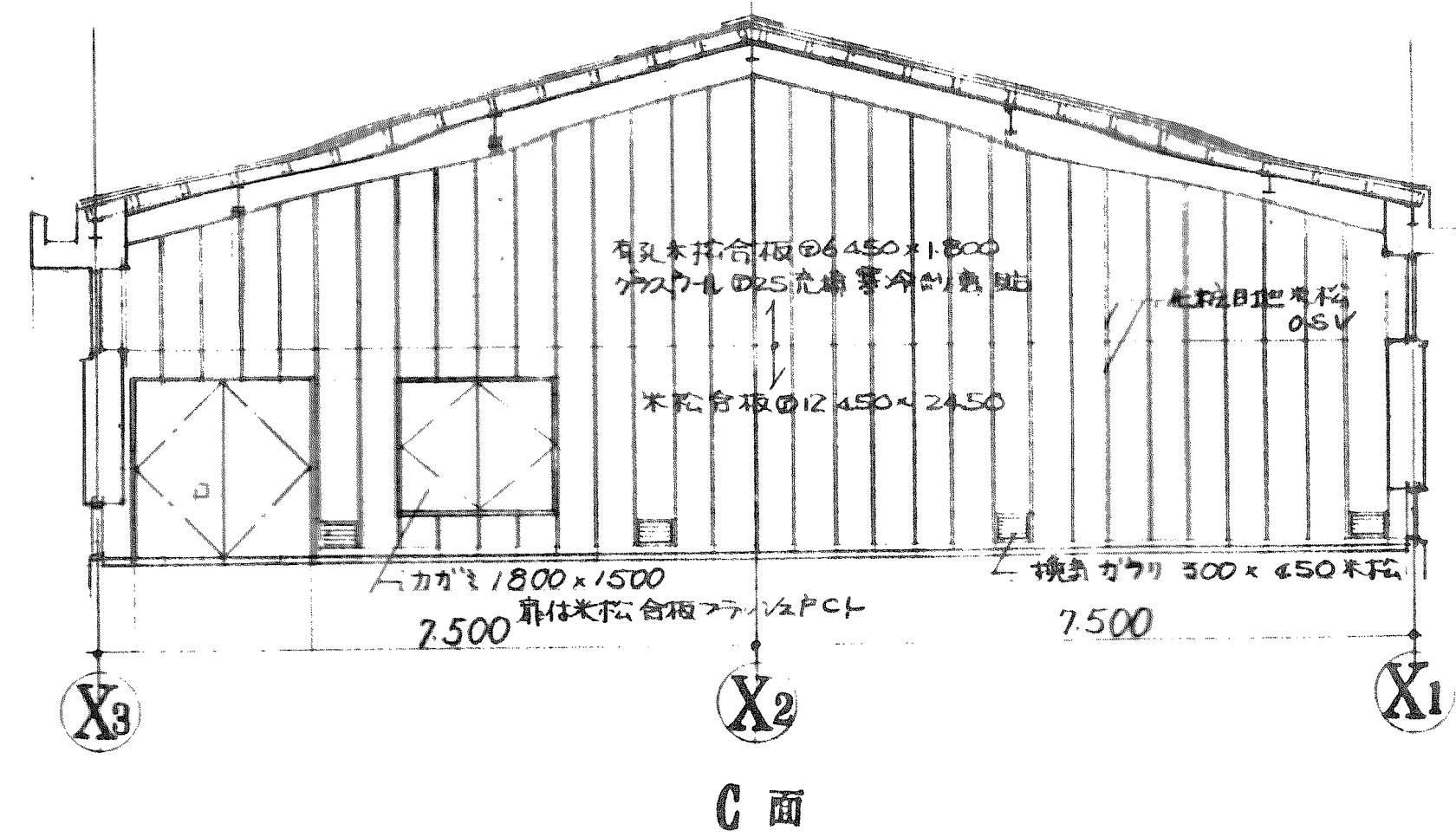
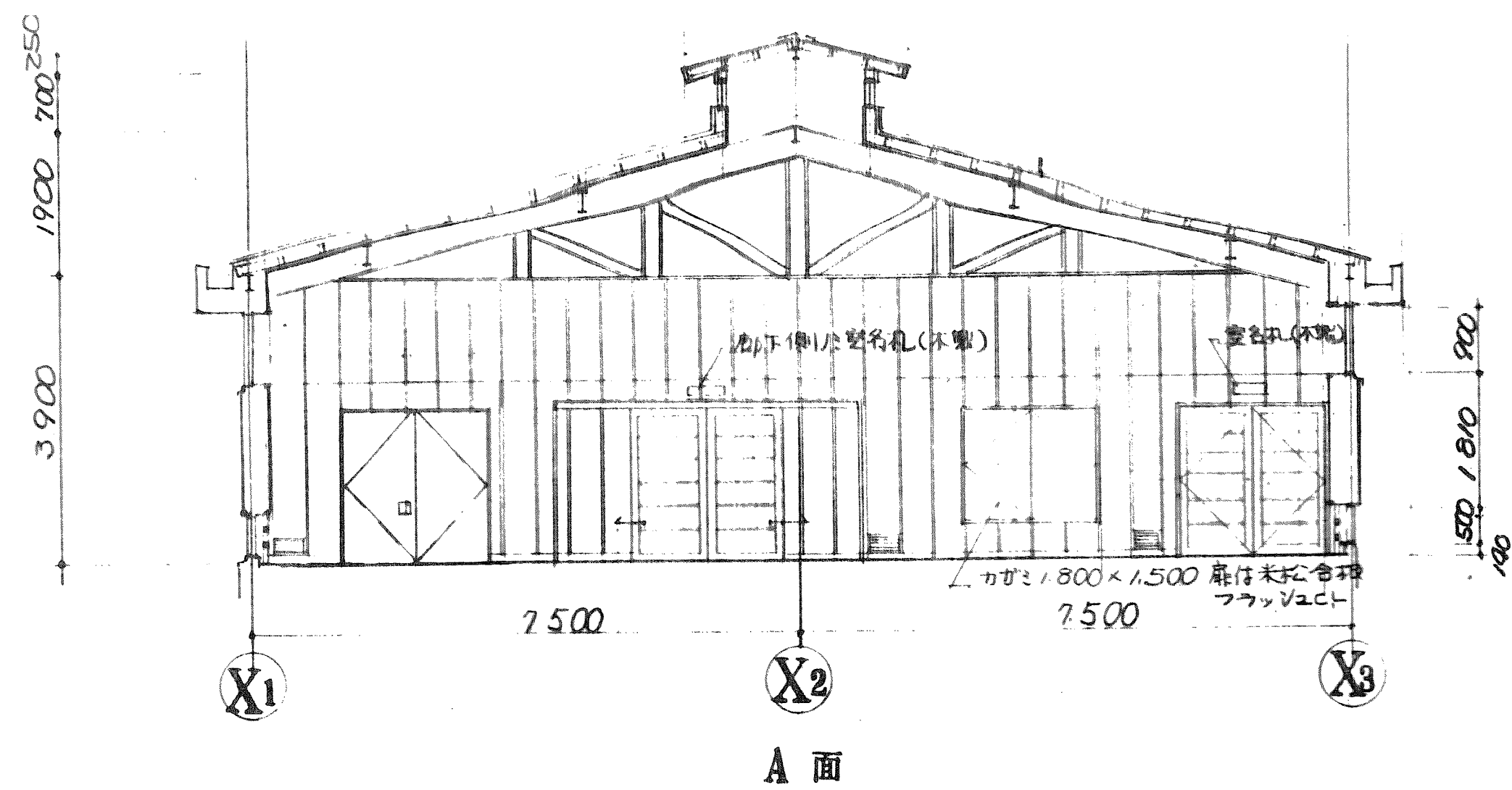
<p>設計年月</p> <p>52-037</p>	<p>縮尺</p> <p>A1: 1:30</p> <p>A3: 表記の50%</p>	<p>物件名称</p> <p>御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)</p>	<p>区分</p> <p>建築意匠</p>
<p>図面名称</p> <p>柔剣道場 便所詳細図 (参考)</p>		<p>図面名称</p> <p>柔剣道場 便所詳細図 (参考)</p>	<p>No.</p> <p>J22</p>



床	コンクリート金ゴテ 長天塩ビシート ②Z
巾木	ソフト巾木 H=100
壁	ELタタ金ゴテ 内部用吹付M
天井	1イカル板 目スカ A.E.P
備考	②6

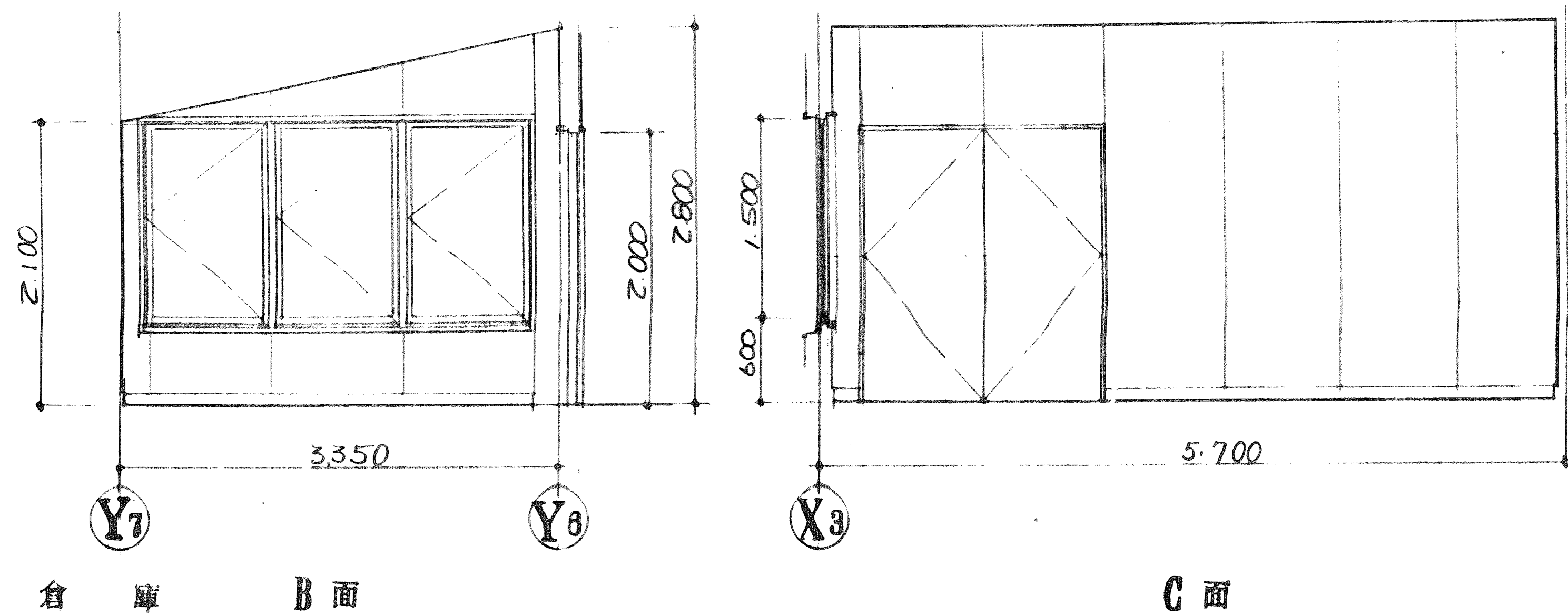






床	剣道 ユニットフローア-15 畳木フローア-16 (クヤキ)
茶道	ユニットフローア-15 合板 @ 12 桟板 ビニール表 9タタキ敷キ
巾木	剣道 米松 @ 25 @ 50H-100 茶道 9モモ成材
腰	米松 合板 @ 12 x 450 桟板 H-2450
壁	有乳米松合板 @ 6 x 450 グラスワールの25充填
天井	グラスワール (不透明塩化ビニールエソボ-スカロエ @ 25 密度 48kg/m <sup>3</sup> ) 2'11" x @ 450 97.30
備考	

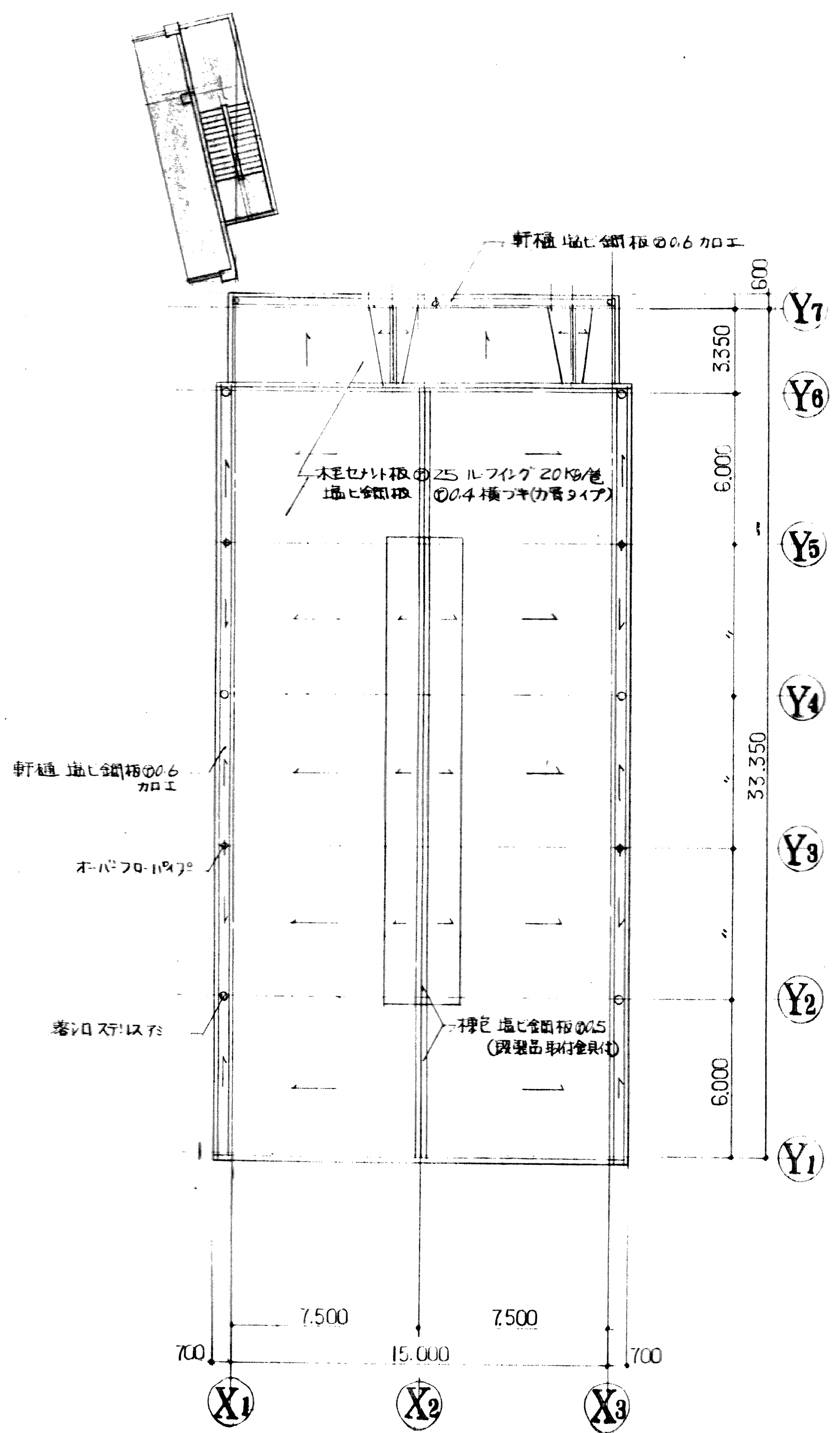
倉庫	
床	合板 @ 12 下地 塩ビ系タイル
巾木	ソフト巾木 H=100
壁	合板 (70%) @ 5.5 O.P
天井	化粧石膏ボード @ 9
備考	



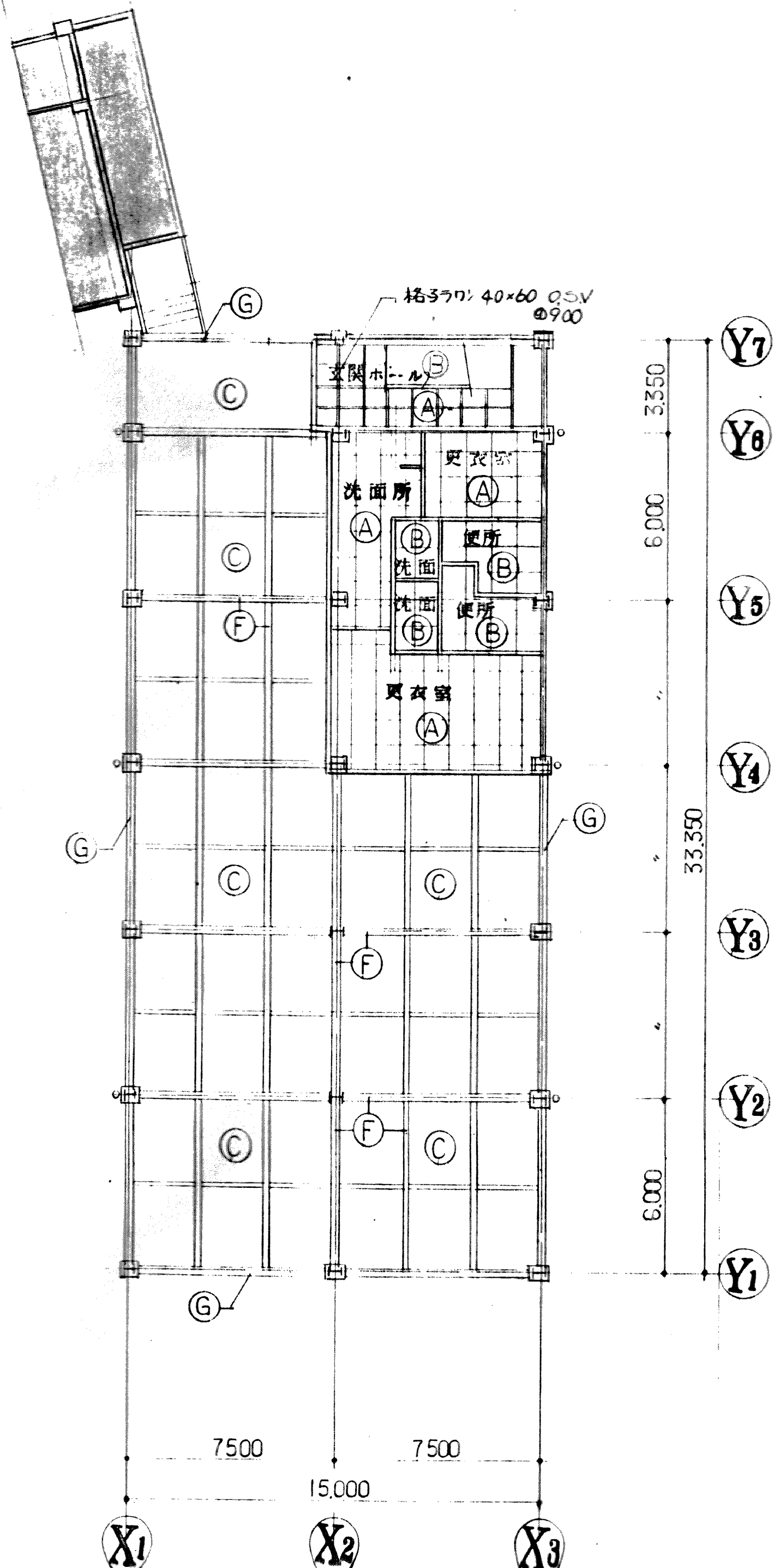
C 面

設計年月	縮尺	物件名称	区分
52-037	A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	御坂中学校柔剣道場改修工事 (建築主体)	建築意匠
		図面名称	No.
		柔剣道場 展開図2 (参考)	J24

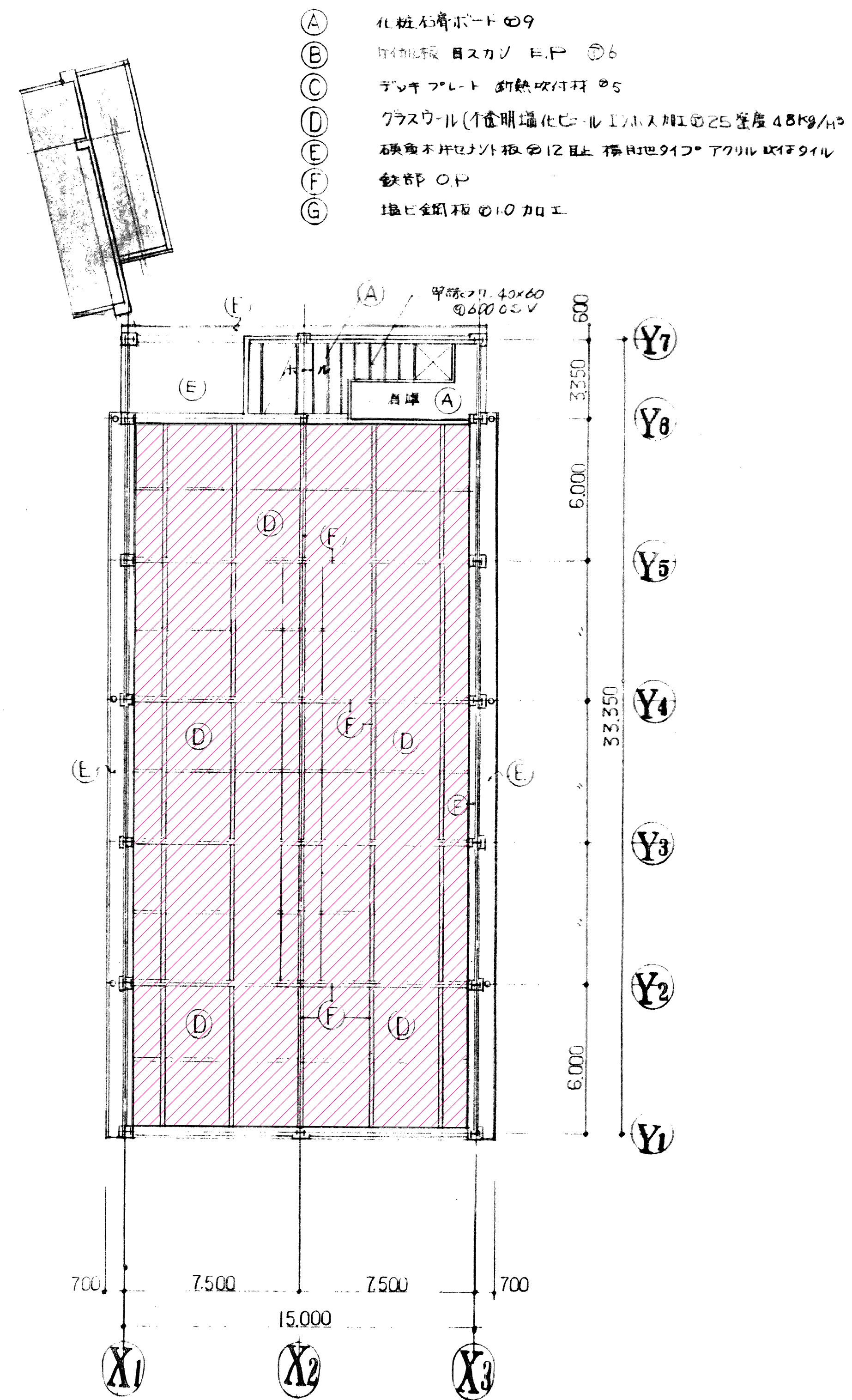




屋根伏図



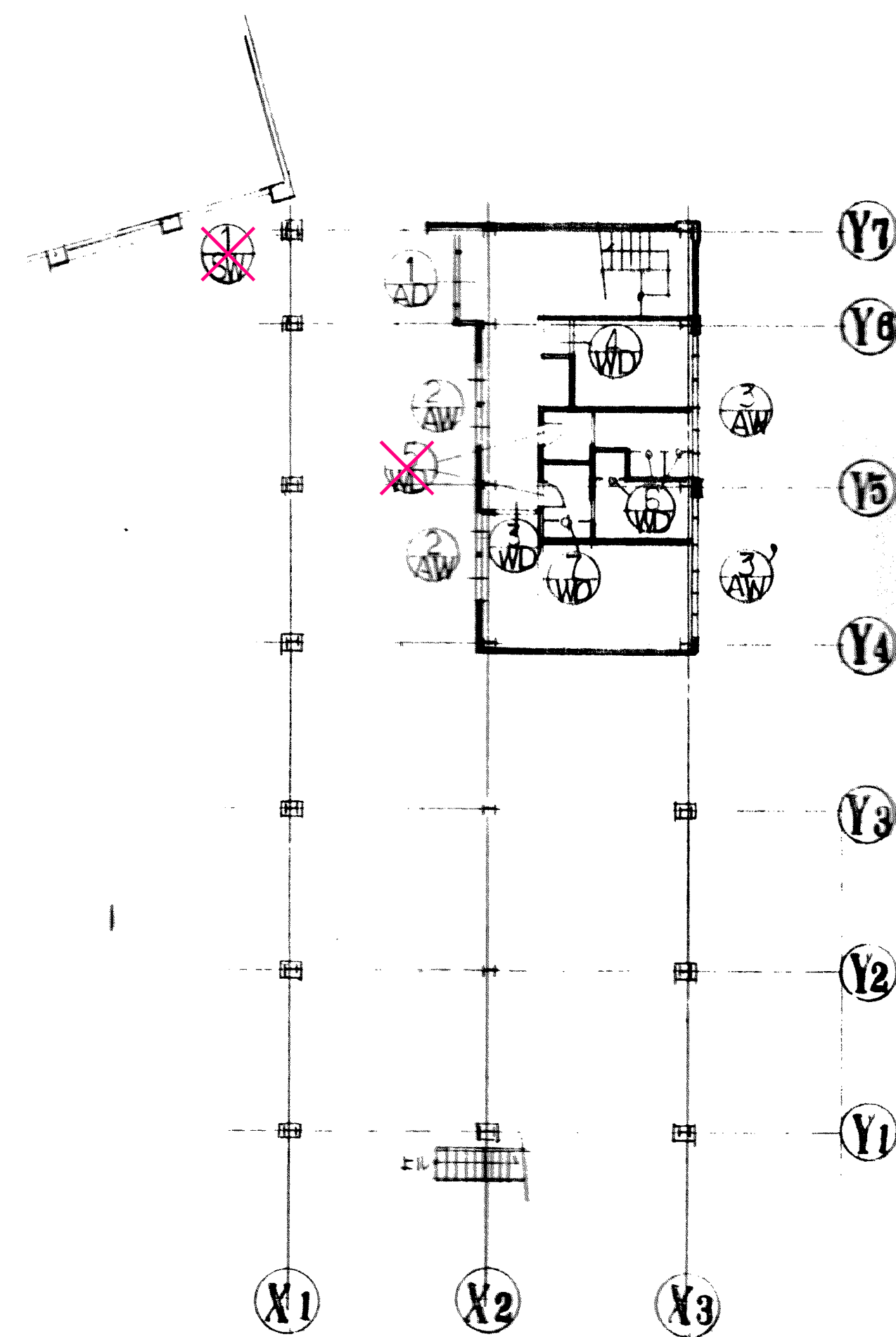
1階天井伏図



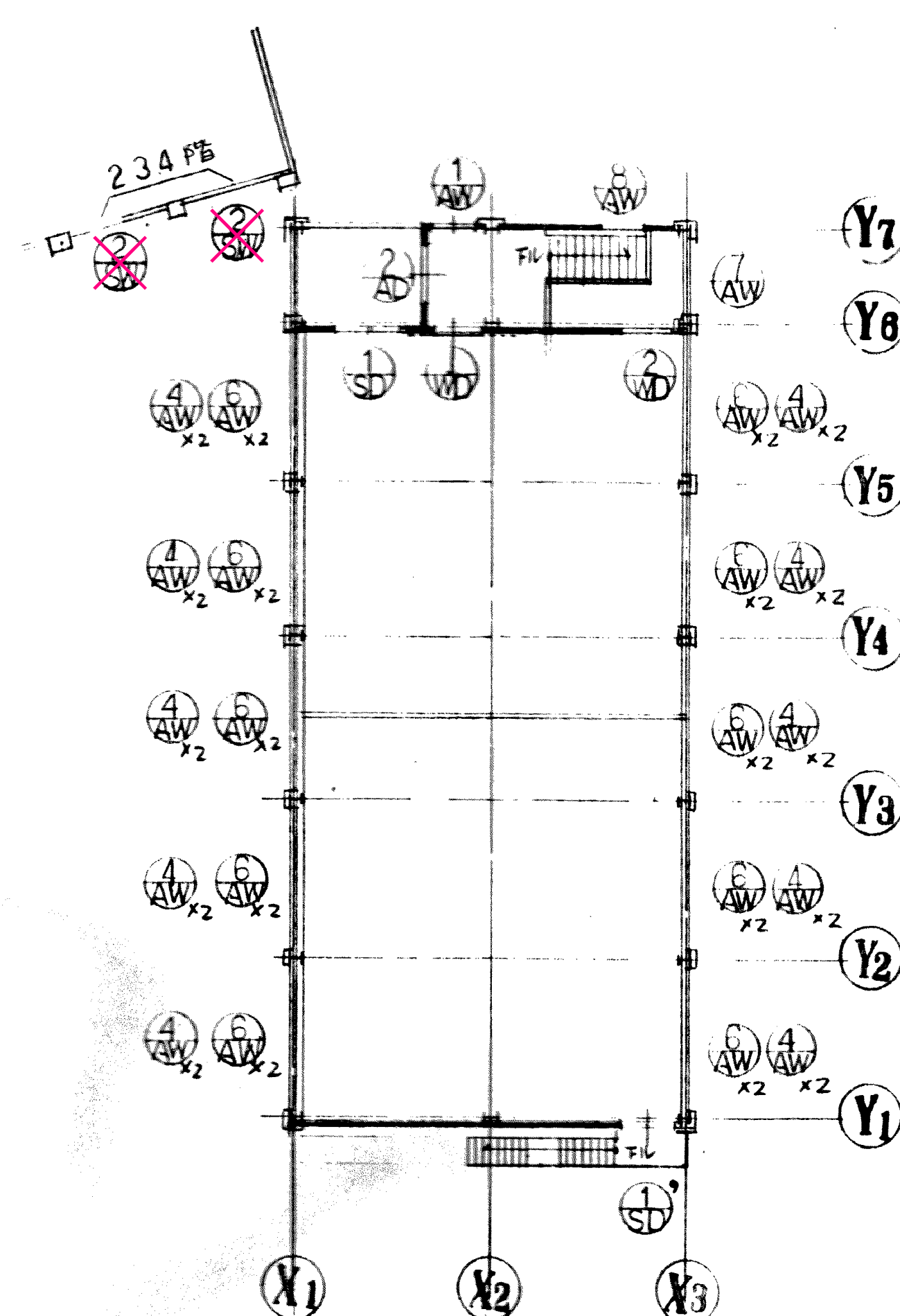
2階天井伏図

既存グラスウールマット塩化ビニールエンボス加工t25撤去  
→ガラスクロス額縁貼りグラスウール32k t25新設

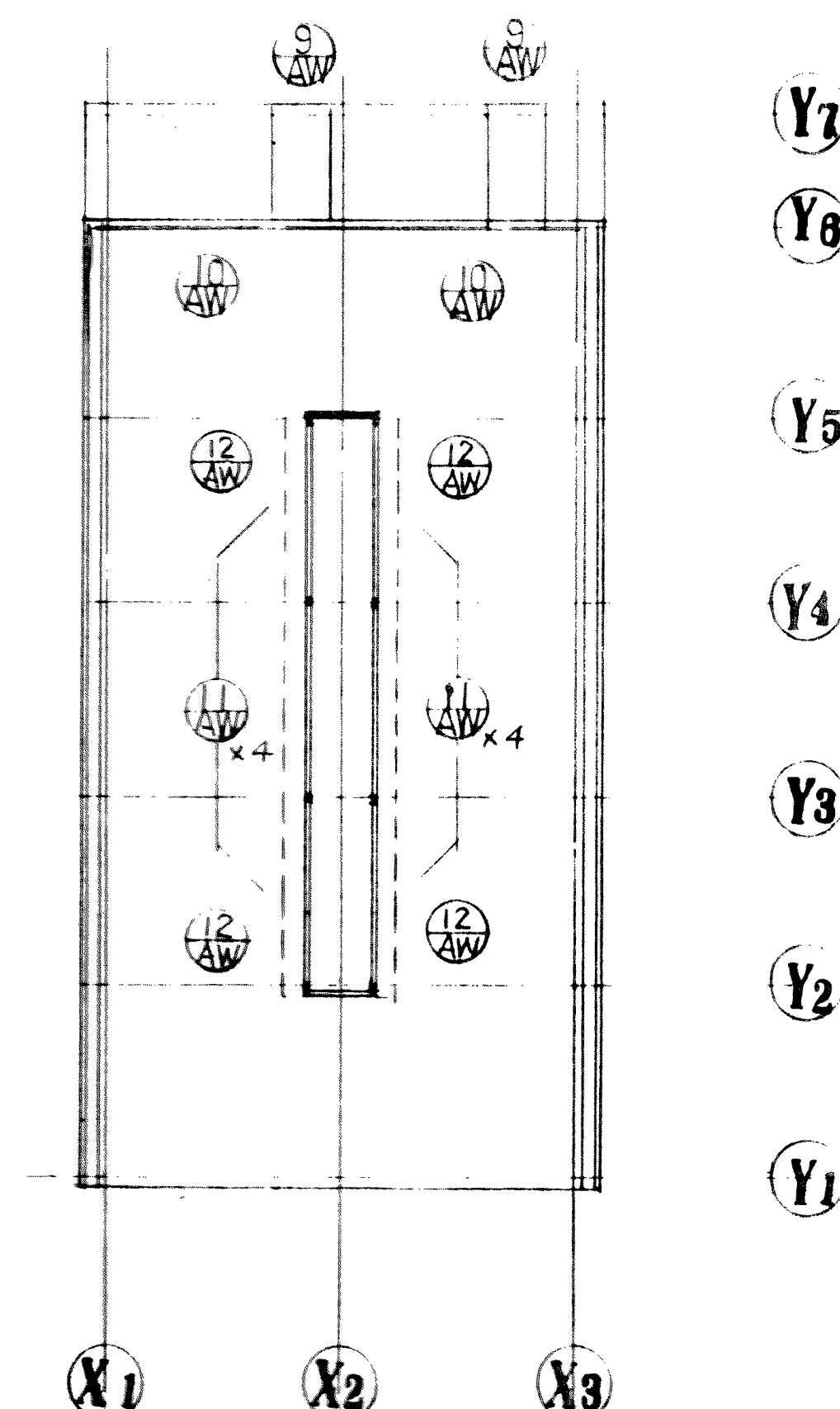




1階建具案内図

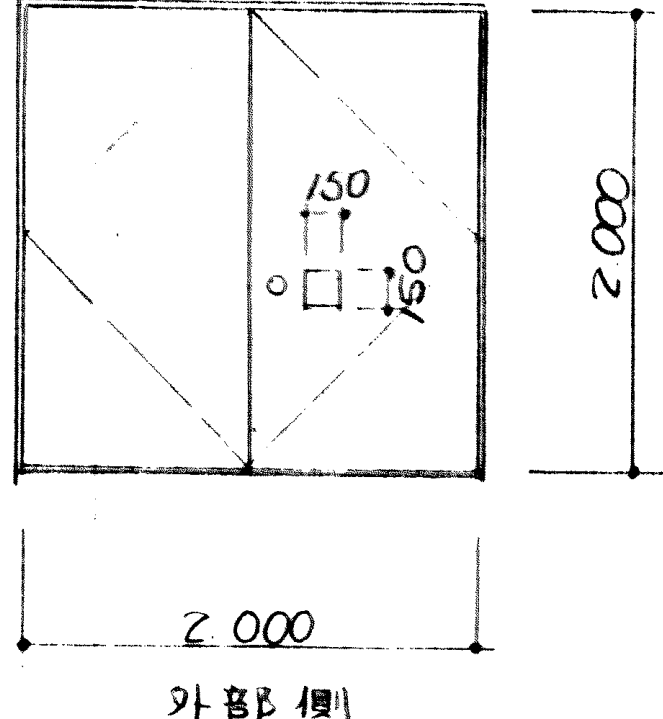
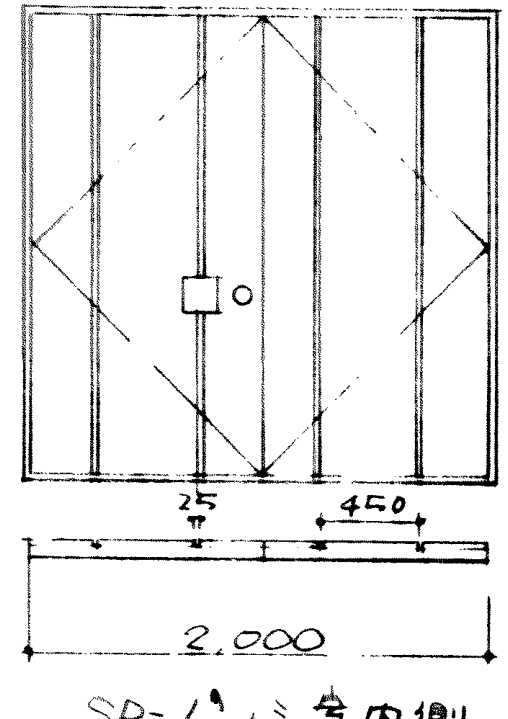
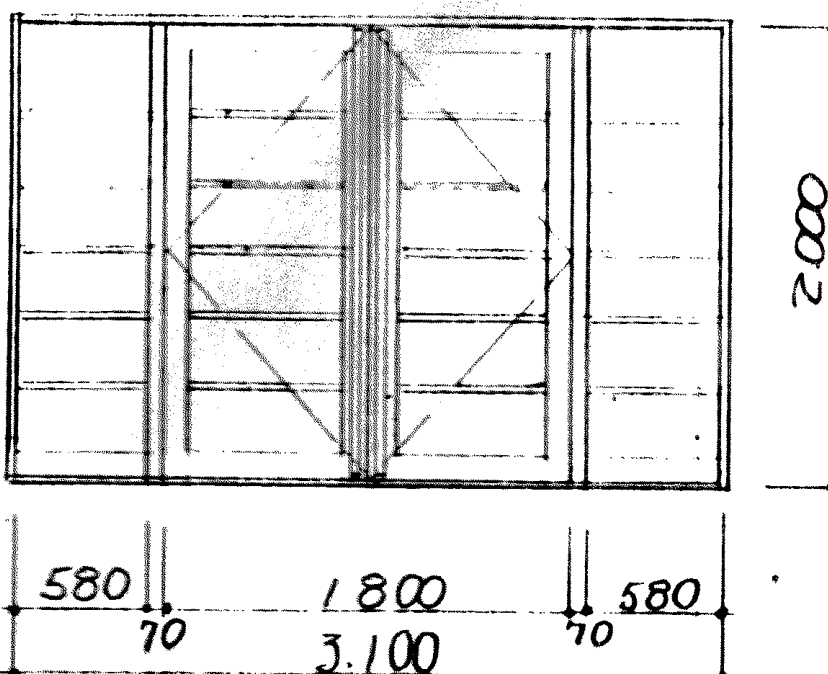
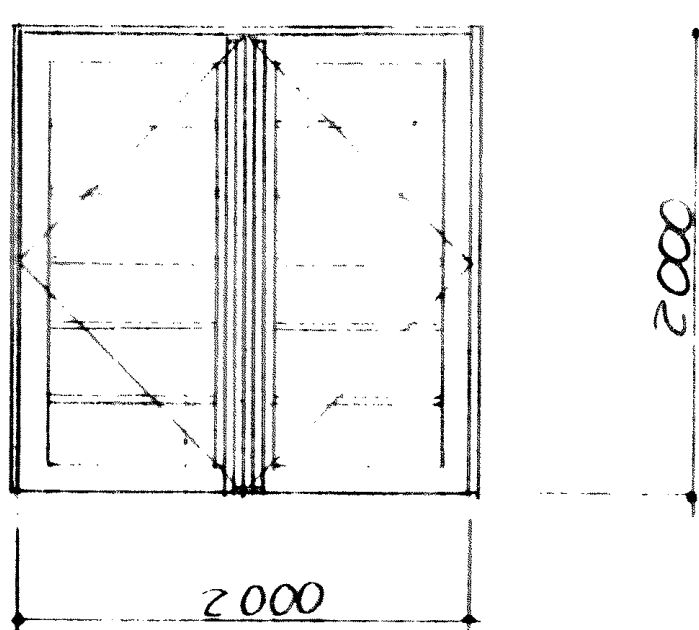
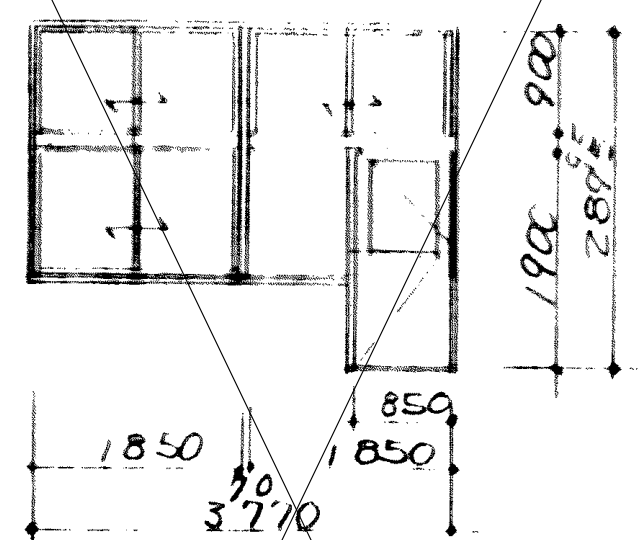
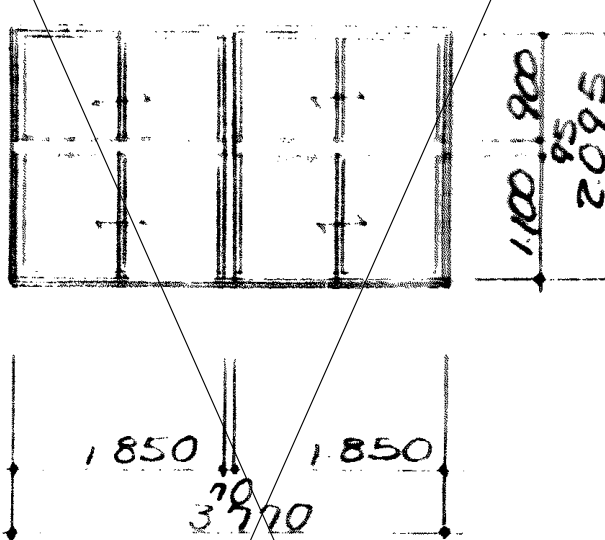


2階建具案内図



屋根建具案内図

※建具AD、AW部全てクリーニング  
建具廻りシーリング撤去・打替え

記号	① SD 玄関 1ヶ所	① SD 外階段 1ヶ所	① AD 玄関 1ヶ所	② AD 2F階段 1ヶ所	① SW 既存校舎 1ヶ所	② SW 既存校舎 6ヶ所
状況	開口閉鎖 小窓ガラス網入り強化t4に変更 	ドアクローザー故障→更新 小窓ガラス網入り強化t4に変更 		開口閉鎖 鍵の変更外サムターン/内シリンダーに交換 	既存建具あり 	既存建具あり 
型式	両開キスチールフラッシュドア		両開キアルミ複層ドア 散射シ付	両開キアルミ複層ドア		
仕上	O.P	SD-1'は内部米紙貼付 下地調整RB種+DP(3級)	カラーアルミ	カラーアルミ		
硝子	アミ入型ガラスφ6.8	SD-1'は増ガラスφ3	透明線入φ6.8%	透明アミ入φ6.8%	アミ入透明φ6.8 取替	アミ入透明φ6.8 取替
附属金物	丁番、握玉付シリンダー錠(サ49-シ付) フランス着シ 押棒φ2000	DC、省閉 ステンレスφ2%	フローヒンジ シリンダー錠(サ49-シ付) フランス着シ 押棒φ2000 木目板装(サ=12TS10W 標準)	フローヒンジ シリンダー錠(サ49-シ付) フランス着シ 押棒φ2000 木目板装(サ=12TS10W 標準)		
見込	100		70	70		
備考	消防直入用小窓付 150×150					



	(1) 2F 階段 1ヶ所	(2) 更衣室(男) 洗面所 2ヶ所	(3) 1ヶ所 (3) 1ヶ所	(4) 道場 20ヶ所	(5) 道場 20ヶ所	(6) 道場 20ヶ所	(7) 倉庫 1ヶ所
形状寸法							
名称	廻転アルミサッシ 散放シ付	引違イアルミサッシ 2連	引違イアルミサッシ	突出シアルミサッシ 3連		引分ケアルミサッシ	片開キアルミサッシ
仕上	カラーアルミ	アルマイト処理	カラーアルミ	カラーアルミ		カラーアルミ	カラーアルミ
ガラス	アミ入型ガラス ⑥6.8	アミ入型ガラス ⑥6.8	増 5%	増 5%		アルミサッシ 2連	増 5%
金物	廻転金物一式	引違イ金物一式	引違イ金物一式	突出シ金物一式 オペレーター付		引分ケ金物一式	片開キ金物一式
見込	70	70	70	70		70	70
備考	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル		アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル

	(8) 階段 1ヶ所	(9) 階段トップライト 2ヶ所	(10) 道場 2ヶ所	(11) 道場トップライト 8ヶ所	(12) 道場トップライト 4ヶ所	(13) 道場 1ヶ所
形状寸法						
名称	散放シアルミサッシ	散放シアルミサッシ	散放シアルミサッシ	突出シアルミサッシ	突出シアルミサッシ カラリ付	引分ケ格3ドア
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	アルマイト処理	アルマイト処理	木松 ②4 O.S.V 下地調整RB種+OL塗装
ガラス	アミ入型ガラス ⑥6.8	線入型ガラス ⑥6.8	線入型ガラス ⑥6.8	増 5%	増 3%	
金物				突出シ金物一式 オペレーター付	突出シ金物一式 オペレーター付	コステンレル、コステンレル専用ナット 引手 鋼錠
見込	70	70	70	70	70	45
備考	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	アルミ水切板 額縁取付アングル	

	(2) 倉庫 1ヶ所	(3) 更衣室(男) 1ヶ所	(4) 更衣室(女) 1ヶ所	(5) 洗面所 2ヶ所	(6) 便所ブース 3ヶ所	(7) 掃除具入 1ヶ所	
形状寸法							※建具AD、AW部全てクリーニング 建具廻りシーリング撤去・打替え
名称	片開キ 格子ドア	片開キ 額入フラッシュドア カラリ付	片開キ 額入フラッシュドア カラリ付	片開キ 額入フラッシュドア カラリ付	片開キ フラッシュドア	片開キ フラッシュドア	
仕上	木松 ②4 O.S.V 倉庫側 極合板 O.P	極合板 O.P 下地調整RB種+SOP塗装	極合板 O.P 下地調整RB種+SOP塗装	極合板 O.P	耐水極合板 O.P	耐水極合板 O.P	
ガラス		型ガラス ④4	型ガラス ④4	型ガラス ④4			
金物	丁番 据置付シリンダー錠 フランス錠 NO DC	丁番 据置付シリンダー錠 フランス錠 NO DC	丁番 据置付シリンダー錠 フランス錠 NO DC	丁番 据置付錠 DC	ラバトリビシ4 ランク錠 巾着掛付錠	丁番 取子 三角錠	
見込	45	40	40	40	40	40	
備考							



特記仕様書																				
A	建 築 概 要	1 工 事 名 称			御坂中柔剣道場改修工事（建築主体）			I	保 温 塗 装	名 称		施 工 場 所								
		2 工 事 場 所			山梨県笛吹市御坂町下野原 1 2 5 7							屋 内 露 出	隠 ぺ い 部	ピ ッ ト 部	埋 設 部	屋 外 露 出				
		3 延 床 面 積			建築工事特記仕様書参照					給 水 管	a ・ （ハ） ・ VII	c 2 ・ （ハ） ・ VII	d ・ （ハ） ・ I	V D	e 2 ・ （ハ） ・ VII					
		4 建 築 面 積			建築工事特記仕様書参照															
		5 構 造			建築工事特記仕様書参照															
B	工 事 項 目	A 機械設備工事			本設計図は工事の概要を示すものであり、施工者は十分なる理解のうえ、施工図・制作図を提出し、監督員の承諾を得るものとする。請負者は特記仕様書、設計図書等に示す範囲において明記なき部分といえども技術上、施工上、本工事完成に必要なと認められるものは係員の指示に従って施工する。設計図書及び施工上で疑義ある場合、係員と協議のうえ、その指示に従う。なお軽微な変更は請負者の責任において行うこと。					J	工 事 区 分			目			設 備 工 事	電 気 工 事	建 築 工 事	別 途 工 事
		1 衛生器具設備工事																		
		2 給水設備工事										排 水 管	a ・ （ハ） ・ VII	c 2 ・ （ハ） ・ VII	V P	V P	塗 装			
		3 排水通気設備工事																		
		4 暖房設備工事										通 気 管	塗 装							
		5 換気設備工事																		
		6 既設器具撤去工事																		
C	優 先 順 位	1 法令、政令、規則等の定め、及び指導			ダ ク ト		排 気	ガラスウール 2 5 m m （外壁から 2 m 以内）												
		2 現場説明事項 質疑事項																		
		3 特記仕様書																		
		4 設計図																		
		5 最新版 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）																		
D	使 用 機 材	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は契約後、監督員の指示に従いリストを作成し、承諾を受けたものを使用する。																		
E	工 事 範 囲	本設計図は工事の概要を示すものであり、施工者は十分なる理解のうえ、施工図・制作図を提出し、監督員の承諾を得るものとする。請負者は特記仕様書、設計図書等に示す範囲において明記なき部分といえども技術上、施工上、本工事完成に必要なと認められるものは係員の指示に従って施工する。設計図書及び施工上で疑義ある場合、係員と協議のうえ、その指示に従う。なお軽微な変更は請負者の責任において行うこと。																		
F	提 出 書 類	1 工程表			4 工事写真	7 官公署などの許認可書類														
		2 メーカーリスト			5 完成写真	8 完成機器の取扱説明書														
		3 制作図			6 完成図	9 非常時連絡先														
G	一 般 事 項	1 本工事施工に関しては、本特記仕様書、設計図書、共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・最新版・同標準図）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。																		
		2 本工事に関する法令、条例及び規則等は、良くこれを厳守し、必要な書類、検査立会い、申請届等は、遅滞なく代行し工事の進捗に支障のないようにする。申請等に要する費用は、全て請負者の負担とする。																		
		3 各種の施工は事前に施工図、制作図、承認図等を提出し係員の承認を得ること。																		
		4 本工事の着工から竣工まで、係員の指定する箇所のカラー写真を撮り、サービス版 2 部を提出する。																		
		5 本工事に於て満水試験、水圧試験、気密試験、通水試験等の各試験は、係員立会いのもとに行うものとし、試験結果成績表等を提出すること。																		
		6 本工事施工者は、定められた工期内で工事を完了し、完全な状態で引渡し出来るよう、完成と同時に完成図書、必要書類を添えて提出し、完成検査を受けなければならない。																		
		7 本工事請負者は、工事完成引渡し後 5 年間は施工方法、機器、器具類の不良等に起因する事故に対しては、責任をもって修復しなければならない。																		
H	特 記 事 項	1 管材は凡例参照																		
		2 給水管（VB、VD）は管端防食継手を使用する。																		
		3 給水管のパレルニップル及びロングニップルは、塩ビライニング銅管（VB）を使用する。																		
		4 ライニング管用のバルブ類はコアコートバルブ、ライニングバルブとする。																		
		5 排水管の勾配は 1／100 を標準とする。																		
		6 陶器の色は標準色同価格品とし係員と協議の上決定する。																		
		7 延焼の恐れのある部分、防火区画、主要な間仕切壁等を貫通する配管等は国土交通省認定工法による耐火処理を行うこと。																		
		防火区画、主要な間仕切壁等の貫通処理。																		
		冷媒管 冷媒用被覆銅管 大臣認定 PS060FL-0181																		
		排水通気管 耐火二層管 大臣認定 PS060WL-0197																		
外壁貫通部 防火ダンパー付ペントキャップ 財団法人建材試験センター証明品 第01EG022号（三菱電機製）																				
ダクト 防火ダンパー 財団法人建材試験センター証明品 第02EG006号（三菱電機製）																				
配管とスリーブ穴との隙間は、振動等により欠落が生じないようにモルタル又はロックウール等の不燃材料で充填する。																				
8 新設となる給水主管及び排水主管において、別途工事となる仮設校舎、本校舎などの計画内容が変更された場合、監督員と協議の上、柔軟に対応すること。（計画通知の変更届などを含む）																				
										設計年月	縮 尺 A1： A3：表記の50%		物件名称 御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体） 図面名称 機械設備特記仕様書			区分 建築意匠 No. J28				
										52-037										





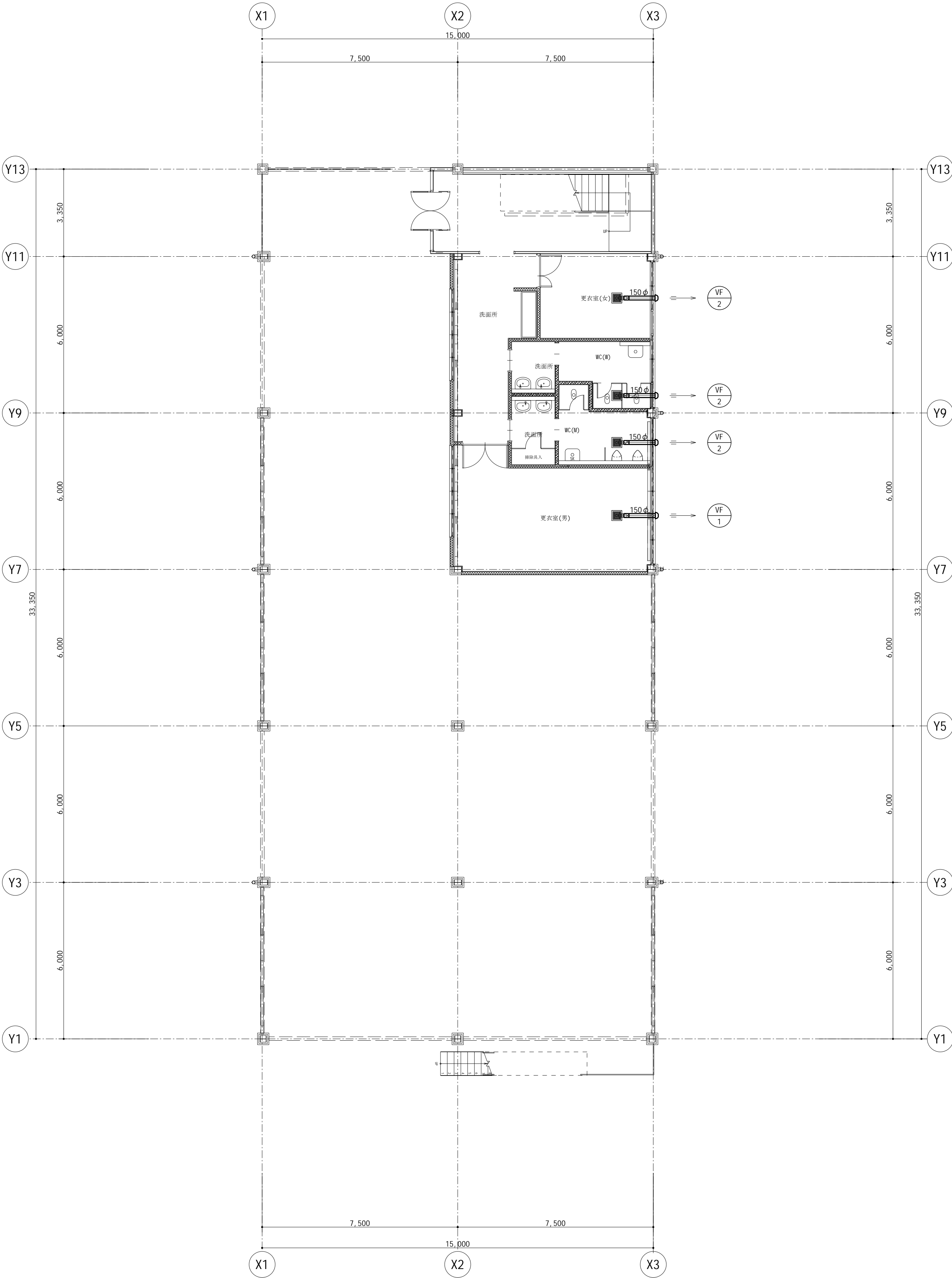


改修機器表																			
名 称	仕 様					TOTO		LIXIL		電 源	数	設置場所							
						型 番	仕様・付属品	型 番	仕様・付属品			柔剣道場						屋 外	
												W C （M）	W C （W）	洗面所	更衣室 （女）	更衣室 （男）			
洋風便器	ハブリック用コンバート便器	排水芯固定タイプ	手洗付防露式密結形ロータンク			CS597BS	SH597BAYR	BC-P20SU	DT-PA280UTK   CF-008-01		3	1	2						
便座	暖房便座	便座・便ふたソフト閉止				TCF116		CF-18ALP		AC100V-52W	3	1	2						
紙巻器	ステンレス製紙巻器	154×109×82	ワンタッチ			YH117		CF-32H			3	1	2						
小便器	大形自動洗浄壁掛小便器	低リップ ー体形				UFS900R		U-A51AP		AC100V-5W	2	2							
手すり	小便器用手すり	樹脂被覆タイプ（φ34）				T112CU22		KF-701AEJ	KF-D16	AC100V-5W	1	1							
洗面器	アンダーカンター式洗面器	500×380	台付自動単水栓			L502	TLE25SS1A   TLDP2105JA	L-2250	AM-320TCV1   LF-105PAL   A-6224   LF-625K	AC100V	4	2	2						
スタンダード 陶器タイプ カンター	マフドライトカンター	600W×1500L	ブラケット式   1500L	オニックス		ML60	M9P50A×2   M9P40A   M256	MB-600NL1500	MBF-620A		2	1	1						
化粧鏡	建築工事										4	2	2						
掃除用流し	ハック付き掃除用流し	560×456×635	リムカバー   給水栓	アングル形止水栓		SK22A	TK22   T23AEQ20C   TN114   T37GEP   T9R   HH04060×2	S-202A	LF-7KEZ-19-U   SF-20SAF-P   SF-10E   SF202		2	1	1						
水栓	吐水口回転型水栓	接続ねじ径13mm				T200ESN13		LF-7RE-13-U			3			3					
化粧鏡	建築工事										3			3					
流し台	建築工事										1			1					
EPH-1	電気式ハットヒーター	ステンレス製（縦型）	暖房能力   1.25kW	寸法   420W×80D×800H	重量   7.7kg	付属品   温度調節用リモース   加熱防止用リモース   温度ヒューズ   いたずら防止カバー   保護ガード			参考型番   DPS-A 125 EU	AC100V-1250W	1	1							
EPH-2	電気式ハットヒーター	ステンレス製（縦型）	暖房能力   1.00kW	寸法   420W×80D×650H	重量   6.6kg	付属品   温度調節用リモース   加熱防止用リモース   温度ヒューズ   いたずら防止カバー   保護ガード			参考型番   DPS-A 100 EU	AC100V-1000W	1		1						
V-1-1	天井埋込換気扇	サニタリー用	DCブラシモーター	ダクト外径   150Φ	風量   260CMH	静圧   80Pa	付属品   天吊金具   コントローラスイッチ   150Φステンレス製深型ベントキャップ（防虫網付き）	参考型番   VD-20ZVC	AC100V-9W	1		1							
V-1-2	天井埋込換気扇	サニタリー用	DCブラシモーター	ダクト外径   150Φ	風量   350CMH	静圧   150Pa	付属品   天吊金具   コントローラスイッチ   150Φステンレス製深型ベントキャップ（防虫網付き）	参考型番   VD-23ZVB	AC100V-22W	1	1								
V-1-3	天井埋込換気扇	サニタリー用	DCブラシモーター	ダクト外径   150Φ	風量   170CMH	静圧   80Pa	付属品   天吊金具   コントローラスイッチ   150Φステンレス製深型ベントキャップ（防虫網付き）	参考型番   VD-18ZVX-C	AC100V-7.5W	1					1				
V-1-4	天井埋込換気扇	サニタリー用	DCブラシモーター	ダクト外径   150Φ	風量   370CMH	静圧   150Pa	付属品   天吊金具   コントローラスイッチ   150Φステンレス製深型ベントキャップ（防虫網付き）	参考型番   VD-23ZVX-C	AC100V-17W	1						1			
既存機器表（撤去）																			
名称	型番					数		設置場所											
和風大便器	C-375V	TV-150NCM	T-82C32	TS-116RAY		3		男子便所×1   女子便所×2											
小便器	U-29	T-60PF	T62-16	T-65A		2		男子便所×2											
洗面器	L-230D	T-205	T-4A	T-6P	T-9RAY   T-8CAY	4		男子便所×2   女子便所×2											
掃除用流し	SK-22A	T-23AE20	T-37SN	TK-22	T-9RAY	2		男子便所×1   女子便所×1											
仕切板	A-100AY					1		男子便所×1											
化粧鏡	TS-119AS3	363×455				7		男子便所×2   女子便所×2   洗面所×3											
水石けん入れ	TS-125SAY					4		男子便所×2   女子便所×2											
万能ホーム水栓	T-200S-13					3		洗面所×3											
散水栓	T-27-13	鋳鉄製ホース共				2		屋外×2											
VF-1	天井埋込換気扇	ダクト外径   200Φ	風量   400CMH	静圧   7mmAq	AC100V-65W	1		更衣室（男）											
VF-2	天井埋込換気扇	ダクト外径   180Φ	風量   240CMH	静圧   5mmAq	AC100V-35W	3		更衣室（男）   女子便所   男子便所											
								設計年月	縮 尺	物件名称   御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）						区分	建築意匠		
								52-037	A1： A3：表記の50%	図面名称   器具表・機器表						No.	J30		

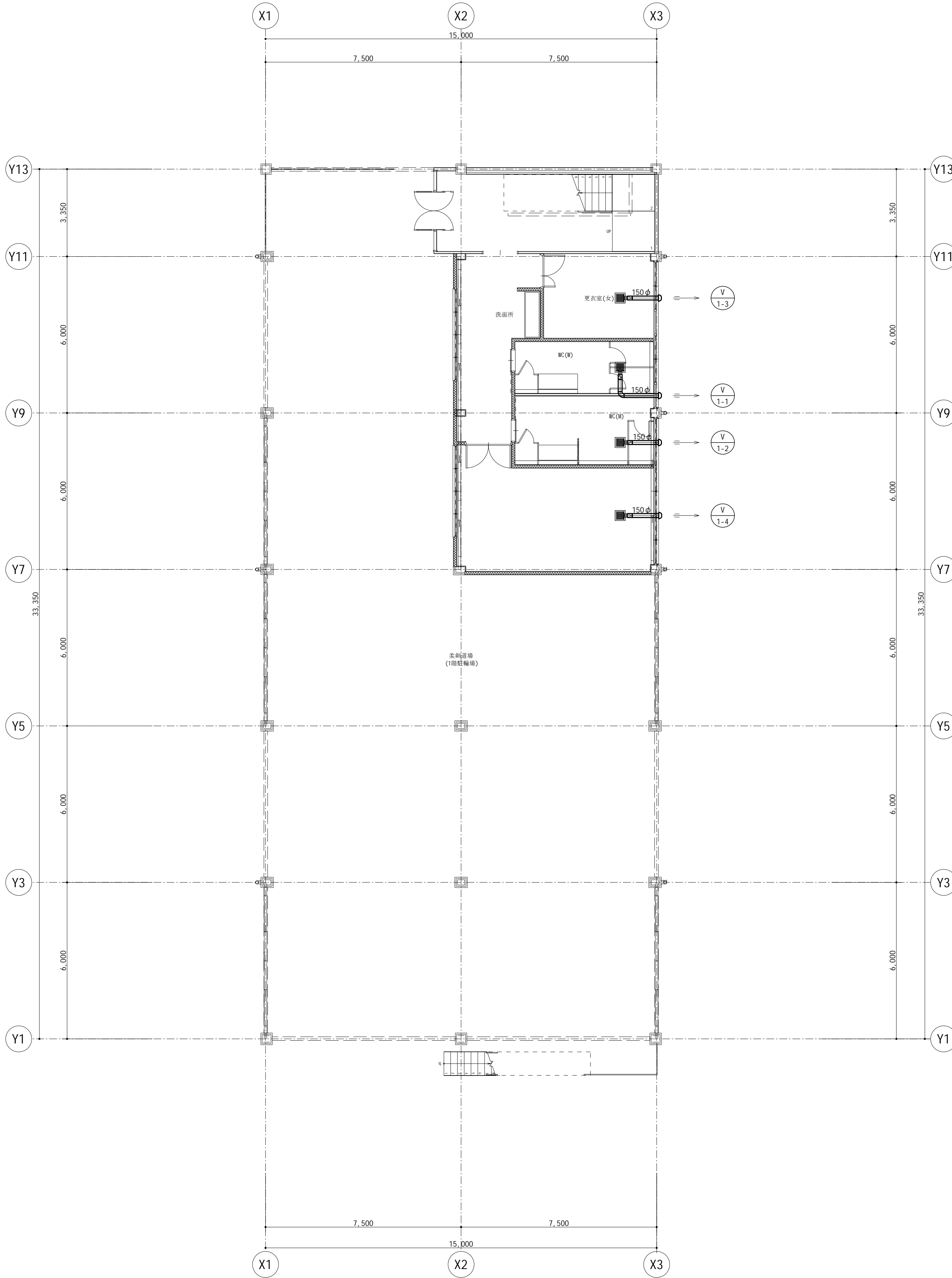








既存1階平面図 S=1/100 (A1)



改修1階平面図 S=1/100 (A1)

設計年月	縮 尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校柔剣道場改修工事（建築主体）	区分	建築意匠
		図面名称	換気設備平面図	No.	J32



